

吹田市第3次総合計画

基本計画（地域別計画）[案]

目 次

第1章 総論	1
第1節 計画の性格	1
第2節 計画の期間	1
第3節 計画の構成	1
第4節 地域別計画の推進のために	2
第2章 すべての地域に共通する主な取組	3
第3章 地域ごとの計画	5
I (仮称)JR以南地域	6
第1節 まちづくりの基本方向と計画	8
第2節 まちの様子	9
第3節 公共施設等の配置状況	18
II 片山・岸部地域	22
第1節 まちづくりの基本方向と計画	24
第2節 まちの様子	25
第3節 公共施設等の配置状況	33
III 豊津・南吹田地域	38
第1節 まちづくりの基本方向と計画	40
第2節 まちの様子	41
第3節 公共施設等の配置状況	50
IV 千里山・佐井寺地域	54
第1節 まちづくりの基本方向と計画	56
第2節 まちの様子	57
第3節 公共施設等の配置状況	65
V 山田・千里丘地域	70
第1節 まちづくりの基本方向と計画	72
第2節 まちの様子	73
第3節 公共施設等の配置状況	81

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域	86
(その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア	86
第1節 まちづくりの基本方向と計画	88
第2節 まちの様子	89
第3節 公共施設等の配置状況	97
(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア	102
第1節 まちづくりの基本方向と計画	104
第2節 まちの様子	105
第3節 公共施設等の配置状況	109
(巻末資料)	114

第1章 総論

第1章 総論

第1節 計画の性格

地域別計画は、部門別計画とともに、基本構想がめざす本市の将来像「人が輝き、感動あふれる美しい都市^{まち}すいた」の実現に向けた基本計画を構成する計画です。

地域別計画は、市民の日常生活の一定の圏域において、その地域の特性や課題を踏まえながら、部門別計画で体系的に示されている部門ごとの施策を、地域ごとに捉え横につないでまちづくりの推進を図るものです。

したがって、部門別計画を「たて糸」とすれば、これは「よこ糸」にあたり、部門別計画による全市的な施策の推進を前提としながら、市民と行政の協働により、地域ごとにまちづくりに取り組むための計画として位置づけられます。

第2節 計画の期間

平成18年度（2006年度）から32年度（2020年度）までの15年間です。ただし、社会経済状況の変化をみながら、中間年度の平成25年度（2013年度）までに見直しを行います。

第3節 計画の構成

市域を6つのブロックに区分し、次の内容で計画を構成しています。

① まちづくりの基本方向と計画

地域の特性に係る取組やその地域が抱える課題に対する取組について記述

② まちの様子

人口や土地利用、福祉やコミュニティなどを資料等で表示

③ 公共施設等の配置状況

公共施設の配置状況を、施設の種類別に地図に表示

※ なお、ブロックの区分について、市民の生活実態や自主的な活動範囲などを配慮し、今日までのブロックの区分を見直し、一部変更を行っています。したがって、上記「①まちづくりの基本方向と計画」と「③公共施設等の配置状況」については、新しいブロック割に基づいた記述を行っています。しかし「②まちの様子」については、地域のこれまでの変化を踏まえるために、過去の統計や意識調査を基に作成していることから、新しいブロックでの資料作成が困難なため、従来の区域割をもとにした統計により作成しています。（ブロックの区割りの変更については巻末資料参照）

第4節 地域別計画の推進のために

地域別計画の推進に向けて、これまでの部門ごとの施策を推進する組織体制とあわせて、地域に視点を置いた行政の推進体制を作り上げる必要があります。また、この地域別計画に基づき、地域住民との協働を進める仕組みの検討も必要となっています。

そのため、次のことについて検討し、具体化する必要があります。

- ① 組織体制
 - 進行管理のための実施計画のあり方
 - 地域に責任を持つ専門担当組織の整備
 - 地域に視点を置いた各担当所管での事業の推進
 - 地域別連携会議等の設置
- ② 地域とのまちづくりにかかる合意形成、協議のための仕組みづくり
- ③ 既存施設の活用も含めた協働を進めるためのコミュニティ施設の整備

第2章 すべての地域に共通する主な取組

第2章 すべての地域に共通する主な取組

部門別計画に記載している全市的な取組のうち、地域において市民との協働によりまちづくりを進めるための取組について、すべての地域に共通する主なものを記載しています。

1. すべての人がいきいき輝くまちづくり

- 非核平和、人権の尊重に向けて、身近な場所での教育と啓発に努めます。
- 男女共同参画社会の実現に向けて、身近な場所での啓発や学習を進めます。また、地域社会において男女共同参画を進めます。

2. 市民自治が育む自立のまちづくり

- 地域の課題に取り組めるよう講習会や学習会の開催と情報の提供に努めます。
- 自主的なコミュニティ活動を尊重し、コミュニティ活動団体の支援に努めます。
- コミュニティ施設の有効活用のために、施設の多目的化を進め、地域の関連施設のネットワーク化を図ります。
- 市民との協働によるまちづくりシステムの構築を進めます。

3. 健康で安心して暮らせるまちづくり

(子ども)

- 地域子育て支援センターの充実を図ります。
- 保育所、留守家庭児童育成室の施設整備を進めます。
- 子育てサークルが地域で交流し、相談し合える場の整備に努めます。
- 子育て支援センターを拠点に、家庭・地域・学校・行政の連携による子育てネットワークの形成を図ります。また、地域での連携を深め児童虐待を防止する環境を作ります。
- 障害のある子どもがより適切な処遇が受けられるよう、保育所、幼稚園、学校、留守家庭児童育成室などの条件整備を行います。
- 子どもを犯罪や事故から守るために、防犯設備等の整備を進めるとともに、地域での見守り体制の充実を図ります。
- 子どもが身近に緑や水と親しめる公園の整備に努めます。

- 高齢者が地域で必要なサービスが受けられるよう、施設サービスや在宅サービスの基盤の整備を進めます。
- 障害者の日常的な交流の機会を充実します。
- 身近な相談窓口の充実を図るとともに、地域で総合的な相談や地域ケア体制を整え、高齢者や障害者の保健福祉サービスの充実を図ります。
- 地域のボランティアや福祉活動を支援し、協働を進めます。
- 地域の中で気軽に健康づくりができるよう関係機関と連携し環境づくりを進めます。

4. 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり

- 幼稚園・保育所・小学校との連携を深め、幼稚園が地域の幼児教育のセンター的役割を発揮します。
- 地域に開かれた学校づくりを進め、地域・学校が連携して子どもたちの育成、安全の確保などに取り組みます。家庭・学校・地域がともに取り組むための教育コミュニティづくりを進めます。
- 子どもたちが安全で安心して過ごせるよう居場所づくりを進めます。
- 地域住民の協力の下、青少年健全育成協力店運動を広げるなど、非行防止等の環境整備に努めます。
- 地域での生涯学習・文化活動のニーズに応えることができるよう、地区公民館の運営体制の充実を図ります。
- 小学校の多目的教室などを学校教育活動に支障のない範囲で地域の団体に開放し、生涯学習活動を支援します。
- 地域におけるスポーツ活動の指導者養成を行い、学校体育施設をより有効に活用した地域スポーツの振興を図ります。
- 地域に残されているさまざまな文化財の保存に向けて、啓発に取り組みます。

5. 環境を守り育てるまちづくり

- 大気汚染、水質汚濁、騒音などの状況を把握し、環境悪化を未然に防ぐとともに、環境監視体制の充実を図ります。
- 市民と事業者との連携を図り、環境美化活動、省エネルギーや緑化の推進などヒートアイランド対策を推進します。
- 市民・事業者の自主的な廃棄物の減量・リサイクル活動を支援します。
- 学校・地域・家庭など多様な場において、環境学習・環境教育の機会の充実を図ります。

6. 安全で魅力的なまちづくり

- 高齢者や障害者など援助を必要とする人の災害時の安全と避難を確保するため、地域での連携・協力体制をつくります。また、自主防災組織の設置を促進します。
- 道路や公園などにおいて、防犯面に考慮した整備に努めます。
- 安全な地域コミュニティづくりに努め、防犯体制の充実を図ります。
- 身近な公園や緑地の管理を市民との協働により行います。
- 駅舎や駅周辺のバリアフリー化を進めるなど、安全で快適に生活できる福祉のまちづくりを進めます。
- 分譲マンションの適正な維持管理や円滑な建替えを促進するため、支援制度を推進します。

7. 活力あふれにぎわいのあるまちづくり

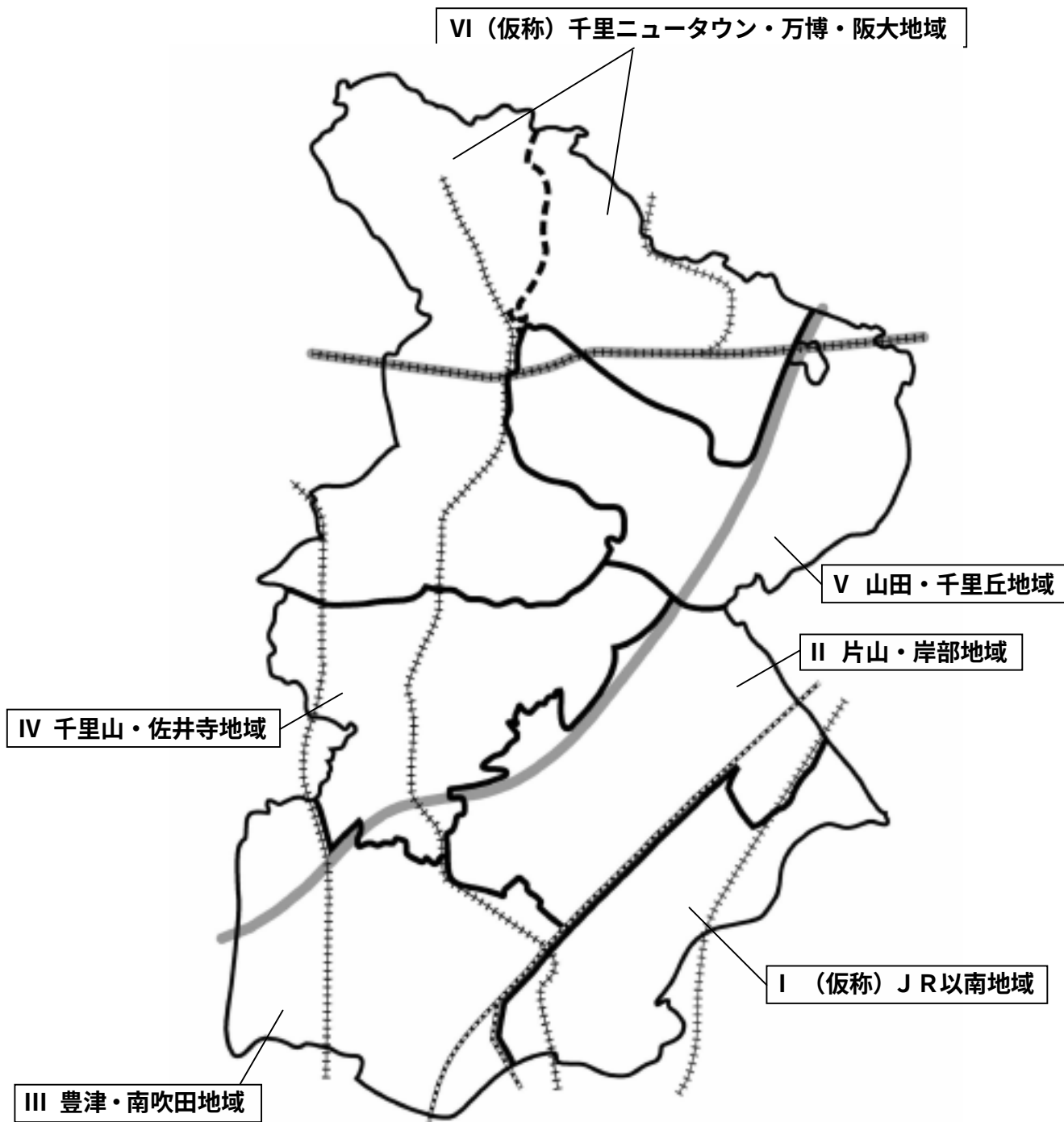
- 商業地の個性を生かし、空き店舗などの活用も含め、日常生活の利便性に配慮した快適な魅力ある商業地づくりを進めます。
- 農地の持つ多面的な機能を活用し、農地の保全と有効活用を図ります。
- 市民農園など市民が土に親しみ、自然にふれあう機会の充実に努めます。

第3章 地域ごとの計画

第3章 地域ごとの計画

市域を6つのブロックに区分し、各地域の特性に応じた計画を記載しています。

第2章で記載されている「すべての地域に共通する主な取組」に加え、ここで記載される取組を市民との協働により進めていきます。



Ⅰ (仮称) JR以南地域

プロフィール

この地域は、安威川や神崎川を隔てて大阪市と接し水運に恵まれていたことから、交通の要衝として発展し、市内でも早くから開けてきた地域です。吹田発祥の地と言われ、旧集落のまちなみや高浜神社、護国寺等の由緒ある寺社など、かつての面影を残しています。また、JR吹田駅付近は、大正時代の駅移転に伴って旭通商店街が形成されるなど、商業の中心地として発展してきました。

地域の中には、面的整備による比較的整然とした市街地もありますが、多くは自然発生的に形成された市街地となっています。

南西部の神崎川沿いには、大規模な工場や、市民プールやスポーツグラウンドなどのある中の島公園が立地しています。

現在、地域の中央部で都市計画道路・十三高槻線の整備が進められています。



第3章 地域ごとの計画

I (仮称) JR以南地域

地域マップ



旭通商店街



高浜神社



歴史文化まちづくりセンター
(浜屋敷)

第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
①のエリア	日常生活の利便性を重視した地域に根を張る商店街の活性化を進め、ふれあいにぎわいのあるまちづくりを進めます。	● 空き店舗を活用した大学やNPOなどとの連携による新たな事業を支援します。 ● 地域社会に密着したコミュニティビジネスの振興を図ります。 ● 地域や業種、世代間の交流、消費者との交流やまつりなどを通じ、幅広い層の人びとでにぎわう商店街づくりを支援します。
②のエリア	地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、地域文化の創造や、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。	● 歴史文化まちづくりセンター(浜屋敷)や旧西尾家住宅(文化創造交流館)を活用し、身近な地域の歴史・文化を学ぶ機会の創出や地域文化の交流を図ります。 ● 神社、寺院などの歴史・文化資源を生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。 ● 現在も残る歴史的まちなみの面影を生かして趣のある景観形成を図り、水辺や公園などと結ぶ遊歩道を形成します。
この地域全体	これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。 子どもや高齢者など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 河川を生かし、ふれあいの場として活用します。 防災性の向上や、緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。 環境と調和した工業の振興を図ります。	● コミュニティセンターの運営に、より多くの市民の参加を促し、市民の多様な活動の拠点として、また地域福祉の拠点として事業の充実を促進します。 ● 地域における支え合いのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。 ● 神崎川や安威川などの緑と水辺を生かし、市民や事業者との協働により、ふれあいの場として活用します。 ● 木造建築物が密集する地区では、建築物の不燃化・耐震化や生活道路の整備改善、敷地内の緑化誘導を図ります。 ● 公園整備やまちの緑化に努めます。また、ポケットパークなど身近なオープンスペースの確保に努めます。 ● 十三高槻線、豊中岸部線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。 ● 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。また、流域下水道の整備を促進し、未整備地域の下水道整備を進めます。 ● 工業の高度化や環境に配慮した事業活動を支援し、都市型工業への展開を図ります。 ● 岸辺駅周辺や(仮称)西吹田駅前の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。

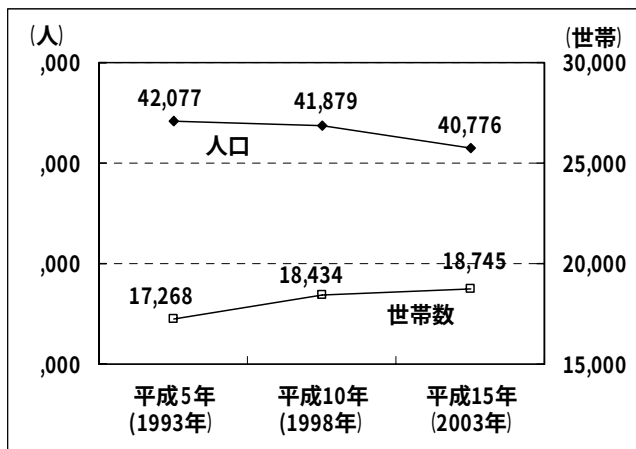
第3章 地域ごとの計画 Ⅰ (仮称) JR以南地域

第2節 まちの様子

1. 人口

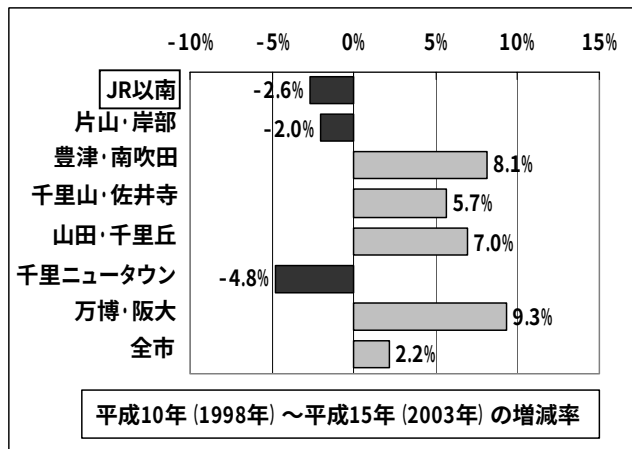
人口減少が続く中で、高齢化が進んでおり、高齢化率は20%を超えています。また、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯の比率が非常に高くなっています。

① 人口・世帯数の移り変わり



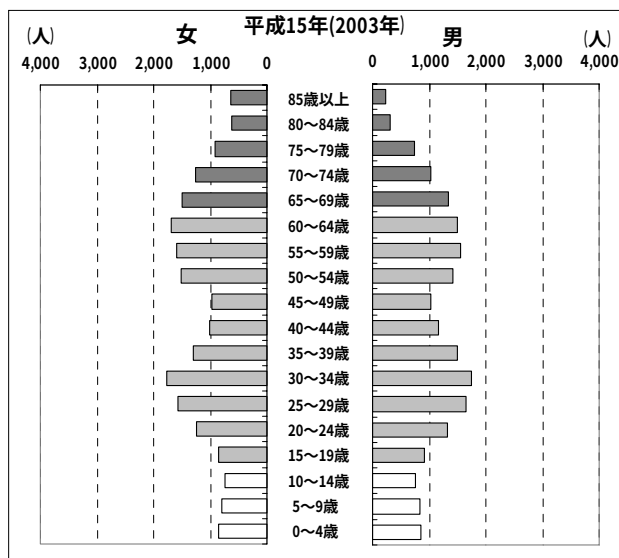
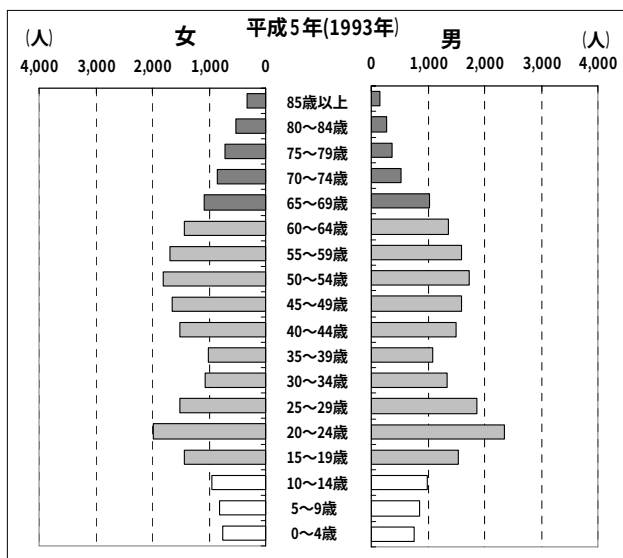
住民基本台帳による

② 人口増減率



住民基本台帳による

③ 人口ピラミッドの推移



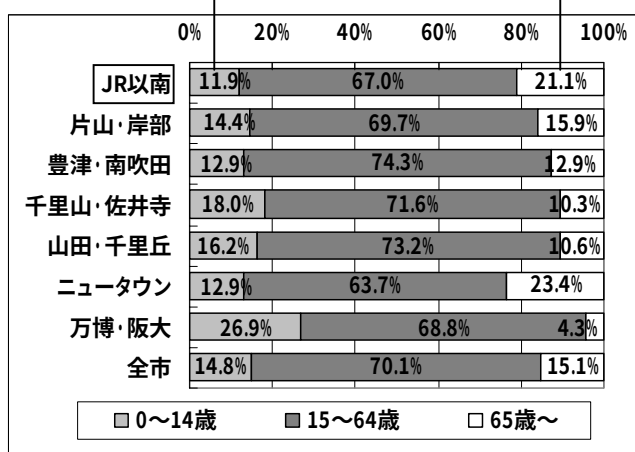
住民基本台帳による

第3章 地域ごとの計画 I (仮称) JR以南地域

④ 年齢3区分別の人口割合

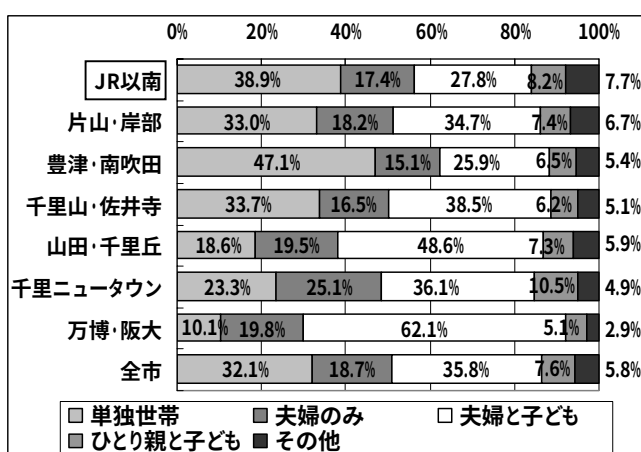
年少人口の比率が全ブロックの中で最も低くなっています

高齢人口の比率が20%を超えています



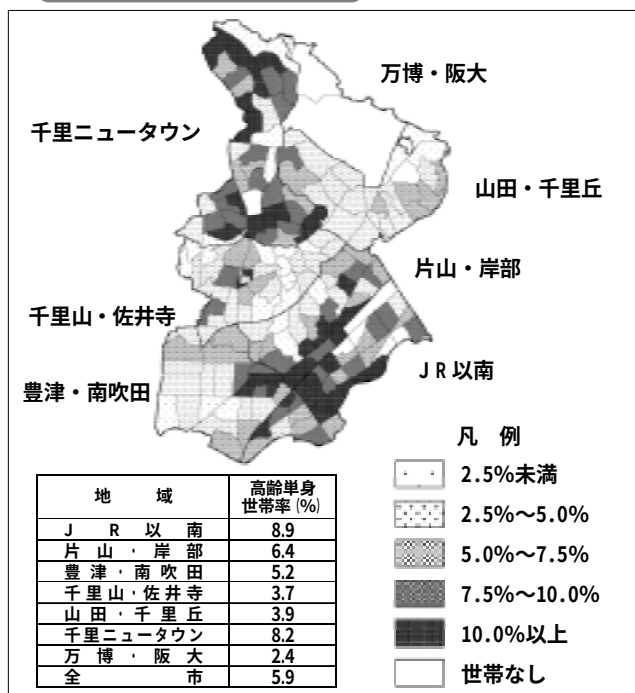
平成15年(2003年)住民基本台帳による

⑤ 世帯の状況(家族類型別)



平成12年(2000年)国勢調査による

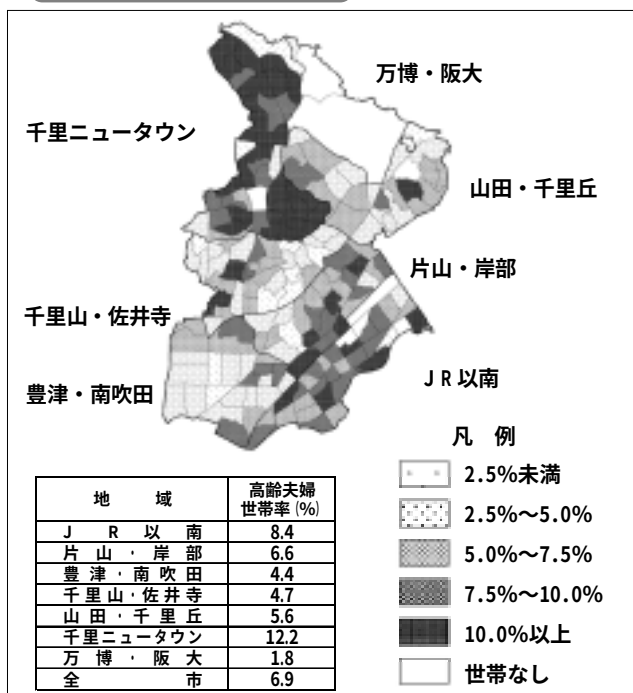
⑥ 高齢単身世帯率



高齢単身世帯数の世帯数に占める割合

平成12年(2000年)国勢調査による

⑦ 高齢夫婦世帯率



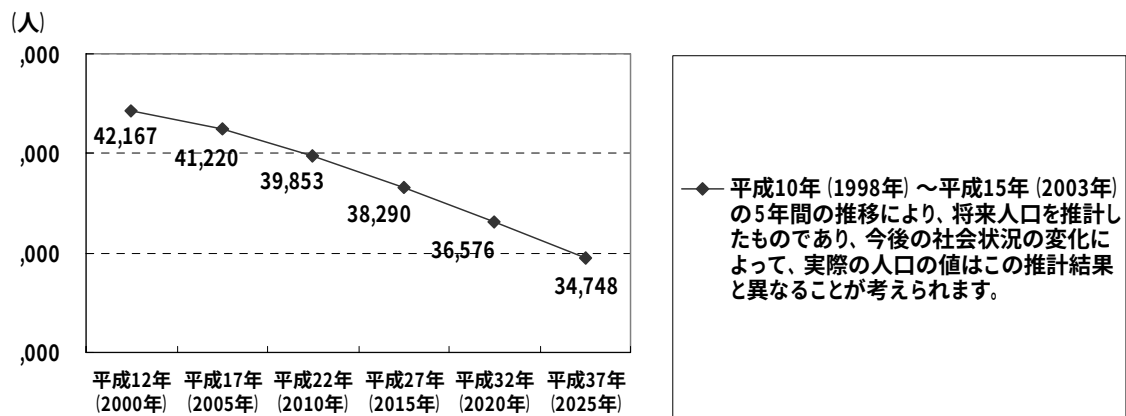
高齢夫婦世帯数の世帯数に占める割合

平成12年(2000年)国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

I (仮称) JR以南地域

⑧ 将来人口の推計



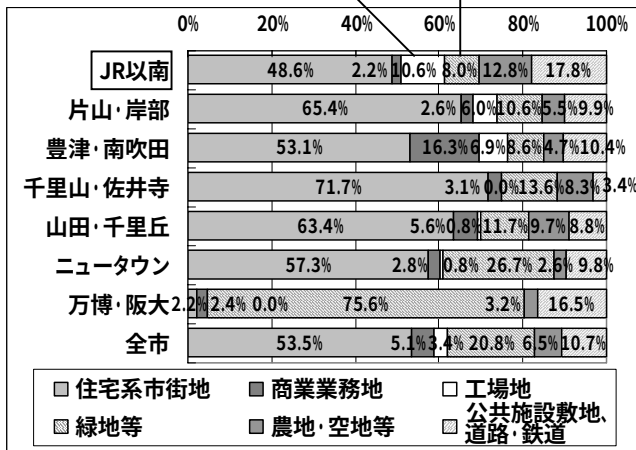
2. 土地利用・住宅

全市の中で工場地の比率が最も高く、緑地等の比率が最も低くなっています。
一戸建と長屋建住宅の比率が過半数を超えており、木造建物床面積率も高くなっています。
住宅地の評価について、「緑の豊かさや自然環境」「周辺の眺望や街並み・景観」に対する満足度が極めて低くなっています。

① 土地利用

工場地の比率が最も高くなっています

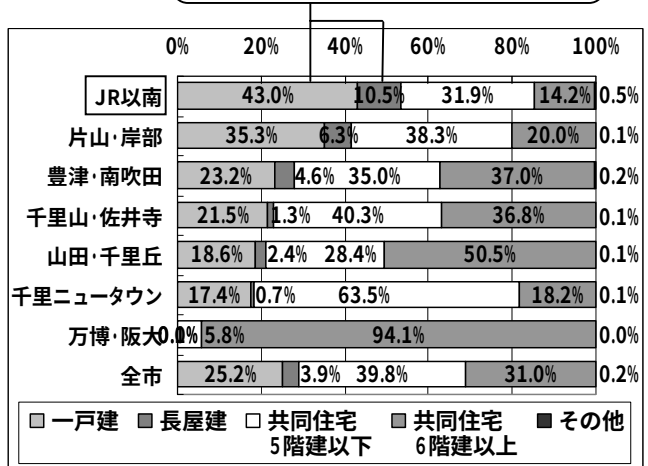
緑地等の比率が最も低くなっています



平成 12 年 (2000 年) 都市計画基礎調査による

② 建て方別世帯数の割合

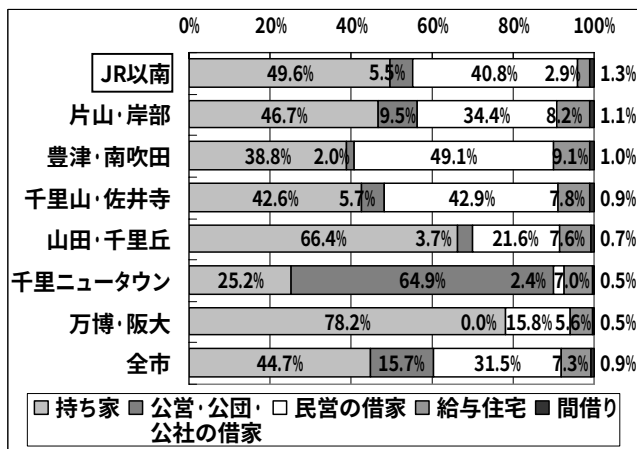
一戸建及び長屋建の比率が全ブロックの中で一番高くなっています



平成 12 年 (2000 年) 国勢調査による

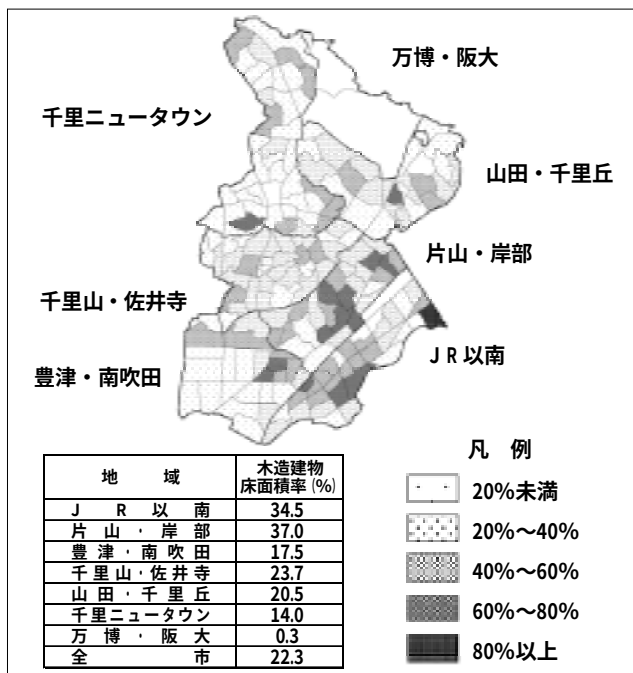
第3章 地域ごとの計画 I (仮称) JR以南地域

③ 所有関係別世帯数の割合



平成 12 年 (2000 年) 国勢調査による

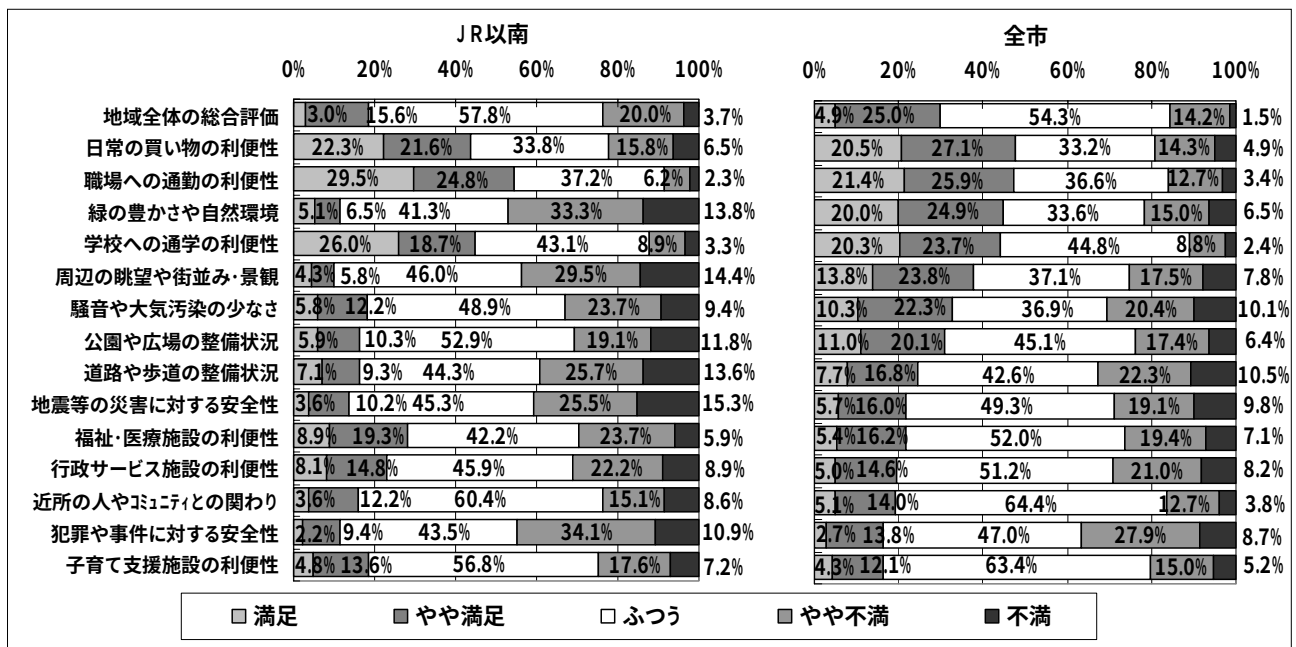
④ 木造建物床面積率



木造 (土蔵含む) 建物延べ床面積の全建物延べ床面積に対する割合

平成 11 年 (1999 年) 都市計画基礎調査による

⑤ 住宅地の評価



無回答は除外した構成比

平成 17 年 (2005 年) 住宅マスタープラン策定調査 (現況調査) 報告書による

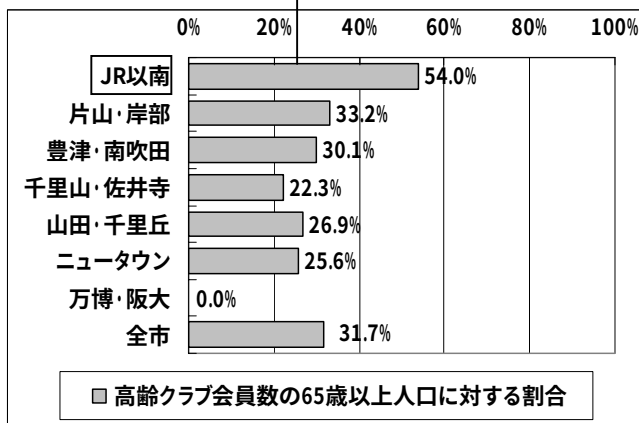
3. コミュニティ・福祉

平均居住年数が最も長く、吹田市に対してふるさと意識を持つ市民の割合も高くなっています。また、自治会や高齢クラブへの加入率が高く、コミュニティセンターでの協議会活動をはじめ、さまざまなコミュニティ活動が行われています。

保育所入所児童や留守家庭児童育成室入室児の比率が高く、また、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯の比率も非常に高いなど、福祉ニーズが高いことが伺えます。

① 高齢クラブ加入率

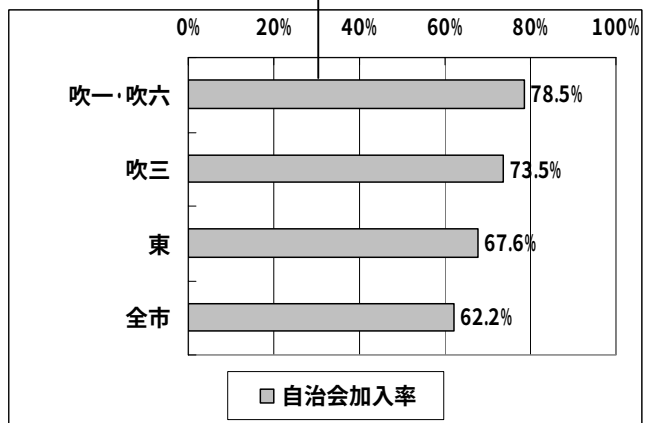
高齢クラブの加入率が
高くなっています



平成 16 年（2004 年）福祉保健部データによる

② 自治会加入率

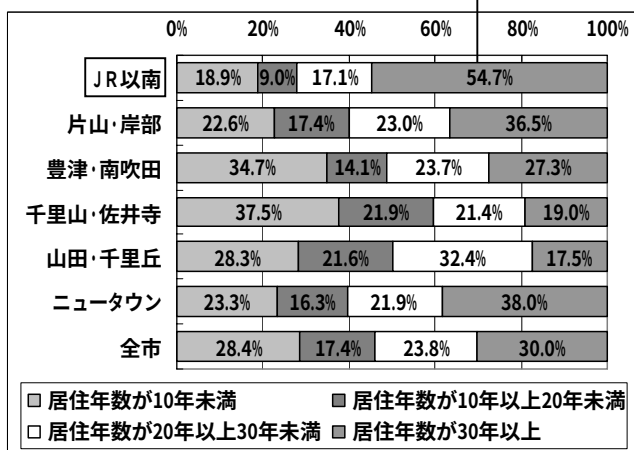
すべての地区で全市平均を上回っています



平成 16 年（2004 年）市民文化部データによる

③ 居住年数

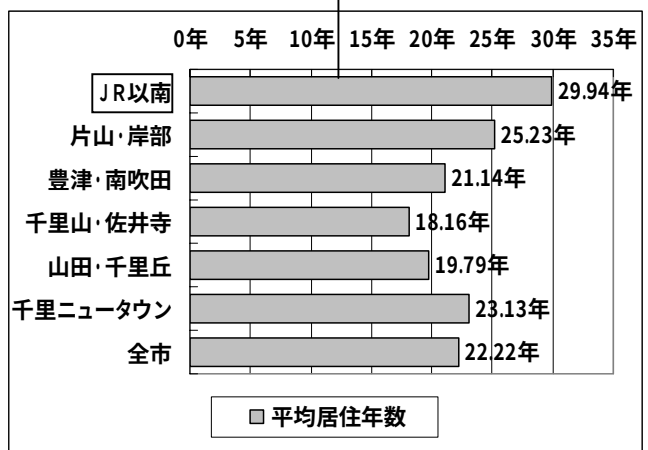
居住年数が 30 年以上の比率が
50%を超え、全ブロックで最も高
くなっています



平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

④ 平均居住年数

平均居住年数は全ブ
ロックの中で最も長
くなっています



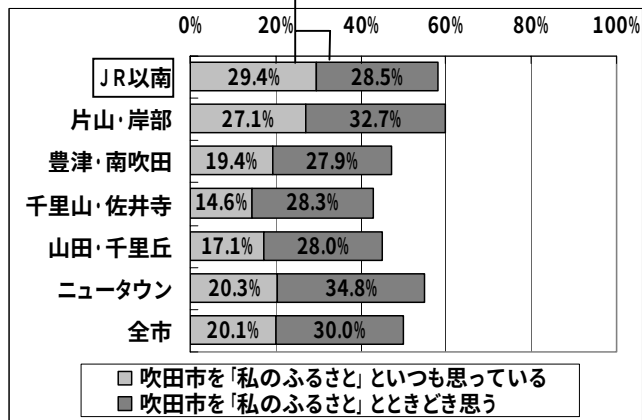
平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

第3章 地域ごとの計画

I (仮称) JR以南地域

⑤ ふるさと意識

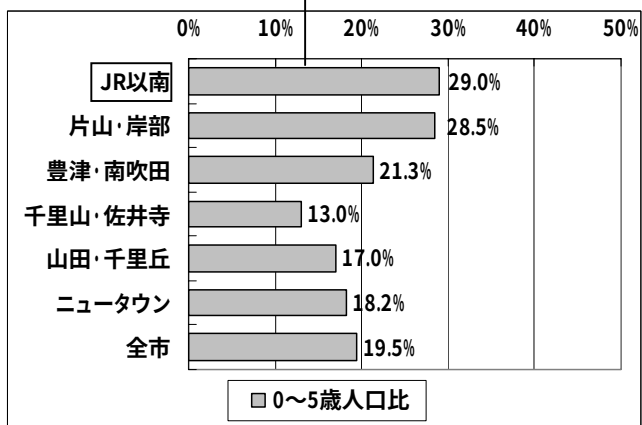
ふるさと意識を持つ人が
およそ6割を占めています



平成14年度(2002年度)市民意識調査による

⑥ 保育所入所児童の比率

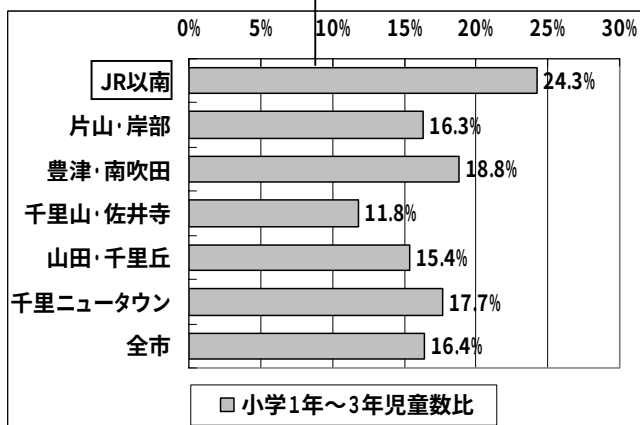
保育所入所児童の比率が
全ブロックで一番高くなっています



平成15年(2003年)児童部データによる

⑦ 留守家庭児童育成室入室児の比率

留守家庭児童育成室入室児の比率が最も高くなっています

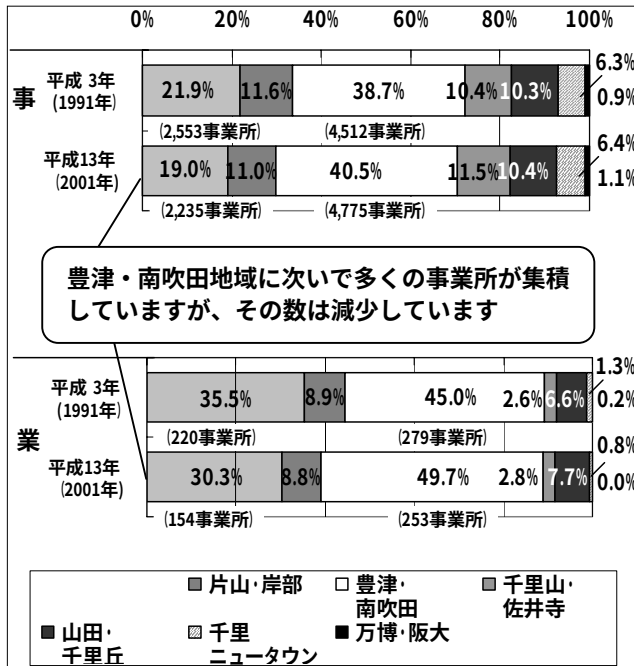


平成15年(2003年)児童部データによる

4. 産業

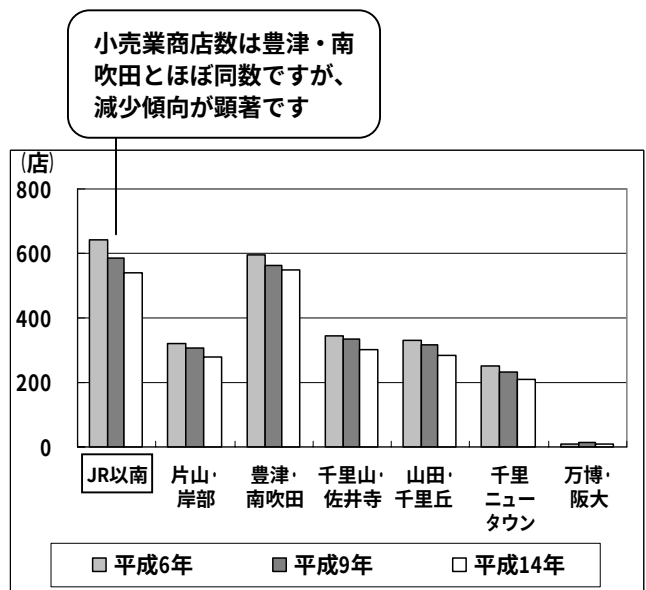
豊津・南吹田地域に次いで事業所が集積していますが、事業規模が小さい小売業商店が多く、
商店数と販売額がともに減少傾向をたどっています。

① 事業所数



事業所・企業統計調査による

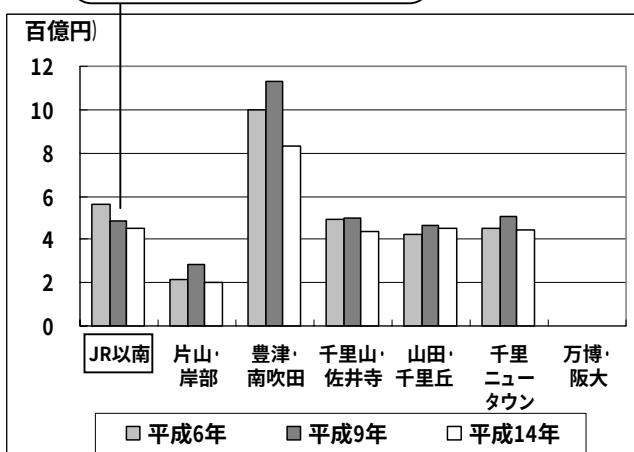
② 小売業商店数



商業統計調査による

③ 小売業年間販売額

商店数では豊津・南吹田と差はありませんが、年間販売額では大きな差があります



商業統計調査による

第3章 地域ごとの計画
Ⅰ (仮称) JR以南地域

5. 主な歴史・文化資源

旧街道・参道

亀岡街道、吹田街道

歴史的まちなみが残る地区

高浜町、南高浜町、内本町

神社・寺院

高浜神社、春日神社、大の木神社、
観音寺、小女郎稲荷、護国寺、大雄院、
光徳寺、常光円満寺

歴史的建築・構造物

歴史文化まちづくりセンター、
旧西尾家住宅

地蔵・道標・碑

建前地蔵尊、南町道標、六地蔵道標、
旧吹田市役所跡碑

遺跡・史跡

吹田の渡し跡、都呂須遺跡、泪の池

その他の文化財

護国寺絹本著色般若菩薩像、
地車（六地蔵、西奥町、神境町、都呂須）

伝統行事・まつり・芸能

だんじり巡行、高浜神社の船渡御、
吹田まつり

第3節 公共施設等の配置状況

1. 文化集会施設・スポーツ施設



分類	施設名
公民館	1 吹田東地区公民館
	2 吹三地区公民館
	3 吹一地区公民館
	4 吹六地区公民館
コミュニティセンター	5 内本町コミュニティセンター
図書館・分館・分室	6 さんくす図書館
その他の文化集会施設	7 勤労者会館
	8 勤労青少年ホーム
	9 歴史文化まちづくりセンター
体育館	10 目黒市民体育館
その他のスポーツ施設	11 中の島市民プール
	12 南正雀スポーツグラウンド
	13 中の島公園有料施設

第3章 地域ごとの計画 Ⅰ (仮称) JR以南地域

2. 福祉施設・保健医療施設



分類	施設名
保育所（市立）	1 東保育園
	2 吹田保育園
	3 吹一保育園
	4 吹六保育園
保育所（私立）	5 こばと保育園
	6 もみの木保育園
	7 吹田どんぐり保育園
児童会館・児童センター	8 高城児童会館
	9 寿町児童センター
高齢者 いこいの間等	10 東地区高齢者いこいの間
	11 吹三地区高齢者いこいの間
	12 吹一地区高齢者いこいの間
	13 吹六地区高齢者いこいの間
特別養護 老人ホーム	14 ハビネスさんあい
グループホーム	15 松風園
	16 グループホーム「あい」
	17 グループホームきさく苑吹田

分類	施設名
デイサービス センター	18 内本町デイサービスセンター
	14 デイサービスハビネスさんあい
	15 松風園デイ・サービスセンター
	19 デイサービスセンター 「いきいきライフ」
	20 デイサービスフレンドハウス吹田
	21 デイサービスセンターあいかわ
	22 相川デイサービスセンターあいあい
	23 あすなろEデイサービス
	24 ライフラインデイサービスセンター
	18 内本町地域保健福祉センター
在宅介護 支援センター	14 在宅介護支援センター ハビネスさんあい
	15 松風園在宅介護支援センター
障害者 福祉施設	15 吹田療育園（済生会吹田）
	15 松風園 （身体障害者デイサービスセンター）
	25 フレッシュベーカーリーさつき
	26 ぶくぶくワールド
	27 すいた自立支援センター 「ネバーランド」
	28 障害児・者地域生活支援センター 「あおぞら」
医療施設	29 精神障害者地域生活支援センター 「すいた以和貴」
	30 大阪府済生会吹田病院

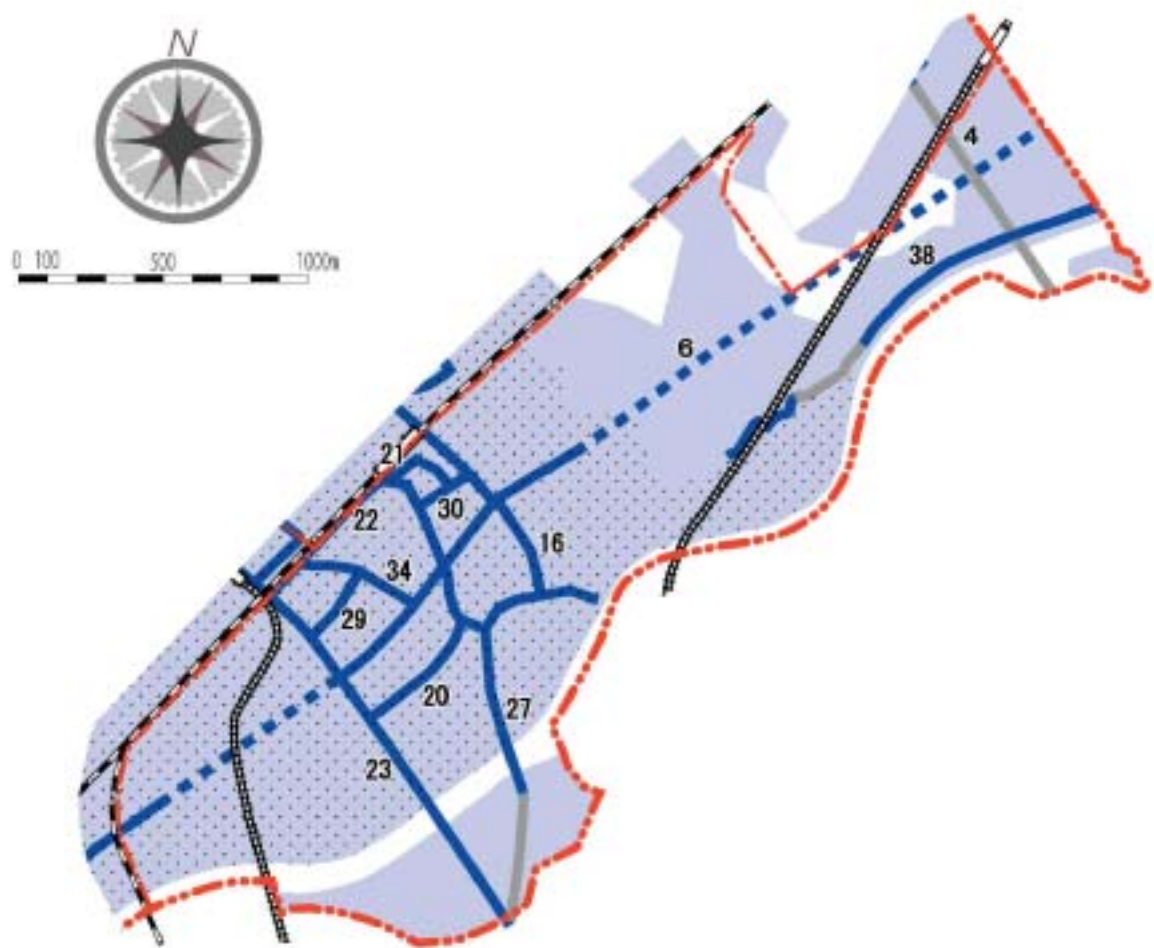
3. 学校教育施設



分類	施設名
幼稚園（市立）	1 吹田第一幼稚園
	2 吹田第三幼稚園
幼稚園（私立）	3 朝日幼稚園
小学校（市立）	4 吹田東小学校
	5 吹田第一小学校
	6 吹田第三小学校
	7 吹田第六小学校
中学校（市立）	8 第五中学校
	9 第三中学校
高校（私立）	10 大阪学院大学高等学校

第3章 地域ごとの計画
Ⅰ (仮称) JR以南地域

4. 都市計画道路・下水道整備状況



凡 例	
都市計画道路 (平成15年度(2003年度)未現在)	
未 整 備	
事 業 中	
整 備 済	
下水道雨水施設整備計画 (平成15年度(2003年度)未現在)	
未 整 備	
整 備 済	
能力増強の整備区域	

種別	番号	名 称
幹線街路	4	豊中岸部線
	6	十三高槻線
	16	佐井寺片山高浜線
	20	砂子宮之前線
	21	駅前1号線
	22	吹田駅前線
	23	大阪高槻京都線
	27	上新庄神境線
	29	浜田浜之堂線
	30	柴東町線
	34	浜之堂線
特殊街路	38	南正雀吹東線

II 片山・岸部地域

プロフィール

この地域は、千里丘陵のすそ野にあたり、古来より丘陵の斜面と豊富で良質な粘土を用いて窯業が営まれ、後期難波宮や平安京の造営に用いられた瓦の生産地であったことが知られています。

明治時代には、豊富で良質な地下水を求めてビール工場が創業し、大正時代には国鉄吹田操車場が設けられ、当時の吹田を「ビールと操車場のまち」とイメージさせた地域です。昭和に入ると「産業道路」と呼ばれる大阪高槻京都線の開通を機に、片山商店街が形成され、付近の丘陵部は住宅地として発展しました。

片山公園とその周辺には中央公民館、中央図書館、市民会館、市民体育館、市民プール、総合福祉会館、男女共同参画センター（デュオ）などが集積し、吹田市を代表する公共施設ゾーンが形成されています。

東部には、大阪学院大学が立地しています。また、北東部には吉志部神社など由緒ある寺社があり、旧集落の面影を一部に残しています。

現在、この地域では紫金山公園での自然と歴史資源を生かした整備や都市計画道路・千里丘豊津線の整備が進められています。



第3章 地域ごとの計画

II 片山・岸部地域

地域マップ



紫金山公園



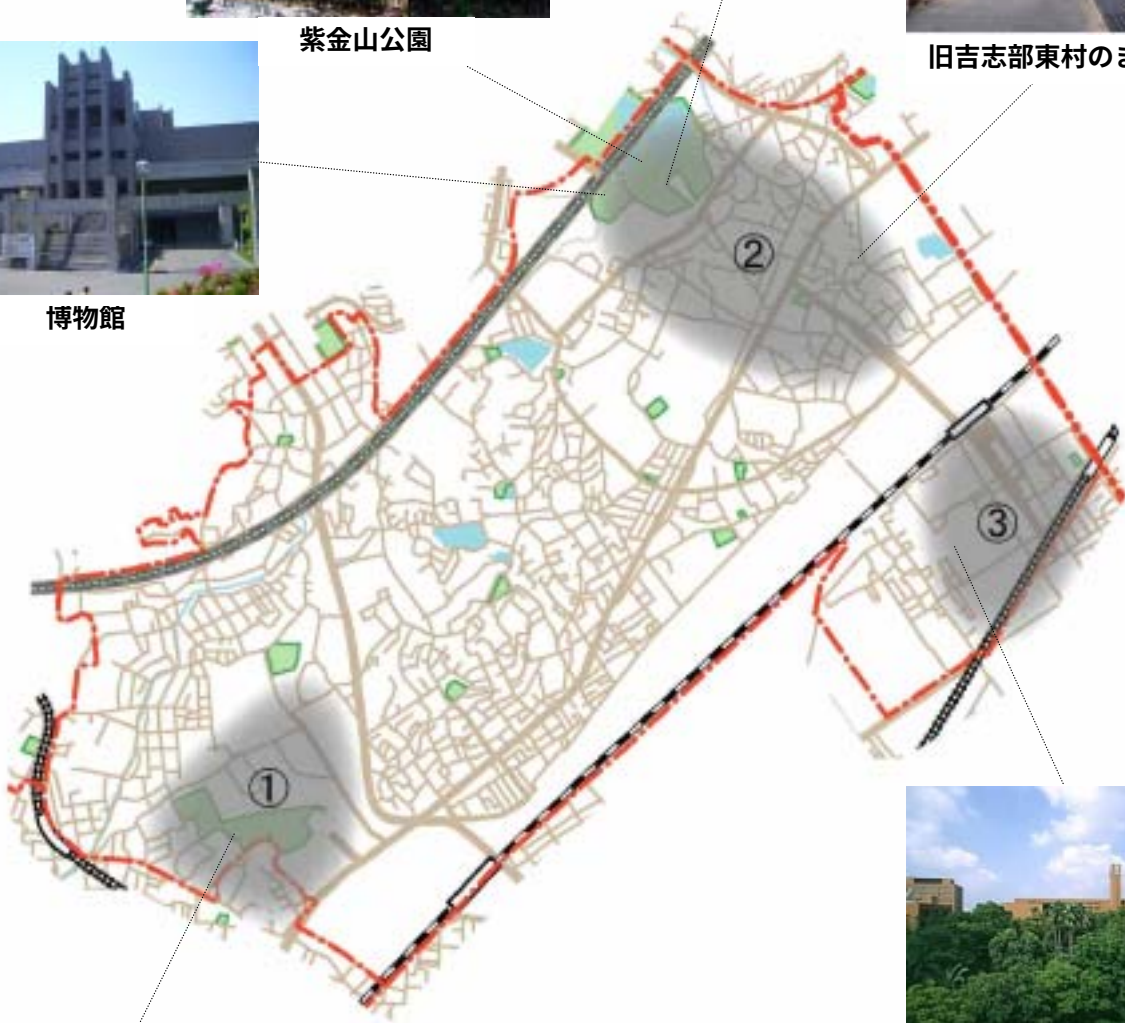
吉志部神社



旧吉志部東村のまちなみ



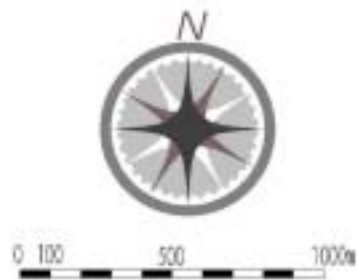
博物館



大阪学院大学



片山公園周辺



第3章 地域ごとの計画

Ⅱ 片山・岸部地域

第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
①のエリア	地域に集積している福祉、保健、医療の関係施設や機関の連携を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 片山公園と周辺に整備されている公共施設を生かし、市民の交流広場づくりを進めます。	● 総合福祉会館、保健センター、子ども家庭センターや社会福祉協議会など福祉、保健、医療の関係施設や機関の集積を生かし、拠点としての機能を高めます。 ● 片山公園を緑の拠点とし、周辺に整備されている図書館や市民会館、体育館などの資源を生かし、集いと憩いの交流広場づくりを進めます。
②のエリア	地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、地域文化の創造や、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。	● 旧街道沿いや吉志部神社への参道を、個性ある景観として継承・育成し、歩いて楽しめる道として活用します。 ● 地域に残されている歴史的なまちなみを生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。 ● 紫金山公園一帯の自然や歴史・文化環境を保全し、市民の交流を広げる場とします。また、博物館を活用し、身近な地域の歴史・文化を学ぶ機会の創出に努めます。
③のエリア	地域の人と大学や学生との交流を深め、岸辺駅と正雀駅が近接する交通至便な立地特性を生かした、にぎわいと活気のあるまちづくりを進めます。大学を地域資源として生かし、地域文化を育みます。	● 商業者との協働により、学生と地域の交流の場の充実に努め、にぎわいと活気のある商業地づくりを進めます。 ● 大学の施設開放やまちづくりへの参加などを促進し、市民の学習環境の充実と市民文化の振興を図ります。 ● 大学の専門的研究機能や情報発信機能、学生の潜在能力やエネルギーを地域文化の発展とまちづくりに生かせるよう、大学との連携事業を推進します。
この地域全体	子どもや高齢者など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 防災性の向上や、緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。	● 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。 ● 地域における支え合いのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。 ● 木造建築物が密集する地区では、建築物の不燃化・耐震化や生活道路の整備改善、敷地内の緑化誘導を図ります。 ● 公園整備やまちの緑化に努めます。また、ポケットパークなど身近なオープンスペースの確保に努めます。 ● 豊中岸部線、千里丘豊津線、南千里岸部線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。 ● 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。また、雨水施設の未整備地域では、その効率的な整備に努めます。 ● 吹田操車場跡地の整備については、地域の新しい未来を切り開くまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。 ● 岸辺駅周辺の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。

第3章 地域ごとの計画

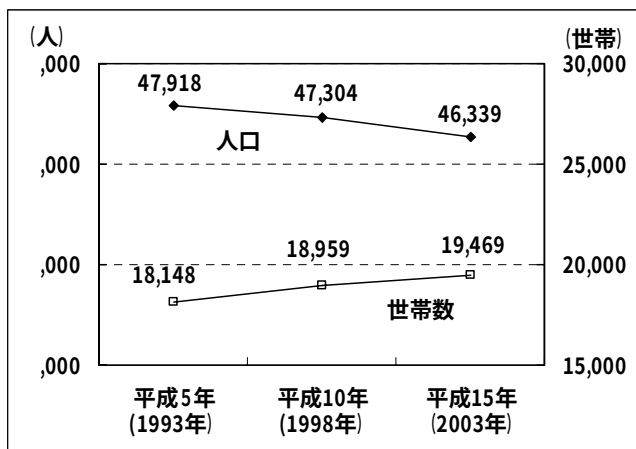
II 片山・岸部地域

第2節 まちの様子

1. 人口

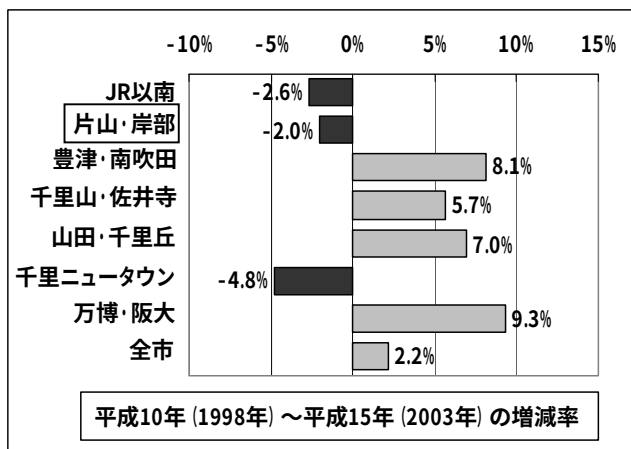
人口減少が続く中で、高齢人口や年少人口の比率は全市平均並ですが、高齢単身世帯の比率が高くなっています。

① 人口・世帯数の移り変わり



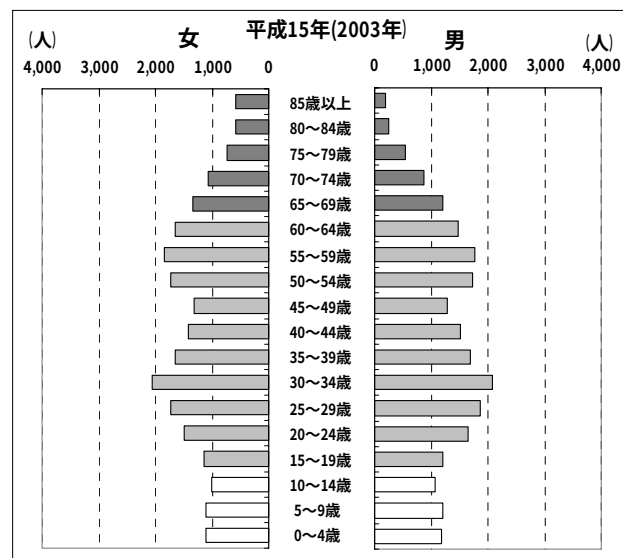
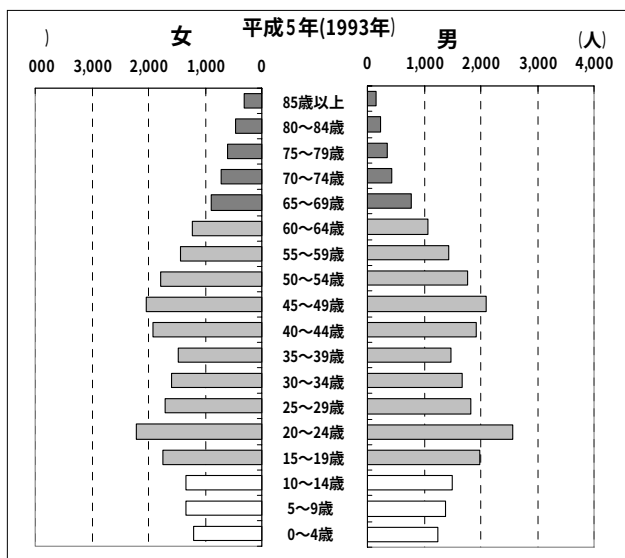
住民基本台帳による

② 人口増減率



住民基本台帳による

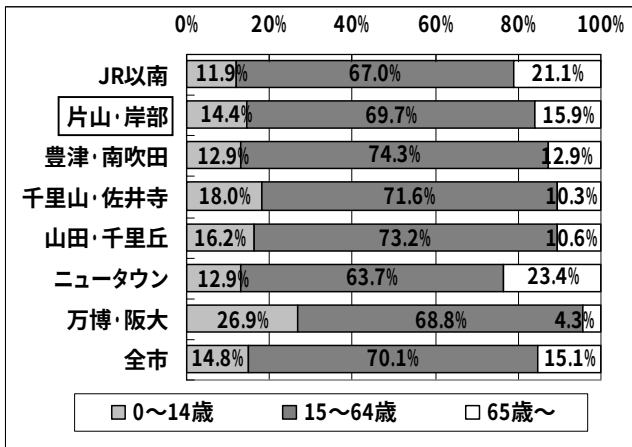
③ 人口ピラミッドの推移



住民基本台帳による

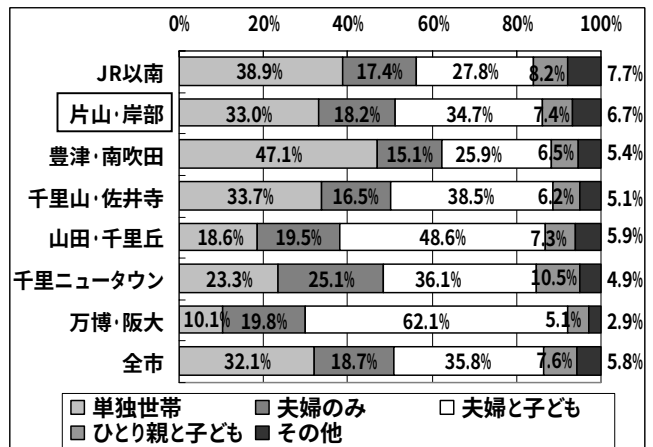
第3章 地域ごとの計画 II 片山・岸部地域

④ 年齢3区分別の人口割合



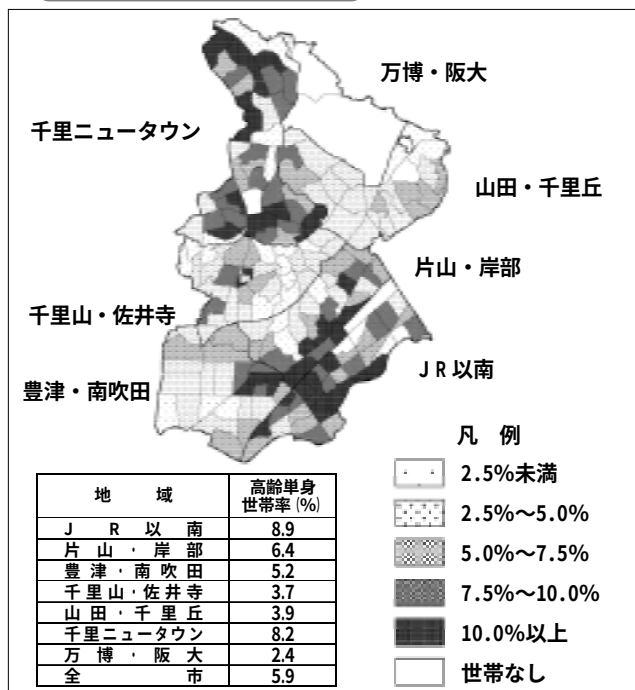
平成 15 年（2003 年）住民基本台帳による

⑤ 世帯の状況 (家族類型別)



平成 12 年（2000 年）国勢調査による

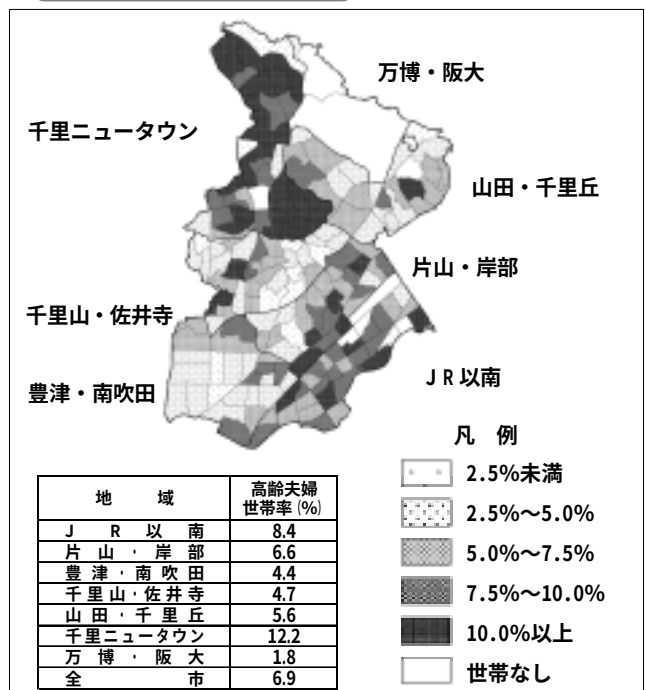
⑥ 高齢単身世帯率



高齢単身世帯数の世帯数に占める割合

平成 12 年（2000 年）国勢調査による

⑦ 高齢夫婦世帯率



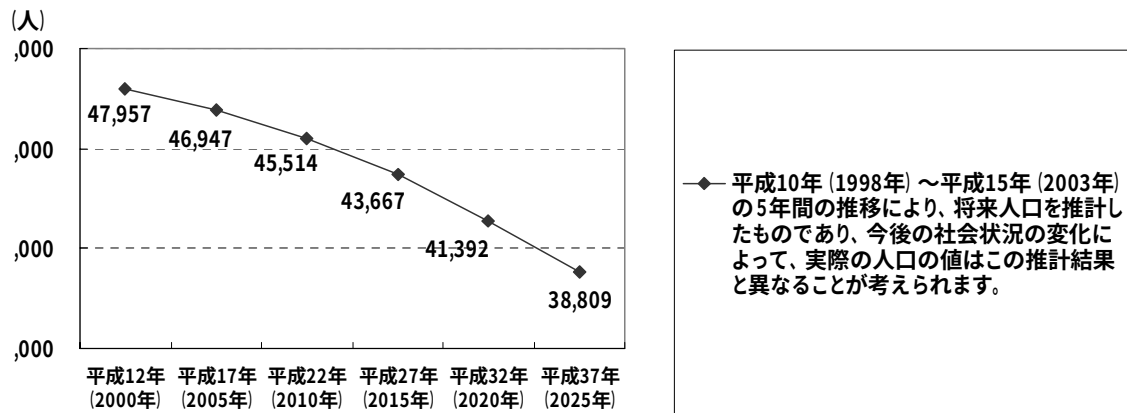
高齢夫婦世帯数の世帯数に占める割合

平成 12 年（2000 年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

Ⅱ 片山・岸部地域

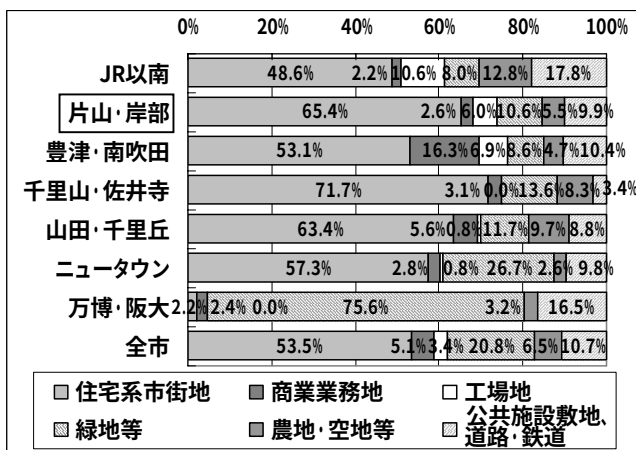
⑧ 将来人口の推計



2. 土地利用・住宅

一戸建と長屋建住宅の比率が高く、木造建物床面積率も高くなっています。
住宅地の評価について、「道路や歩道の整備状況」に対する満足度が低くなっています。

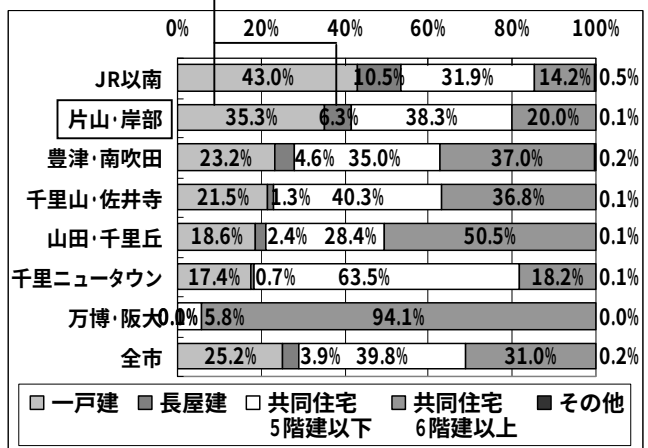
① 土地利用



平成 12 年（2000 年）都市計画基礎調査による

② 建て方別世帯数の割合

一戸建及び長屋建の比率が高くなっています

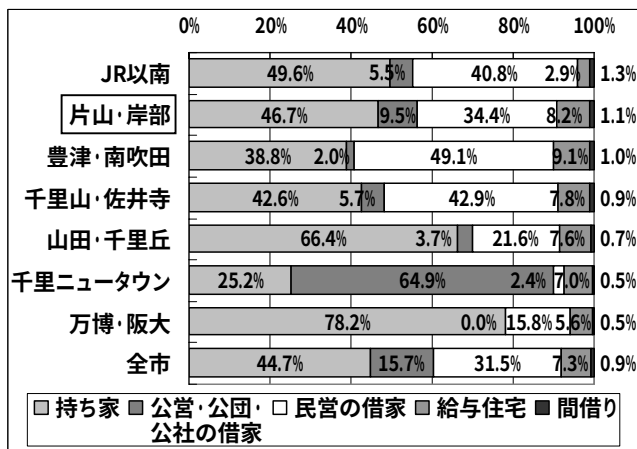


平成 12 年（2000 年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

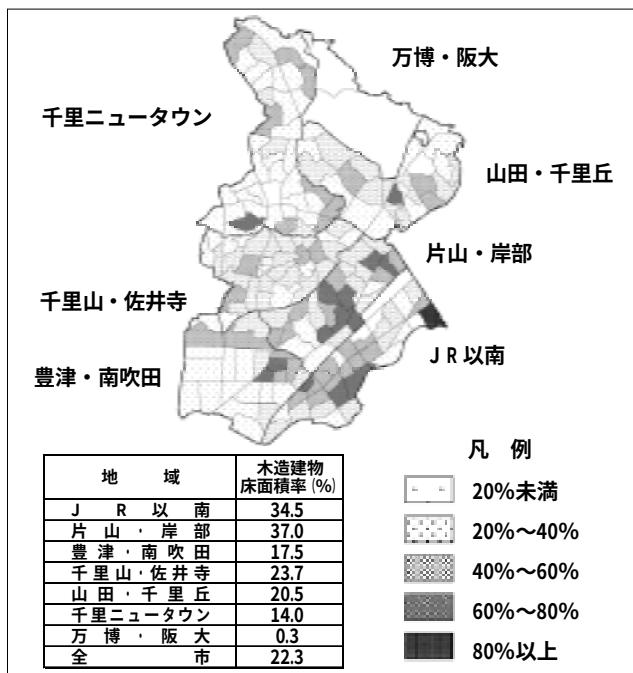
II 片山・岸部地域

③ 所有関係別世帯数の割合



平成12年(2000年)国勢調査による

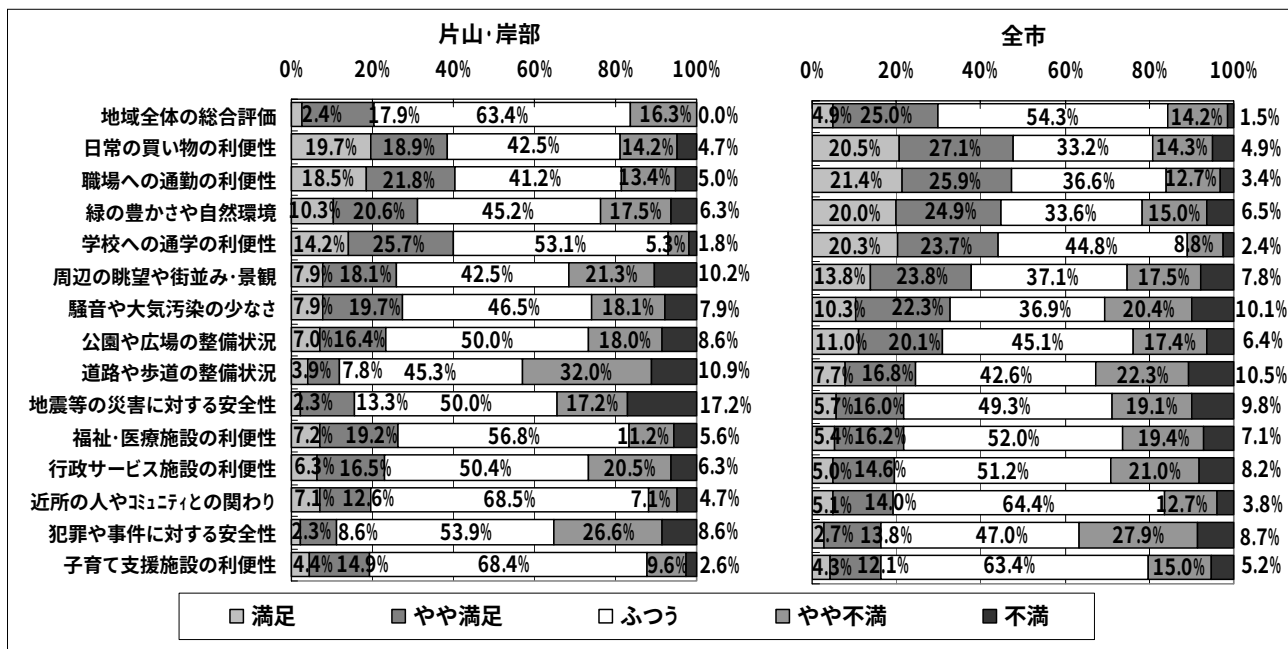
④ 木造建物床面積率



木造(土蔵含む)建物延べ床面積の全建物延べ床面積に対する割合

平成11年(1999年)都市計画基礎調査による

⑤ 住宅地の評価



無回答は除外した構成比

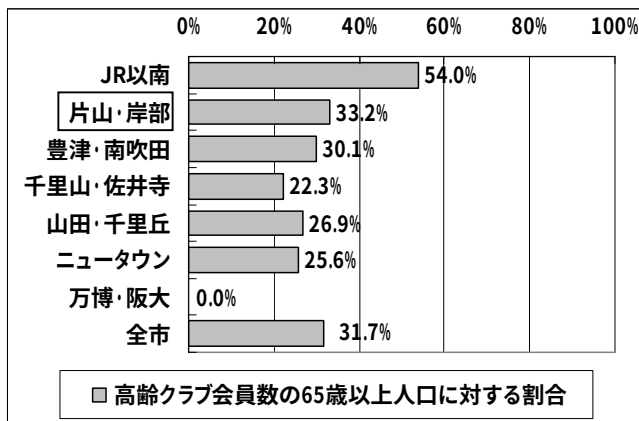
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)報告書による

3. コミュニティ・福祉

平均居住年数が長く、吹田市に対してふるさと意識を持つ市民の割合が最も高くなっています。

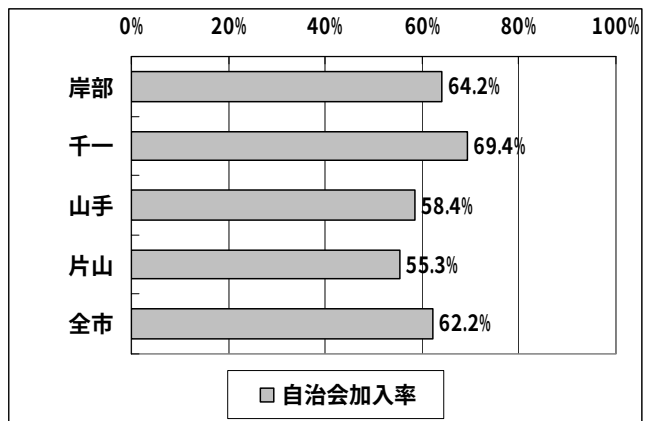
保育所入所児童の比率が高く、また、高齢単身世帯の比率も高いなど、福祉ニーズが高いことが伺えます。

① 高齢クラブ加入率



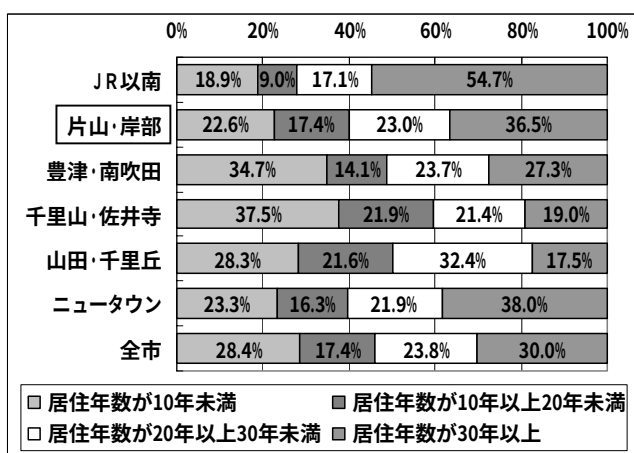
平成 16 年（2004 年）福祉保健部データによる

② 自治会加入率



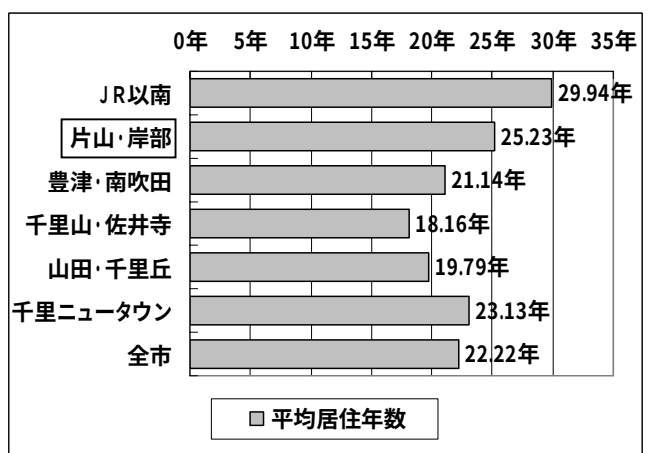
平成 16 年（2004 年）市民文化部データによる

③ 居住年数



平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

④ 平均居住年数



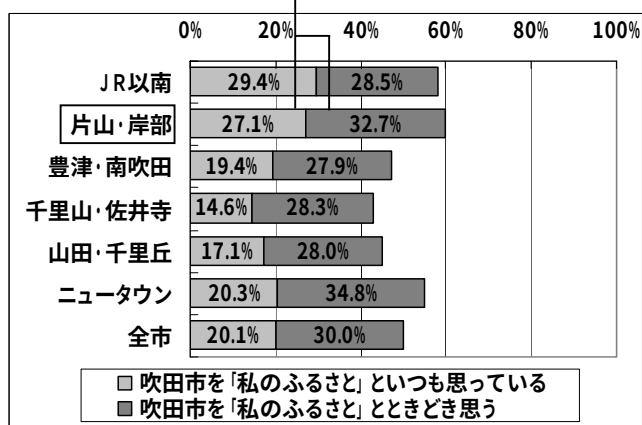
平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

第3章 地域ごとの計画

II 片山・岸部地域

⑤ ふるさと意識

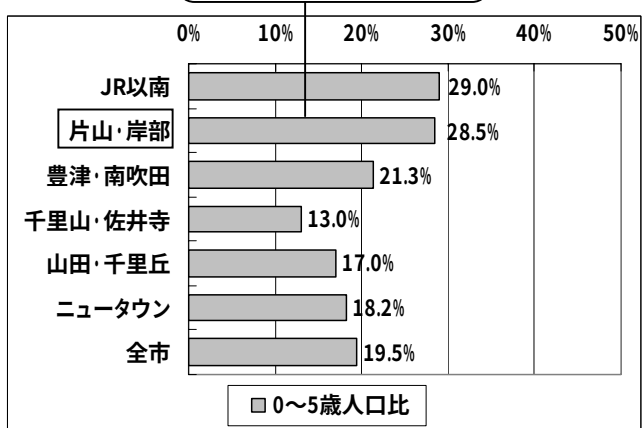
ふるさと意識を持つ人が
およそ6割を占めています



平成14年度（2002年度）市民意識調査による

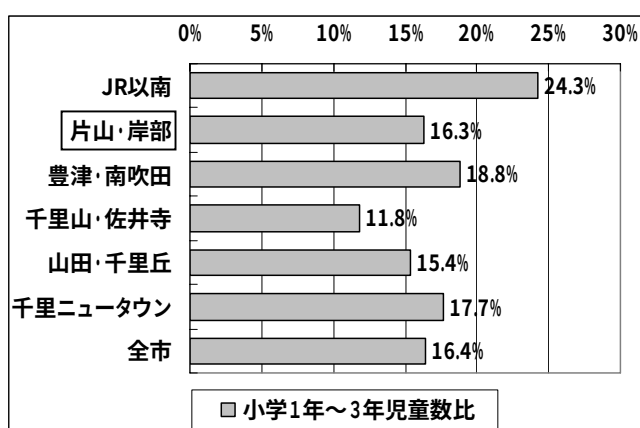
⑥ 保育所入所児童の比率

保育所入所児童の比率
が高くなっています



平成15年（2003年）児童部データによる

⑦ 留守家庭児童育成室入室児の比率



平成15年（2003年）児童部データによる

4. 主な歴史・文化資源

旧街道・参道

亀岡街道、吹田街道、吉志部神社参道

歴史的まちなみが残る地区

岸部、原町

神社・寺院

泉殿宮、片山神社、吉志部神社、名次宮、
天津神社、玉林寺、常光寺、大光寺

歴史的建築・構造物

泉殿宮の常夜灯、吉志部神社本殿、
中西家住宅、大阪ハリストス正教会、
千里第一小学校

地蔵・道標・碑

六観音・六地蔵、吉志部小路道標

遺跡・史跡

32号須恵器窯跡、34号須恵器窯跡、
吉志部古墳、七尾瓦窯跡、吉志部瓦窯跡、
泉殿の霊泉

その他の文化財

地車（川面町、浜の堂）、泉殿宮神楽獅子

伝統行事・まつり・芸能

泉殿宮の神楽獅子、吉志部神社のどんじ、
どんど祭り、四つ竹踊り、愛宕盆

第3章 地域ごとの計画

II 片山・岸部地域

第3節 公共施設等の配置状況

1. 文化集会施設・スポーツ施設



分類	施設名
公民館	1 岸二地区公民館
	2 岸一地区公民館
	3 片山地区公民館
	4 千一地区公民館
	5 山手地区公民館
	6 中央公民館
市民センター	7 岸部市民センター
図書館・分館・分室	8 中央図書館
その他の文化集会施設	6 市民会館
	9 博物館
	10 青少年クリエイティブセンター
	11 男女共同参画センター
体育館	12 片山市民体育館
その他のスポーツ施設	13 片山市民プール

2. 福祉施設・保健医療施設



分類	施設名
保育所（市立）	1 岸部保育園 2 ことぶき保育園 3 片山保育園
保育所（私立）	4 千里山やまて学園 5 あびにょん保育園 6 岸部敬愛保育園 7 旭ヶ丘学園 8 マーヤ敬愛保育園
児童会館・児童センター	9 原町児童センター 10 朝日が丘児童センター
高齢者 いこいの間等	11 岸二地区高齢者いこいの間 12 岸一地区高齢者いこいの間 13 山手地区高齢者いこいの間 14 千一地区高齢者いこいの間 15 片山地区高齢者いこいの間 16 高齢者いこいの家
特別養護 老人ホーム	17 寿楽荘 18 高寿園

分類	施設名
老人保健施設	18 吹田市介護老人保健施設 19 老人保健施設ウェルハウス協和
グループホーム	20 ヴィラコティ岸部 21 岸部中グループホーム
デイサービス センター	22 総合福祉会館 23 ナイト・ケア吹田 7 デイサービスセンターあさひがおか 24 片山デイサービス 17 高寿園デイサービスセンター 21 岸部中デイサービスセンター 25 デイ上山手サン・ハウス
在宅介護 支援センター	19 ウェルハウス協和 在宅介護支援センター 17 高寿園在宅介護支援センター
障害者 福祉施設	26 わかたけ園 27 さつき障害者作業所 28 スマイルぶくぶく 29 杉の子学園
その他の 福祉施設	22 総合福祉会館
保健施設	22 保健センター 30 吹田府民健康プラザ
医療施設	31 吹田市民病院 32 岸部診療所

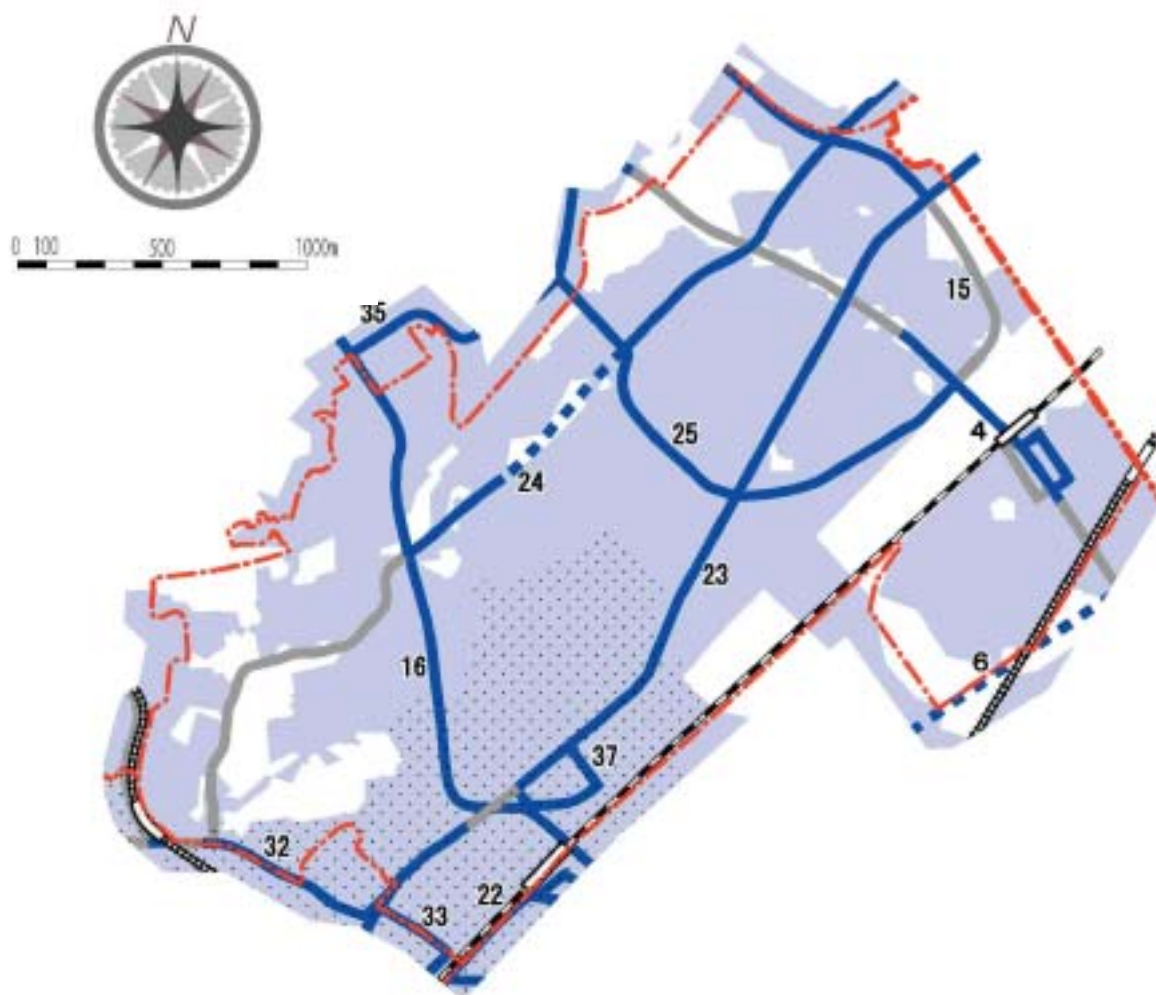
第3章 地域ごとの計画
II 片山・岸部地域

3. 学校教育施設



分類	施設名
幼稚園（市立）	1 岸部第一幼稚園
	2 片山幼稚園
幼稚園（私立）	3 山手幼稚園
	4 岸部敬愛幼稚園
	5 藤が丘幼稚園
小学校（市立）	6 岸部第二小学校
	7 岸部第一小学校
	8 片山小学校
	9 千里第一小学校
	10 山手小学校
中学校（市立）	11 第二中学校
高校（公立）	12 府立吹田高等学校
短大・大学（私立）	13 大阪学院短期大学
	14 大阪学院大学

4. 都市計画道路・下水道整備状況



凡 例	
都市計画道路 (平成15年度(2003年度)未現在)	
未 整 備	—
事 業 中	■■■■
整 備 済	■
下水道雨水施設整備計画 (平成15年度(2003年度)未現在)	
未 整 備	□
整 備 済	■
能力増強の整備区域	...

種別	番号	名 称
幹線街路	4	豊中岸部線
	6	十三高槻線
	15	南千里岸部線
	16	佐井寺片山高浜線
	22	吹田駅前線
	23	大阪高槻京都線
	24	千里丘豊津線
	25	山田佐井寺岸部線
	32	服部西之庄線
	33	西之庄線
	35	佐井寺南線
区画街路	37	片山1号線

III 豊津・南吹田地域

プロフィール

この地域は、千里丘陵の南側にあり、地下水が豊富で垂水神社など水にゆかりのある史跡が多くあります。また、地区内の遺跡からは、古代より広域的に交流があったことがうかがえます。高度成長期に入ると、千里ニュータウンの開発や万国博覧会の開催を機に国道423号（新御堂筋）や地下鉄御堂筋線の延伸整備が進められ、あわせて江坂駅周辺等では土地区画整理事業が行われました。

江坂駅を中心に、北大阪の都心的役割としての商業・業務施設やアミューズメント施設の集積する地区となっていますが、その周辺には旧集落の面影を残したまちなみや、北部には閑静な住宅地が形成されています。また、東部には市役所や文化会館（メイシアター）があり、南部の神崎川沿いには大規模な工場が数多く見られます。

西部の松並木のある高川、中央部の桜並木のある糸田川沿いの緑道は、まちなかでの貴重な緑と水辺の空間となっています。



第3章 地域ごとの計画

III 豊津・南吹田地域

地域マップ



垂水神社



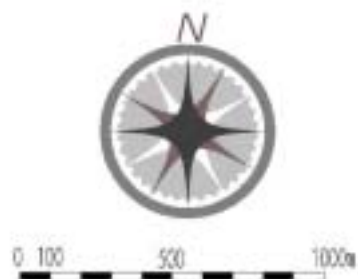
江坂公園周辺



蔵人旧集落のまちなみ



エスコタウン



第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
①のエリア	江坂駅周辺の商業・業務機能やサービス機能の集積を促進し、北大阪の都心的役割を高めます。 自治会や事業者などが連携したまちづくりの取組を支援するとともに、特色ある文化を全国に発信する、若々しく魅力あるまちづくりをめざします。	● 個性的で魅力ある専門店の集積を促進します。また、起業を支援し、地域への定着を促進します。 ● 情報サービスなど産業支援型企業の誘致・育成を進めます。 ● 事業者などが連携した祭りや文化イベントなどを支援し、多くの人が訪れたくなるにぎわいのある商業地づくりを促進します。 ● 専門学校や劇団、事業者と協働し、文化交流施設の誘致や若者たちの交流の場づくりを進め、特色ある「江坂文化」を発信します。 ● 地域のコミュニティと協働し、防犯活動やまちの美化活動などを支援し、快適で安心・安全な環境整備を進めます。
②のエリア	地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。	● 榎坂・蔵人の旧集落、垂水に点在する史跡や旧集落、垂水の森など、歴史・文化資源と自然を生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。 ● 歴史・文化資源に親しみながら歩けるルートを形成し、近くの河川と結びます。
この地域全体	これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。 子どもなど、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 河川を生かし、ふれあいの場として活用します。 緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。 環境と調和した工業の振興を図ります。	● 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。 ● 保育・子育てへの多様なニーズに対応して、子育て支援活動を地域住民、社会福祉事業者との協働で進めます。 ● 神崎川などの緑と水辺を生かし、市民や事業者との協働により、ふれあいの場として活用します。 ● 公園整備やまちの緑化に努めます。また、ポケットパークなど身近なオープンスペースの確保に努めます。 ● 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。 ● 工業の高度化や環境に配慮した事業活動を支援し、都市型工業への展開を図ります。 ● (仮称)西吹田駅前の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。

第3章 地域ごとの計画

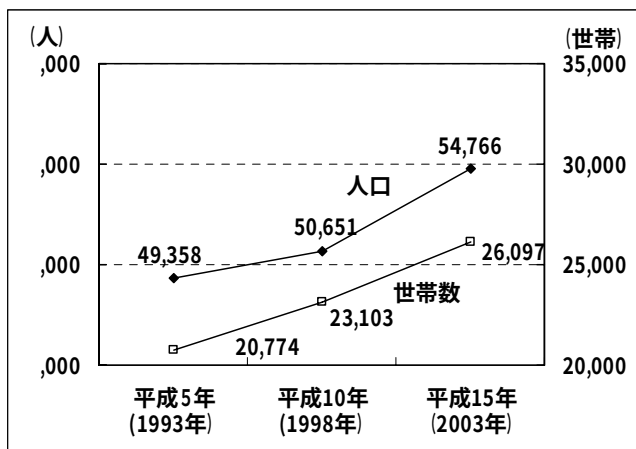
III 豊津・南吹田地域

第2節 まちの様子

1. 人口

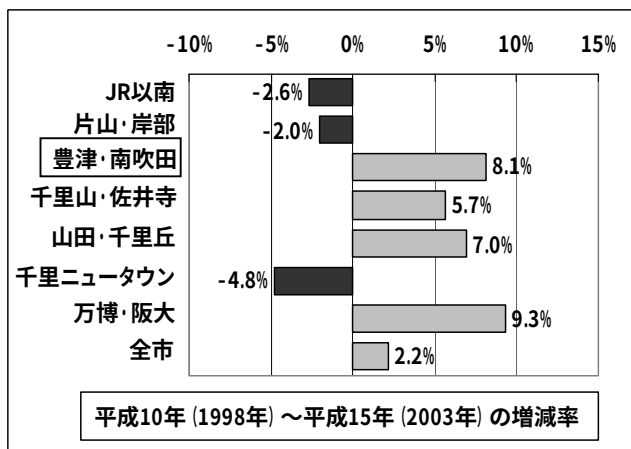
人口増加が続く中で、単身世帯の比率が非常に高くなっています。

① 人口・世帯数の移り変わり



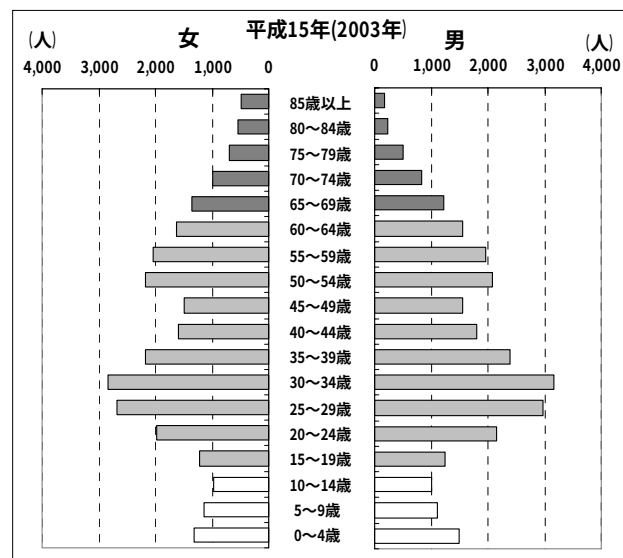
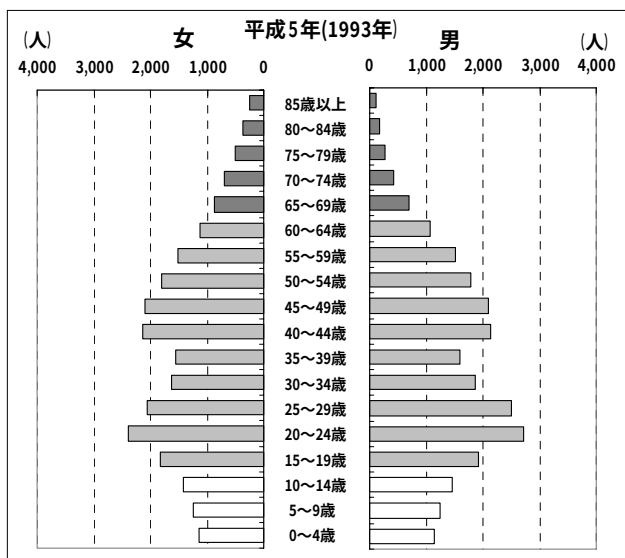
住民基本台帳による

② 人口増減率



住民基本台帳による

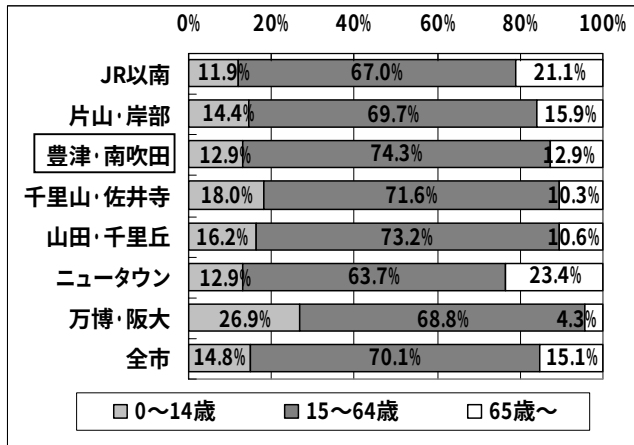
③ 人口ピラミッドの推移



住民基本台帳による

第3章 地域ごとの計画 III 豊津・南吹田地域

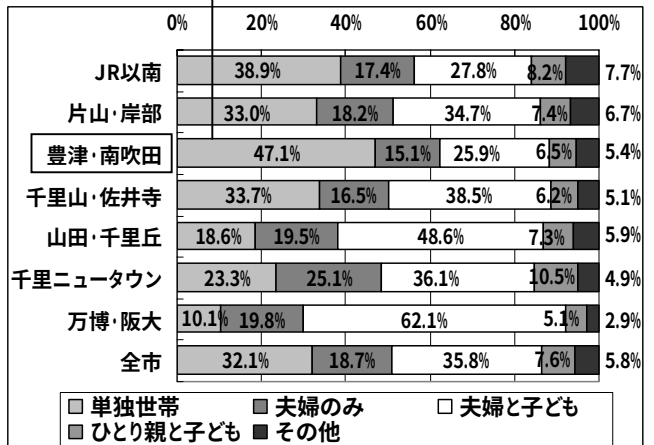
④ 年齢3区分別の人口割合



平成15年（2003年）住民基本台帳による

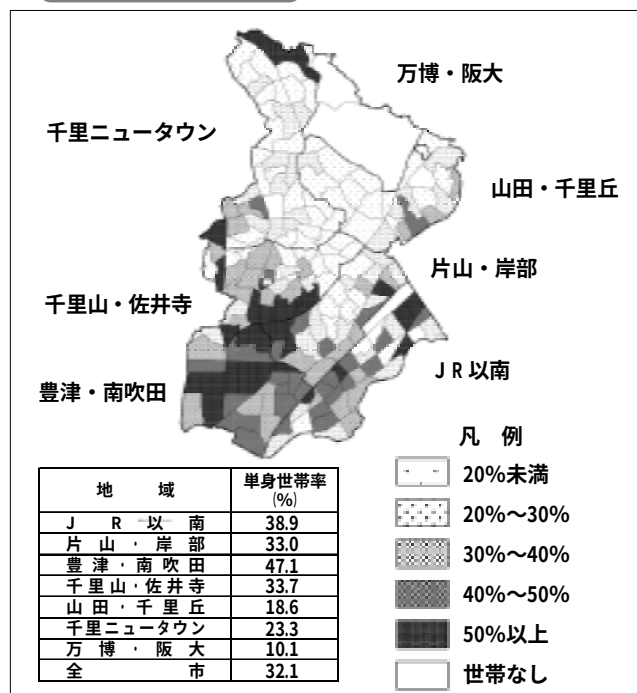
⑤ 世帯の状況（家族類型別）

単独世帯の比率が全ブロックの中で一番高く、およそ5割となっています



平成12年（2000年）国勢調査による

⑥ 単身世帯率

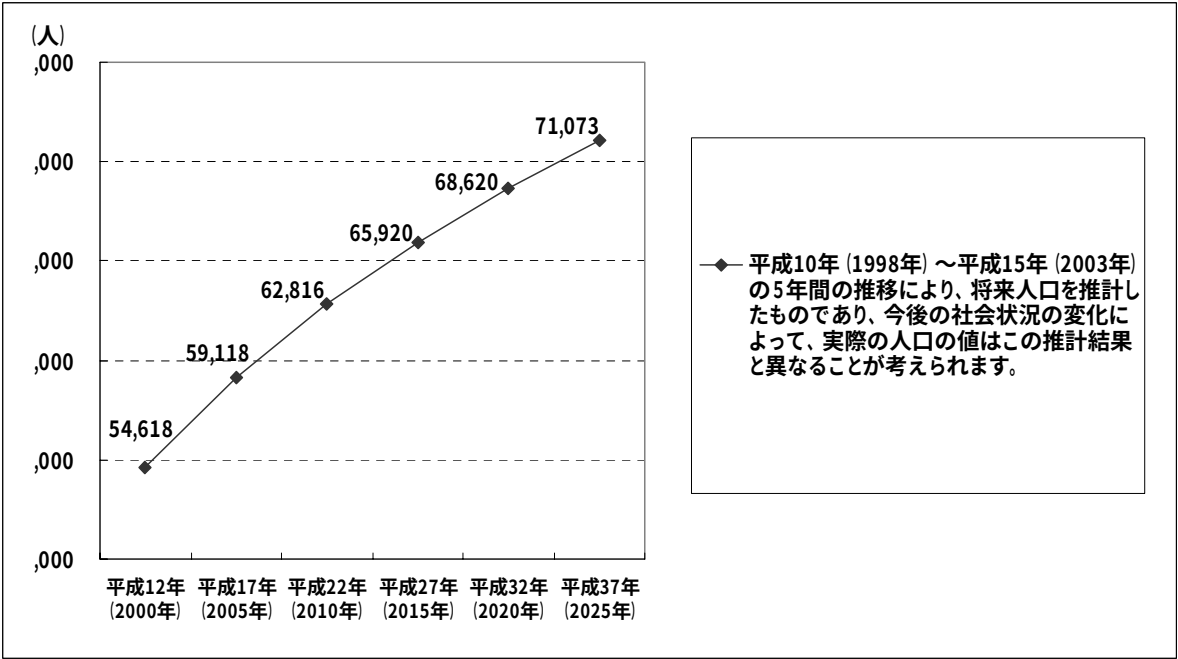


単身世帯数の世帯数に占める割合

平成12年（2000年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画
III 豊津・南吹田地域

⑦ 将来人口の推計

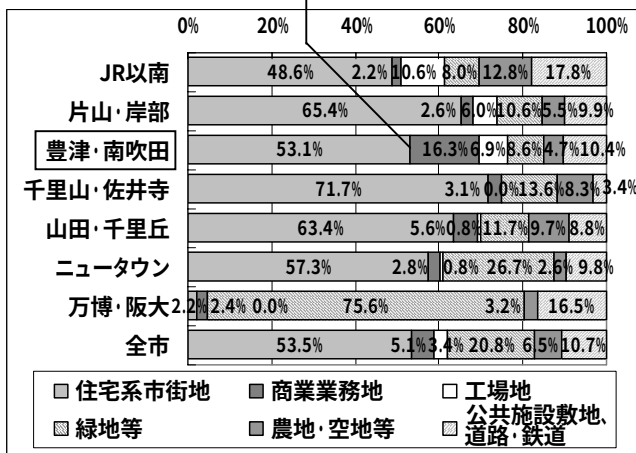


2. 土地利用・住宅

商業業務地の比率が高く、緑地等の比率が低くなっています。
全市の中で民間賃貸共同住宅の比率が最も高くなっています。
住宅地の評価について、「緑の豊かさや自然環境」「周辺の眺望や街並み・景観」「騒音や大気汚染の少なさ」に対する満足度が低くなっています。

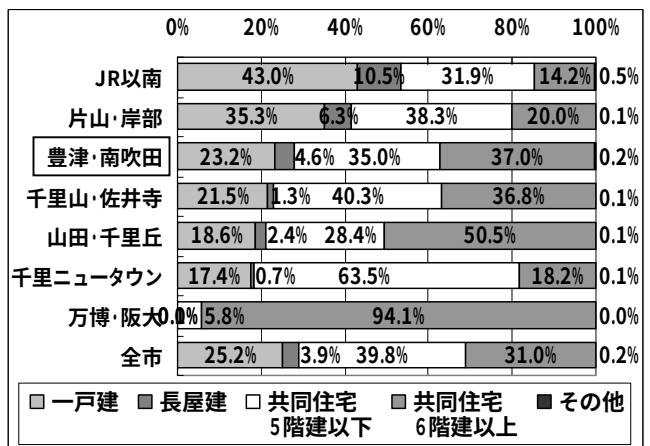
① 土地利用

商業業務地の比率が、全ブロックの中で、最も高くなっています



平成12年（2000年）都市計画基礎調査による

② 建て方別世帯数の割合

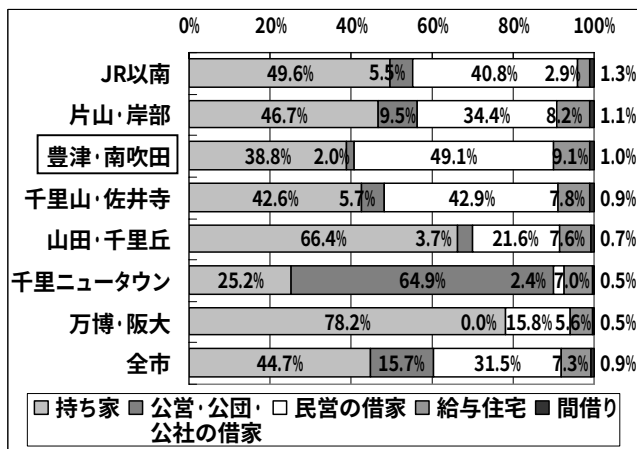


平成12年（2000年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

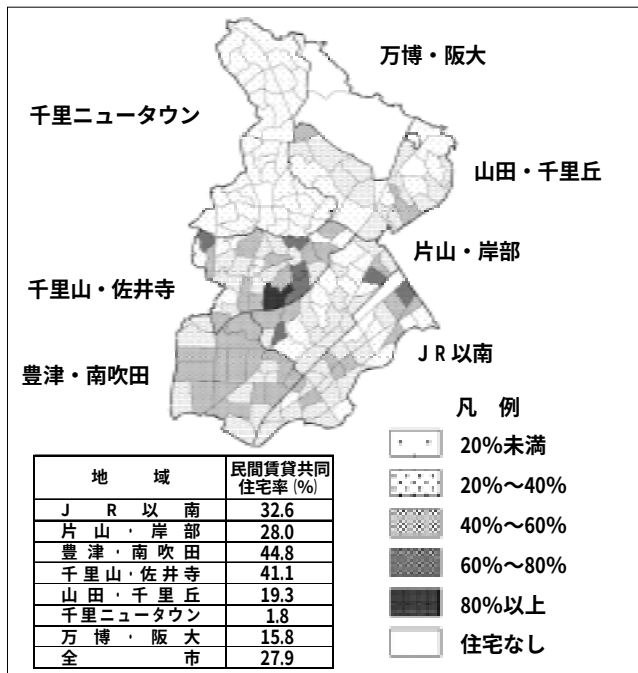
III 豊津・南吹田地域

③ 所有関係別世帯数の割合



平成12年(2000年)国勢調査による

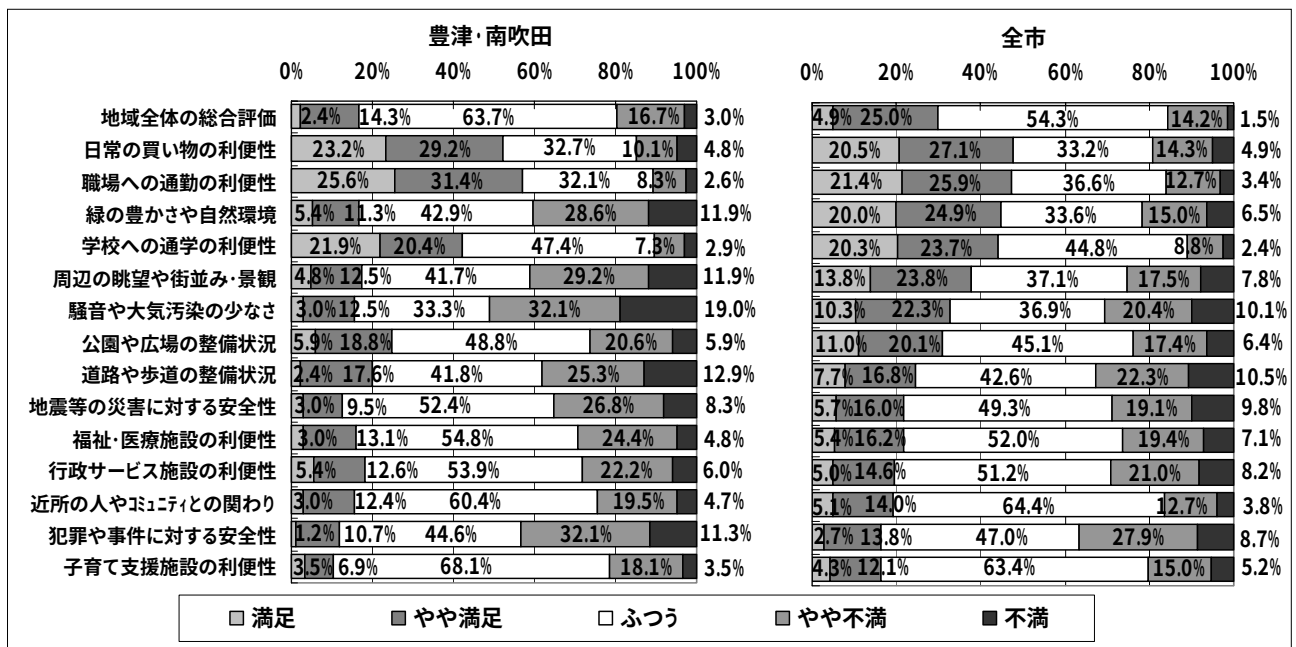
④ 民間賃貸共同住宅率



民間借家共同住宅に住む世帯数の住宅に住む一般世帯数に対する割合

平成12年(2000年)国勢調査による

⑤ 住宅地の評価



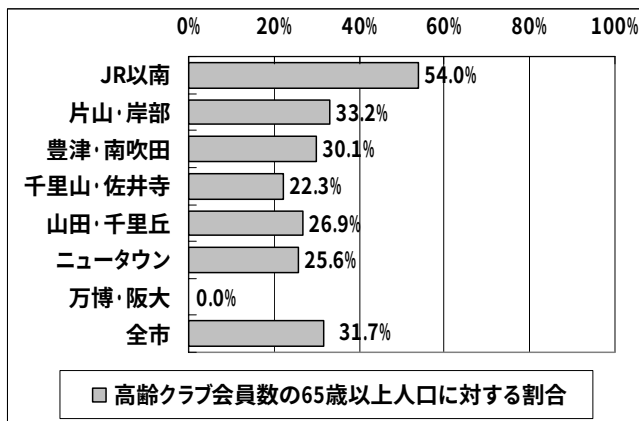
無回答は除外した構成比

平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)報告書による

3. コミュニティ・福祉

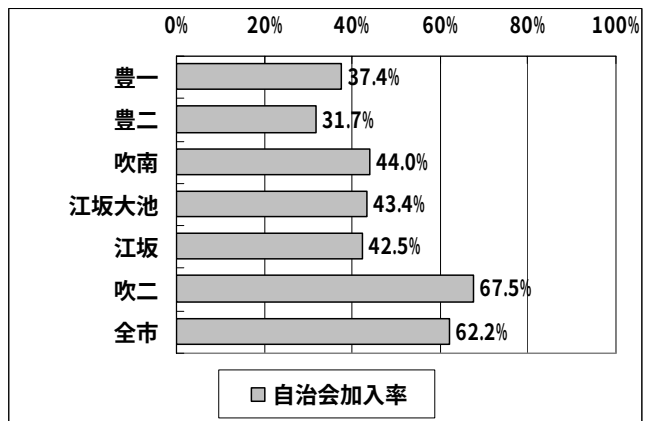
単身世帯が約半分を占める中、自治会への加入率は全体的に低く、「地域の行事や活動にほとんど参加していない」と回答した市民が6割を超えています。その一方で、企業も含めたボランティア活動など特色あるコミュニティ活動が行われています。
留守家庭児童育成室入室児の比率が高くなっています。

① 高齢クラブ加入率



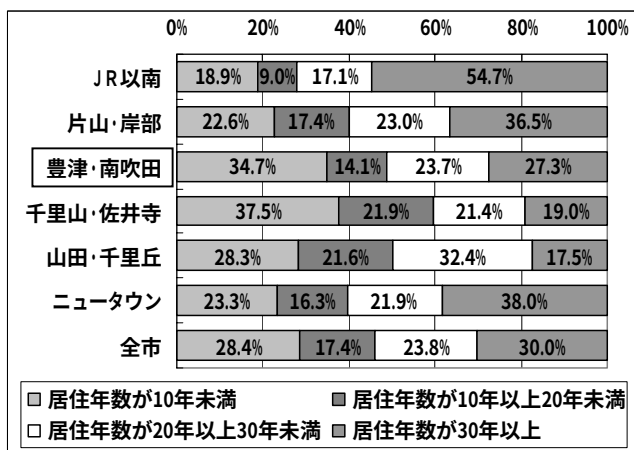
平成 16 年（2004 年）福祉保健部データによる

② 自治会加入率



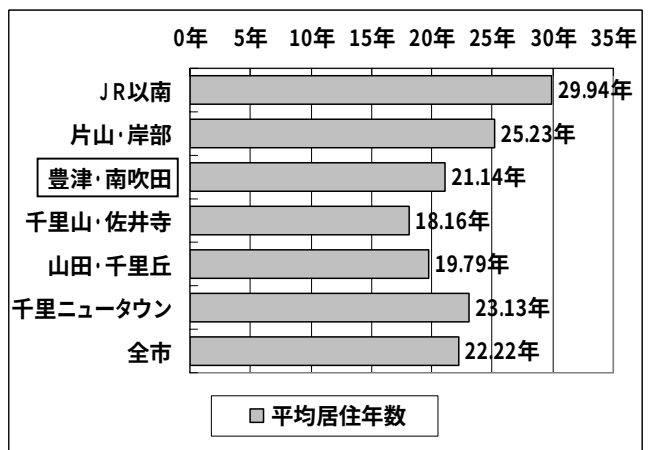
平成 16 年（2004 年）市民文化部データによる

③ 居住年数



平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

④ 平均居住年数

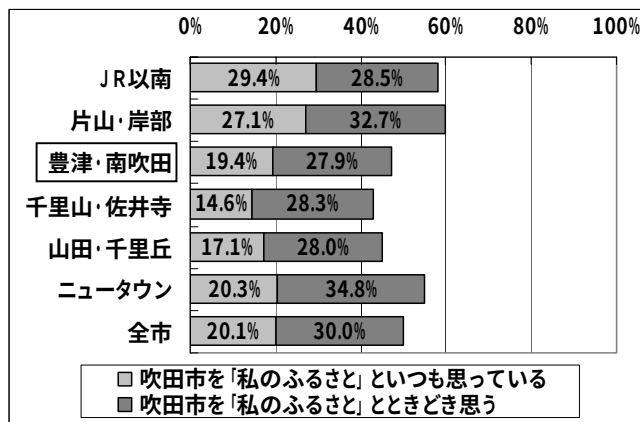


平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

第3章 地域ごとの計画

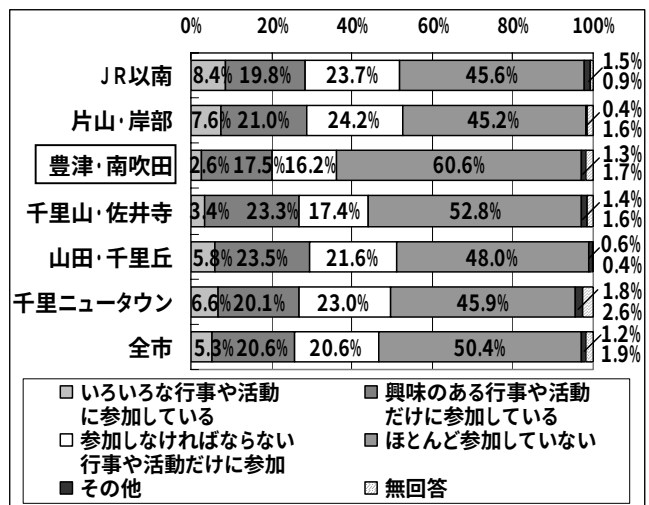
III 豊津・南吹田地域

⑤ ふるさと意識



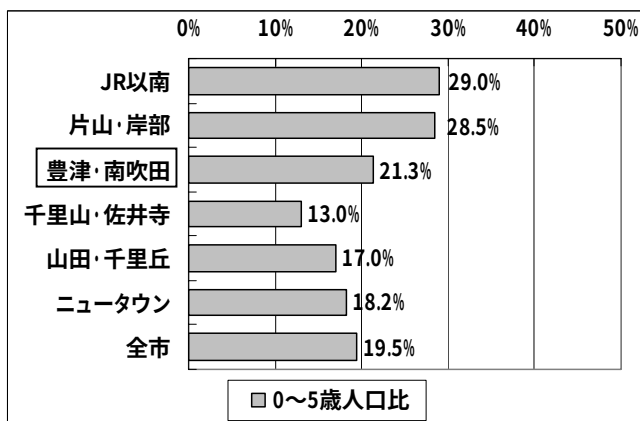
平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

⑥ 地域の行事や活動への参加態度



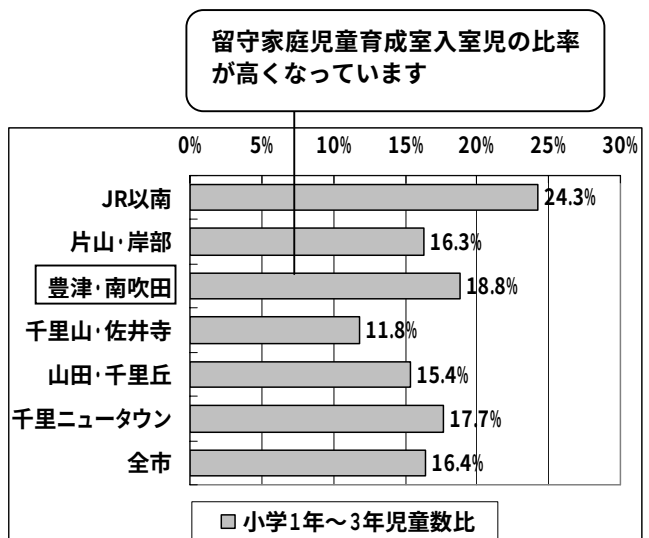
平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

⑦ 保育所入所児童の比率



平成 15 年（2003 年）児童部データによる

⑧ 留守家庭児童育成室入室児の比率

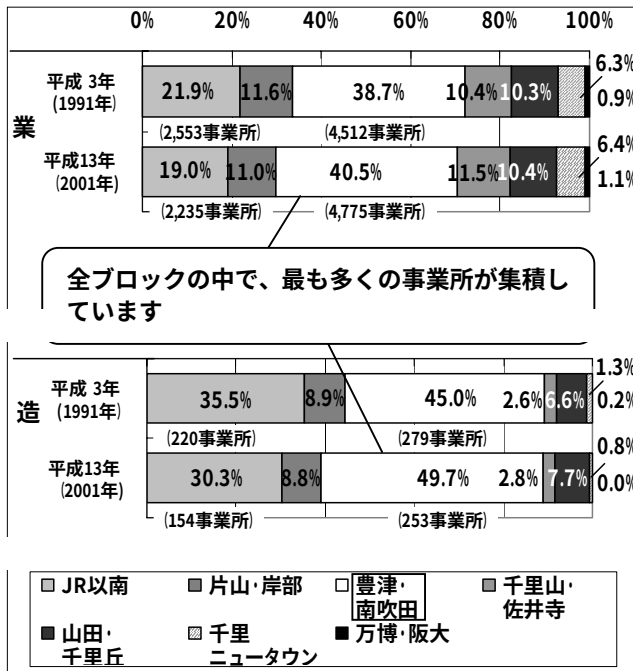


平成 15 年（2003 年）児童部データによる

4. 産業

全事業所の約4割がこの地域に集積しており、商業・業務機能の中心地となっています。特に卸売業の集積が突出していますが、年間販売額は減少傾向にあります。

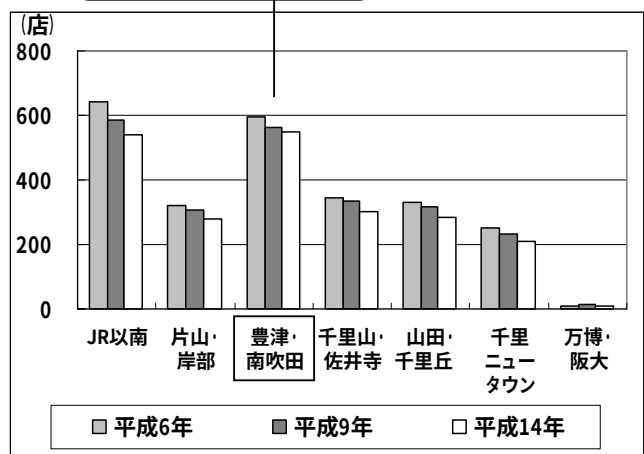
① 事業所数



事業所・企業統計調査による

② 小売業商店数

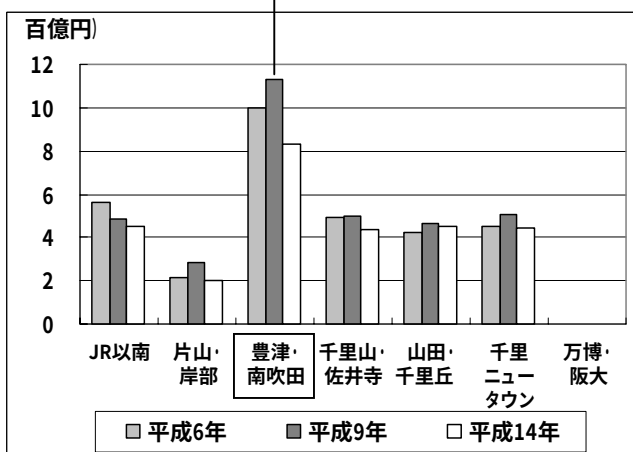
小売業商店数はJR以南とほぼ同数ですが、減少傾向にあります



商業統計調査による

③ 小売業年間販売額

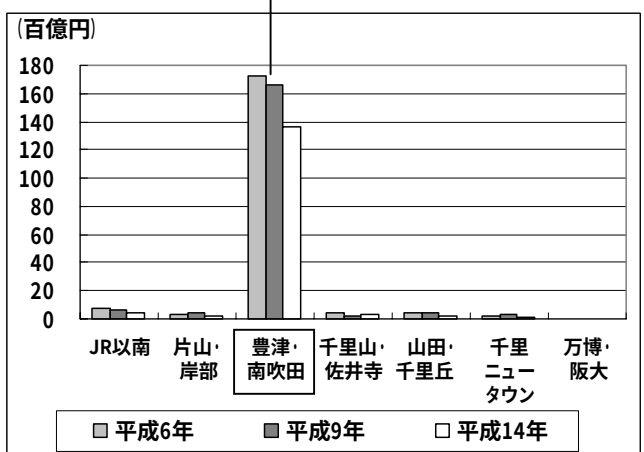
小売業年間販売額は全ブロックの中で最も多くなっています



商業統計調査による

④ 卸売業年間販売額

卸売業年間販売額は全ブロックの中で最も多くなっています



商業統計調査による

第3章 地域ごとの計画

III 豊津・南吹田地域

5. 主な歴史・文化資源

旧街道・参道

吹田街道

歴史的まちなみが残る地区

垂水、江坂

神社・寺院

垂水神社、感神宮（素盞鳴尊神社）、
楠明神社、瑞泉寺、稲荷神社、憶念寺、
法泉寺、明誓寺

歴史的建築・構造物

ダスキン誠心館、高川水道橋

地蔵・道標・碑

榎坂東・西道標、油かけ地蔵、
雉子囃（きじなわて）の碑

遺跡・史跡

垂水遺跡、垂水南遺跡、五反島遺跡、
上の川跡、垂水の滝

その他の文化財

地車（金田町）

伝統行事・まつり・芸能

感神宮・稲荷神社・垂水神社の太鼓御輿、
愛宕盆、吹田まつり

第3節 公共施設等の配置状況

1. 文化集会施設・スポーツ施設



分類	施設名
公民館	1 江坂大池地区公民館
	2 豊二地区公民館
	3 豊一地区公民館
	4 吹二地区公民館
	5 南吹田地区公民館
市民センター	6 豊一市民センター
図書館・分館・分室	7 江坂図書館
その他の文化集会施設	8 文化会館（メイシアター）
	7 花とみどりの情報センター
体育館	9 南吹田市民体育館

第3章 地域ごとの計画

III 豊津・南吹田地域

2. 福祉施設・保健医療施設



分類	施設名
保育所（市立）	1 垂水保育園
	2 いずみ保育園
	3 南保育園
保育所（私立）	4 稲荷学園
	5 かんらん保育園
	6 双葉保育園
児童会館・児童センター	7 豊一児童センター
	8 南吹田児童センター
高齢者 いこいの間等	9 江坂大池地区高齢者いこいの間
	10 豊二地区高齢者いこいの間
	11 豊一地区高齢者いこいの間
	12 吹二地区高齢者いこいの間
	8 吹南地区高齢者いこいの間

分類	施設名
特別養護老人ホーム	13 エバグリーン
グループホーム	14 エコ吹田
	15 グループホームやすらぎ
デイサービスセンター	16 垂水デイサービスセンター
	17 吹田南デイサービス たすけあいセンター
在宅介護 支援センター	13 エバグリーン
	15 デイサービスひばり
	13 エバグリーン在宅介護支援センター
障害者 福祉施設	18 江坂在宅介護支援センター
	19 シード
その他の 福祉施設	2 いずみ母子ホーム

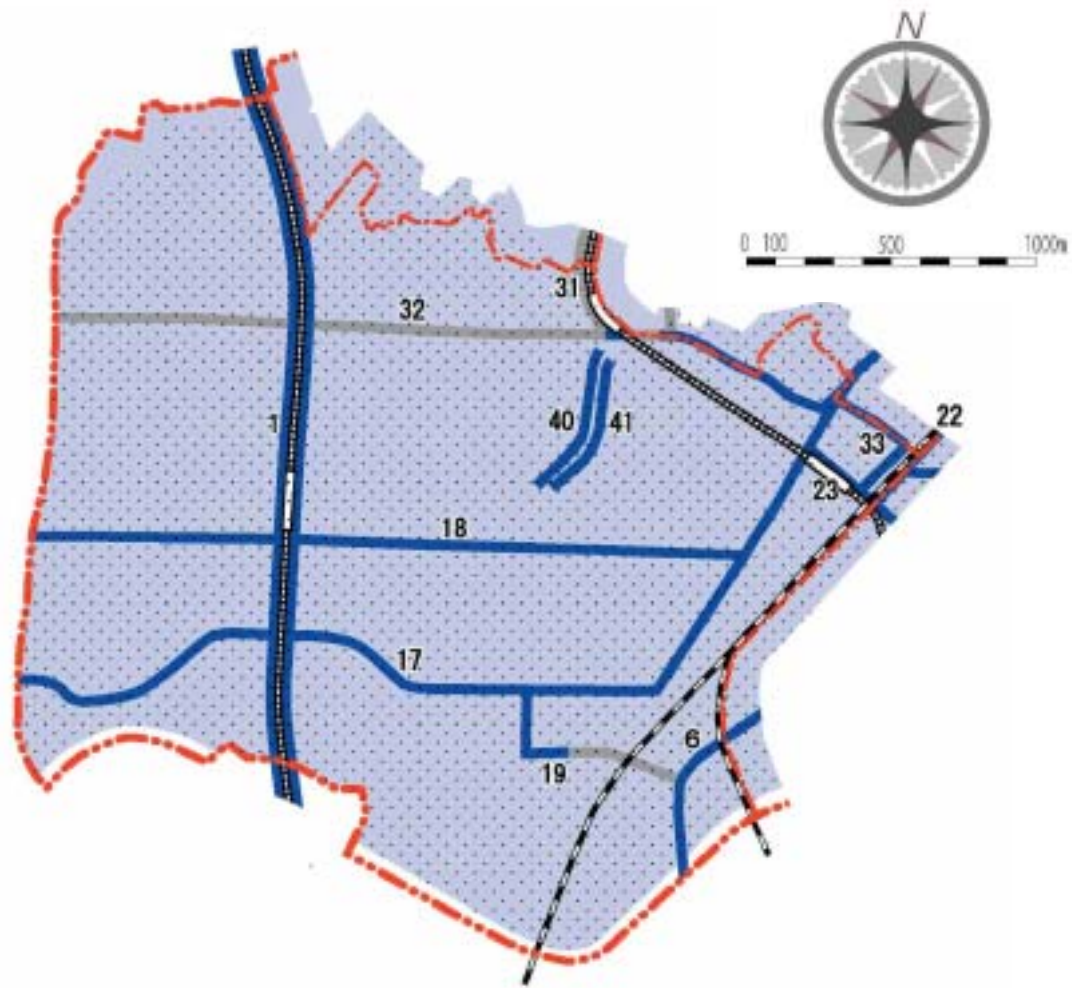
3. 学校教育施設



分類	施設名
幼稚園（市立）	1 江坂大池幼稚園
	2 豊津第一幼稚園
	3 吹田南幼稚園
幼稚園（私立）	4 まこと幼稚園
	5 西吹田幼稚園
小学校（市立）	6 江坂大池小学校
	7 豊津第二小学校
	8 豊津第一小学校
	9 吹田第二小学校
	10 吹田南小学校
中学校（市立）	11 豊津西中学校
	12 豊津中学校
	13 第六中学校
その他の 学校教育施設	14 府立吹田養護学校

第3章 地域ごとの計画
 III 豊津・南吹田地域

4．都市計画道路・下水道整備状況



凡 例	
都市計画道路 (平成15年度(2003年度)末現在)	
未 整 備	
整 備 済	
下水道雨水施設整備計画 (平成15年度(2003年度)末現在)	
未 整 備	
整 備 済	
能力増強の整備区域	

種別	番号	名 称
幹線街路	1	御堂筋線
	6	十三高槻線
	17	小曽根南泉線
	18	豊中吹田線
	19	西吹田駅前線
	22	吹田駅前線
	23	大阪高槻京都線
	31	春日豊津線
	32	服部西之庄線
	33	西之庄線
特殊街路	40	垂水東線
	41	泉金田線

IV 千里山・佐井寺地域

プロフィール

この地域は、市域中央部に位置しており、千里丘陵の起伏に富んだ地形を持ち、古くから尾根筋に佐井寺、谷筋に春日などの集落が形成されてきました。集落内には歴史的なまちなみ、佐井寺伊射奈岐神社や佐井寺など歴史的資源が数多く残されています。

千里山地区は、大正末期に阪急千里線の開通に伴って郊外住宅地として開発され、緑豊かな閑静な住宅地として発展してきました。広大な敷地に豊かな緑とオープンスペースを持つ関西大学は、地域文化や学生向けのにぎわいのある商業地を形成してきました。

佐井寺地区では、古くからの集落が持つ趣を残している市街地に加えて、土地区画整理事業により新しい住宅が多く建設されました。そのため、この地域では近年人口が著しく増加しています。



第3章 地域ごとの計画

Ⅳ 千里山・佐井寺地域

地域マップ



春日神社



佐井寺伊射奈岐神社



佐井寺



佐井寺旧集落のまちなみ



関西大学



千里山のまちなみ



千里山第一噴水



0 100 500 1000m

第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
①のエリア	地域に点在する歴史・文化資源を生かし、歴史・文化のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。	● 春日神社、佐井寺、佐井寺伊射奈岐神社などの歴史・文化資源を生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。 ● 佐井寺や春日の旧集落に現在も残る歴史的まちなみの面影を生かして、趣のある景観形成を図ります。 ● 歴史・文化資源に親しみながら歩けるルートを形成します。
②のエリア	地域の人と大学や学生との交流を深め、大学が地域に息づくまちづくりを進めます。大学を地域資源として生かし、地域文化を育みます。	● 関大前駅や関西大学の周辺では、地域住民や商業者などとの協働により、学生と地域の交流の場の充実に努め、学生街としてのにぎわいと活気のあるまちづくりを進めます。 ● 大学の施設開放やまちづくりへの参加などを促進し、市民の学習環境の整備と市民文化の振興を図ります。 ● 大学の専門的研究機能や情報発信機能、学生の潜在能力やエネルギーを地域文化の発展とまちづくりに生かせるよう、大学との連携事業を推進します。 ● 留学生との交流などを促進し、身近な地域での国際交流を進めます。
③のエリア	千里山住宅とその周辺は、緑豊かで落ち着いた付まいを見せており、風致地区にふさわしい良好な住環境の保全と育成に努めます。	● 地区計画制度や建築協定制度などの活用や、景観の誘導などにより、良好な住環境の保全と育成を図ります。 ● 「みどりの協定」地区の拡大などにより、緑豊かな落ち着いたまちなみの育成を図ります。 ● 洋風住宅など郊外型住宅地開発の文化的遺産を保全し、この地区の伝統を生かした住文化の創造に努めます。
この地域全体	地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。 子どもなど、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 道路整備などに努め、生活環境の向上を図ります。	● 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。 ● 児童館の整備を進めます。また、子育て支援活動を地域住民、社会福祉事業者との協働で進めます。 ● 千里山駅周辺の交通混雑を解消するため、千里山佐井寺線、春日豊津線の整備の促進に努めます。 ● 豊中岸部線、佐井寺片山高浜線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。 ● 雨水施設の未整備地域では、その効率的な整備に努めます。 ● 千里山駅周辺整備事業については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。

第3章 地域ごとの計画

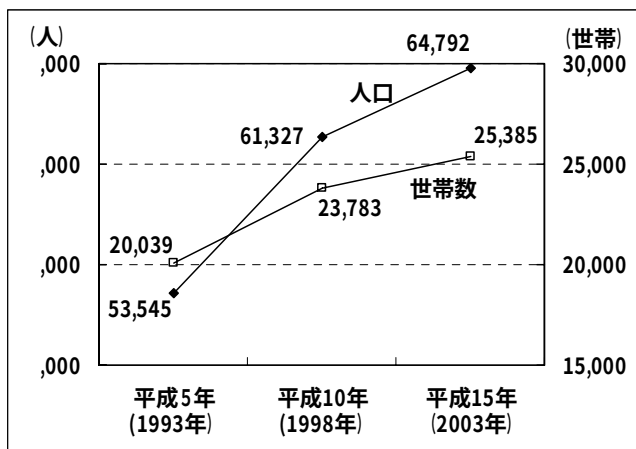
IV 千里山・佐井寺地域

第2節 まちの様子

1. 人口

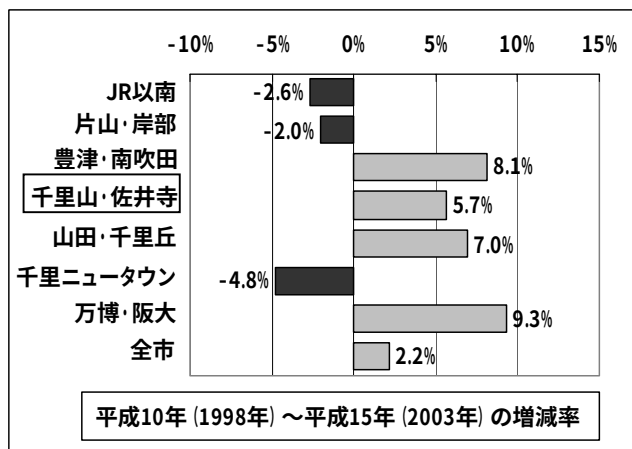
人口増加が続く中で、年少人口の比率が高く、18歳未満の子どものいるファミリー世帯の比率も高くなっています。

① 人口・世帯数の移り変わり



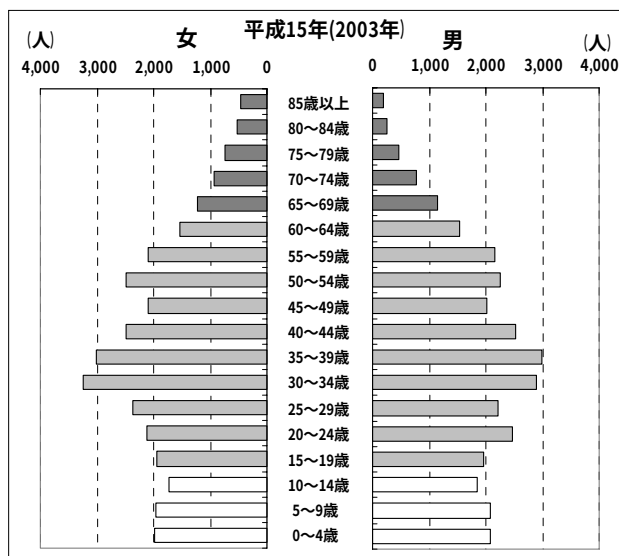
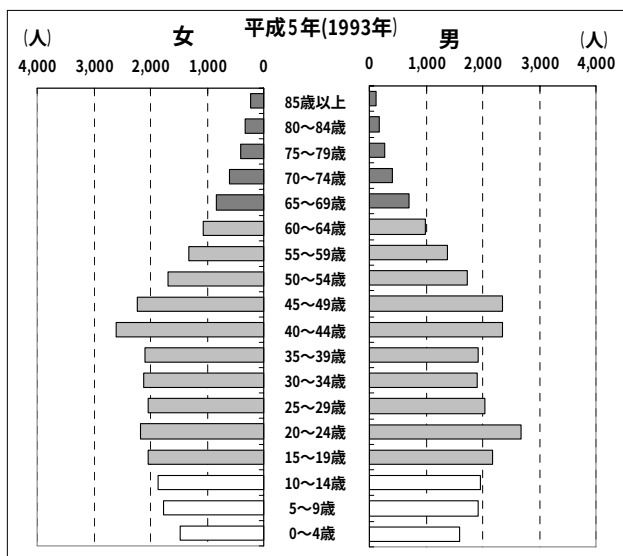
住民基本台帳による

② 人口増減率



住民基本台帳による

③ 人口ピラミッドの推移

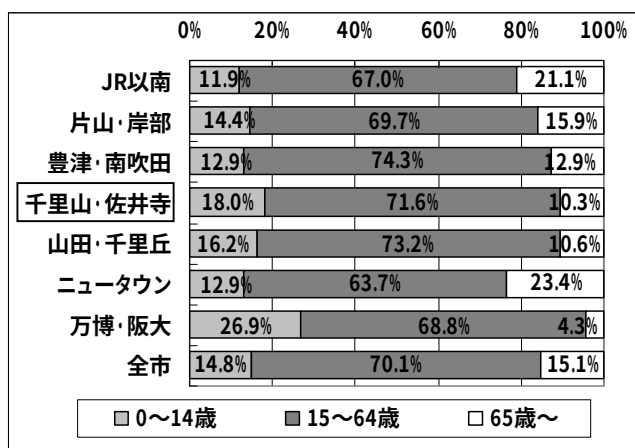


住民基本台帳による

第3章 地域ごとの計画

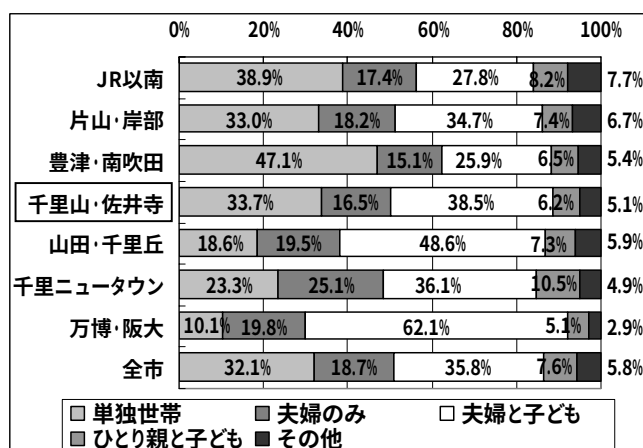
IV 千里山・佐井寺地域

④ 年齢3区分別の人口割合



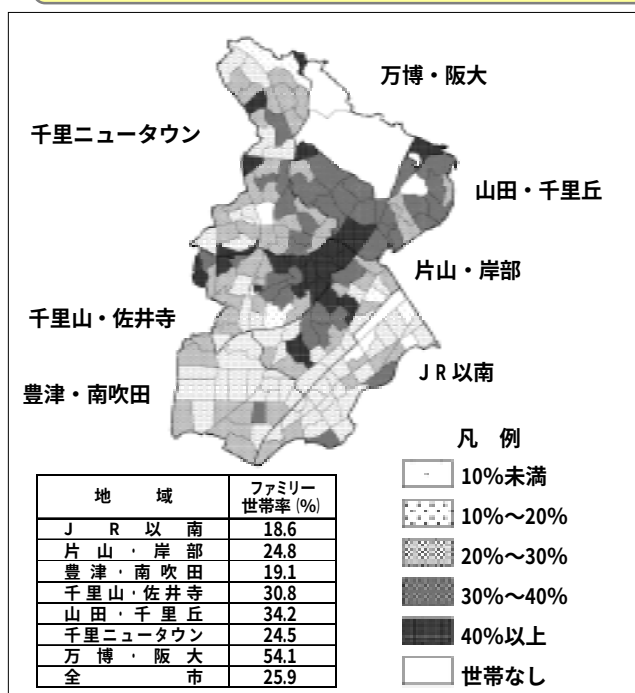
平成 15 年（2003 年）住民基本台帳による

⑤ 世帯の状況 (家族類型別)



平成 12 年（2000 年）国勢調査による

⑥ ファミリー（18 歳未満の子どものいる）世帯率



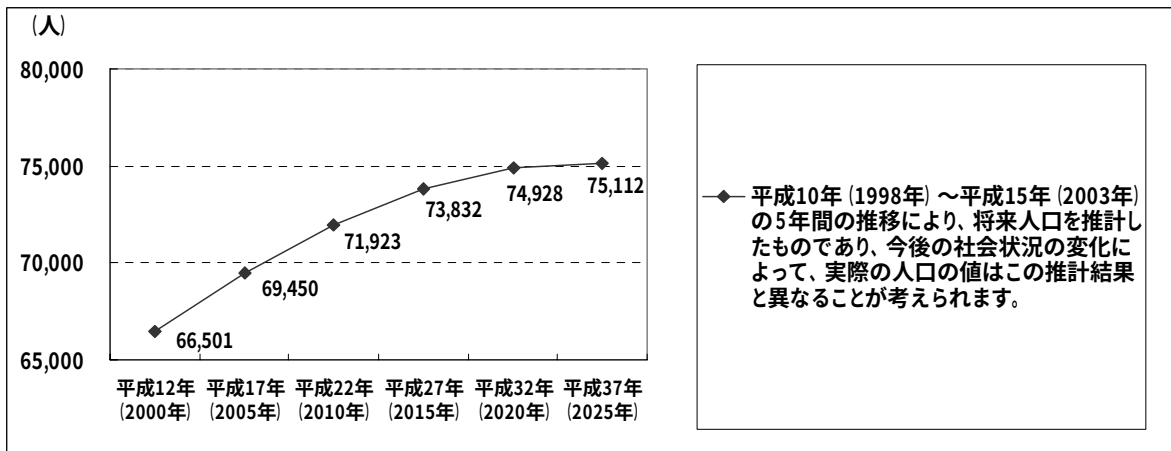
ファミリー（18 歳未満の子どものいる）世帯数の世帯数に占める割合

平成 12 年（2000 年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

Ⅳ 千里山・佐井寺地域

⑦ 将来人口の推計

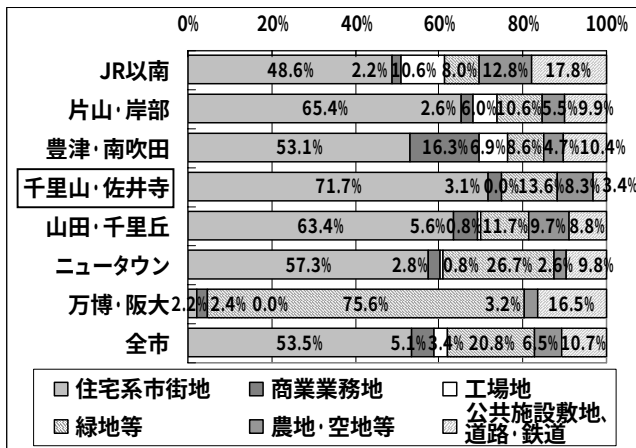


2. 土地利用・住宅

民間賃貸共同住宅の比率が高くなっています。

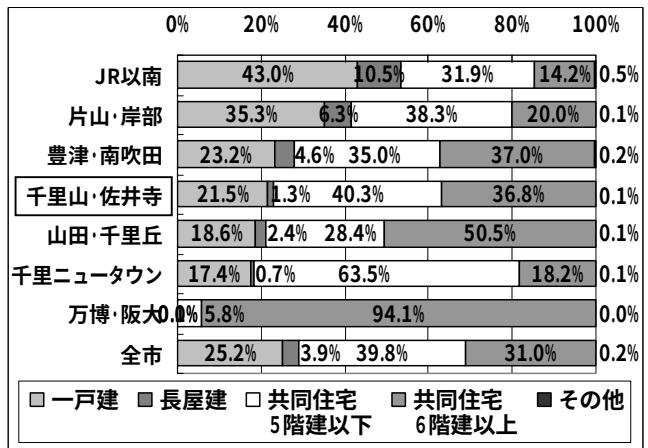
住宅地の評価について、「緑の豊かさや自然環境」「周辺の眺望や街並み・景観」に対する満足度が高くなっていますが、「行政サービス施設の利便性」に対する満足度が低くなっています。

① 土地利用



平成12年（2000年）都市計画基礎調査による

② 建て方別世帯数の割合

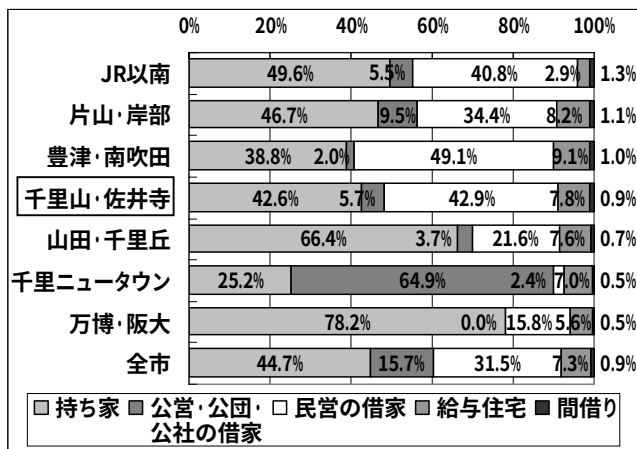


平成12年（2000年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

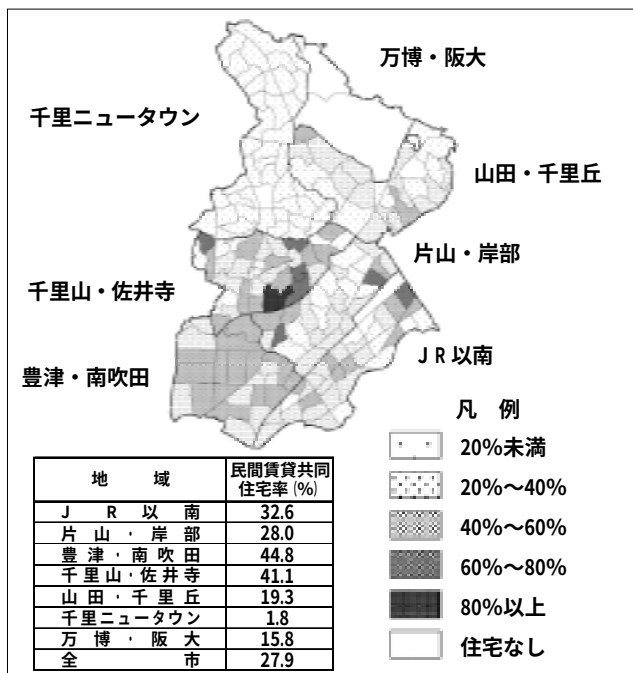
Ⅳ 千里山・佐井寺地域

③ 所有関係別世帯数の割合



平成12年(2000年)国勢調査による

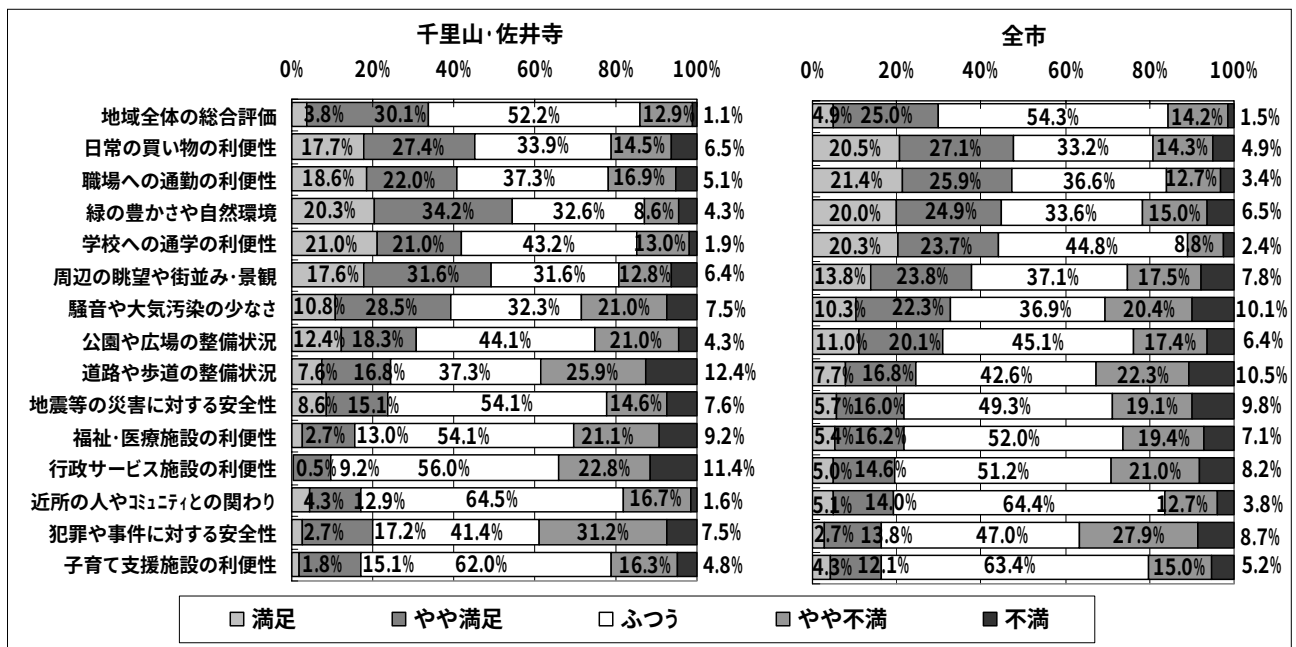
④ 民間賃貸共同住宅率



民間借家共同住宅に住む世帯数の住宅に住む一般世帯数に対する割合

平成12年(2000年)国勢調査による

⑤ 住宅地の評価



無回答は除外した構成比

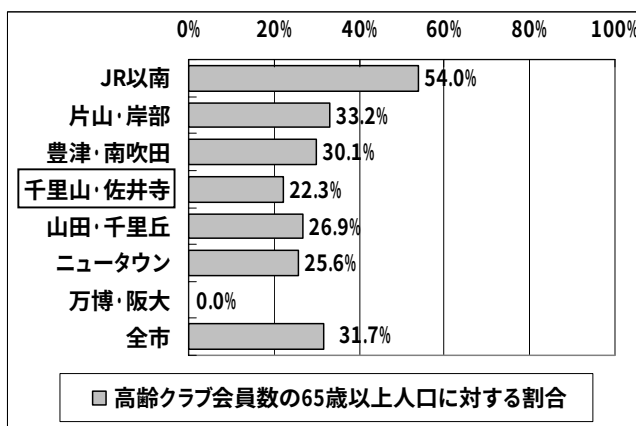
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)報告書による

3. コミュニティ・福祉

平均居住年数が短く、吹田市に対してふるさと意識を持つ市民の割合も低くなっています。また、「地域の行事や活動にほとんど参加していない」と回答した市民の割合が高くなっています。その一方で新たなコミュニティ活動が行われています。

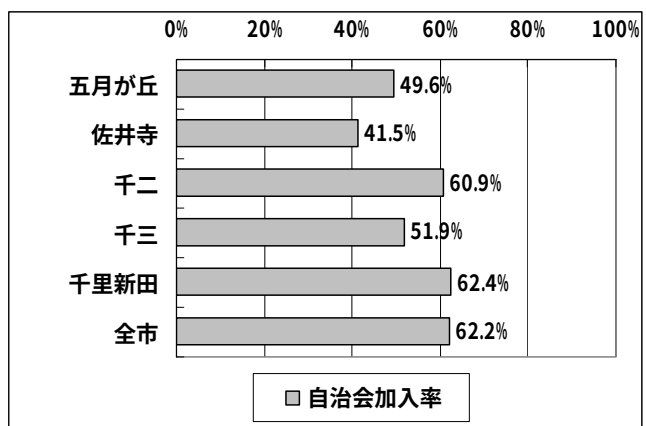
18歳未満の子どものいるファミリー世帯が多い中、保育所入所児童や留守家庭児童育成室入室児の比率が低く、家庭での子育ての比率が高くなっていることが伺えます。

① 高齢クラブ加入率



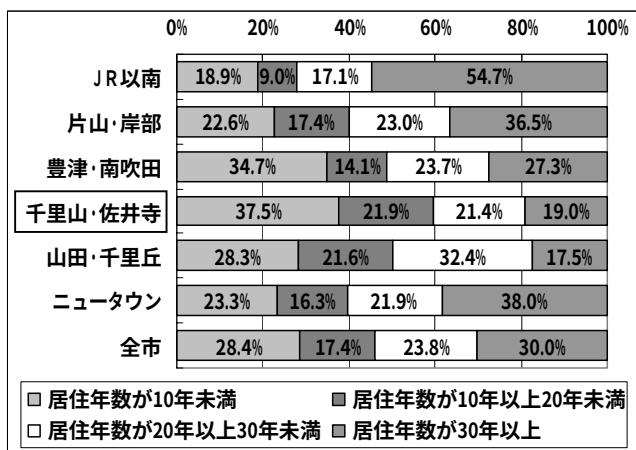
平成16年（2004年）福祉保健部データによる

② 自治会加入率



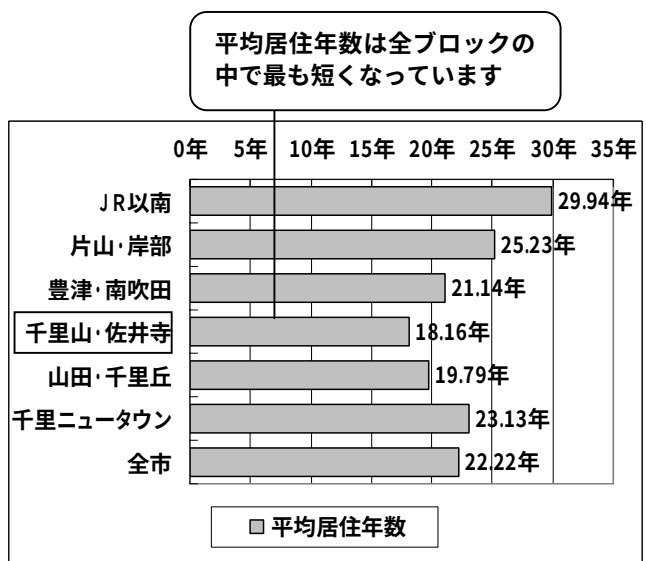
平成16年（2004年）市民文化部データによる

③ 居住年数



平成14年度（2002年度）市民意識調査による

④ 平均居住年数

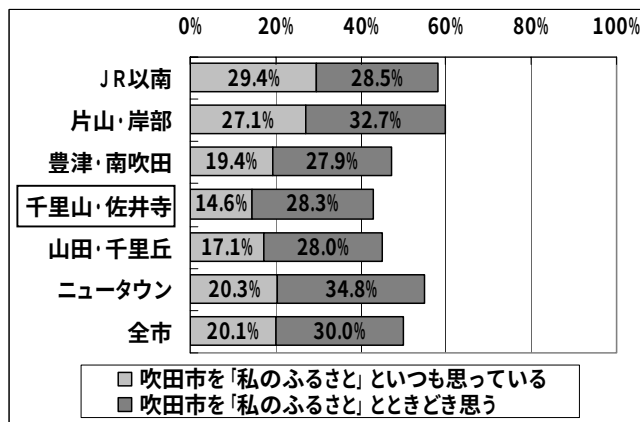


平成14年度（2002年度）市民意識調査による

第3章 地域ごとの計画

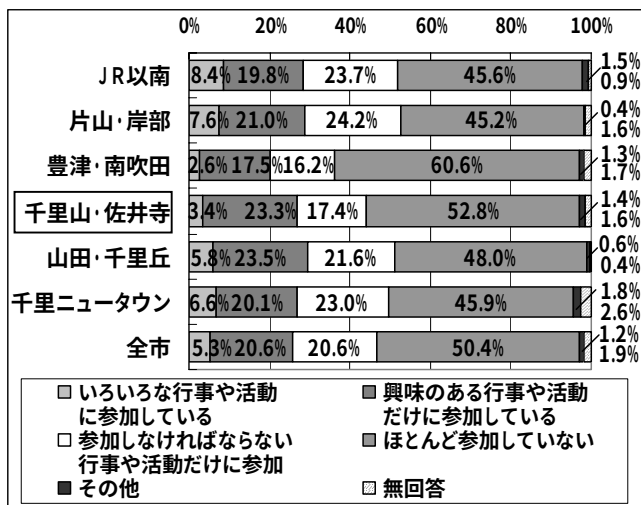
IV 千里山・佐井寺地域

⑤ ふるさと意識



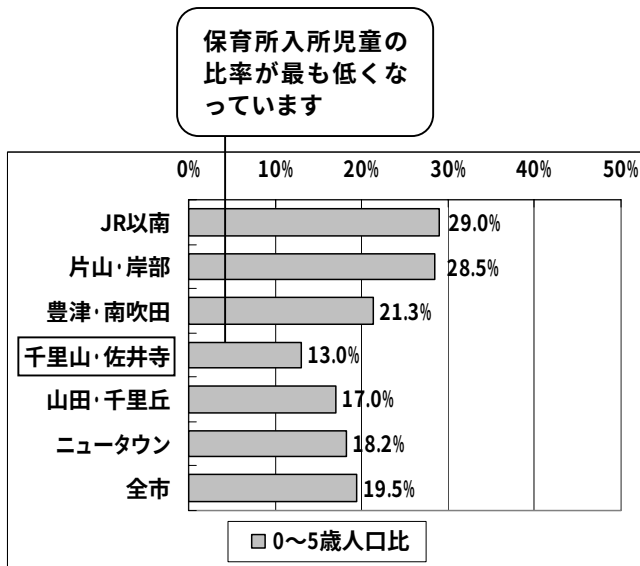
平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

⑥ 地域の行事や活動への参加態度



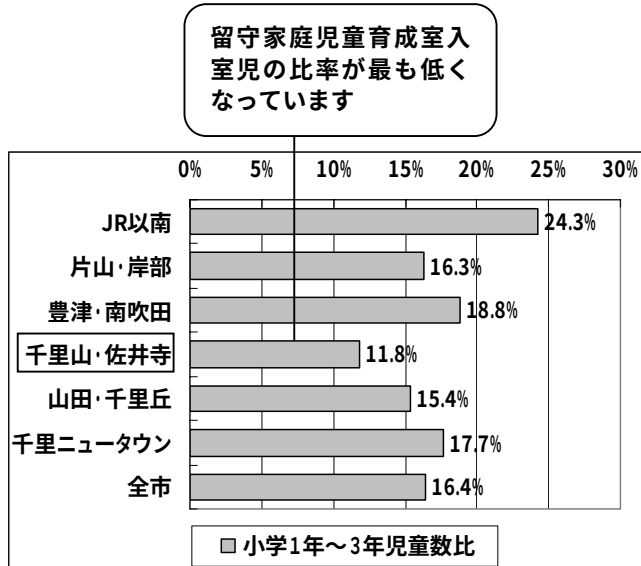
平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

⑦ 保育所入所児童の比率



平成 15 年（2003 年）児童部データによる

⑧ 留守家庭児童育成室入室児の比率



平成 15 年（2003 年）児童部データによる

4. 主な歴史・文化資源

旧街道・参道

佐井寺観音参詣道

歴史的まちなみが残る地区

佐井寺、春日、上山手町

神社・寺院

愛宕社、春日神社、佐井寺伊射奈岐神社、
千里山神社、佐井寺、西寶寺、西照寺、
千里寺

歴史的建築・構造物

千里山第一・第二噴水

地蔵・道標・碑

向かい坂地蔵、佐井の清水碑、
春日の地蔵（地現地蔵）、
下新田新道記念碑

遺跡・史跡

佐井寺くりぬき水路、佐井の清水、
佐井寺焼窯跡

その他の文化財

佐井寺木造地蔵菩薩立像

伝統行事・まつり・芸能

佐井寺伊射奈岐神社の太鼓御輿、愛宕盆

第3章 地域ごとの計画
IV 千里山・佐井寺地域

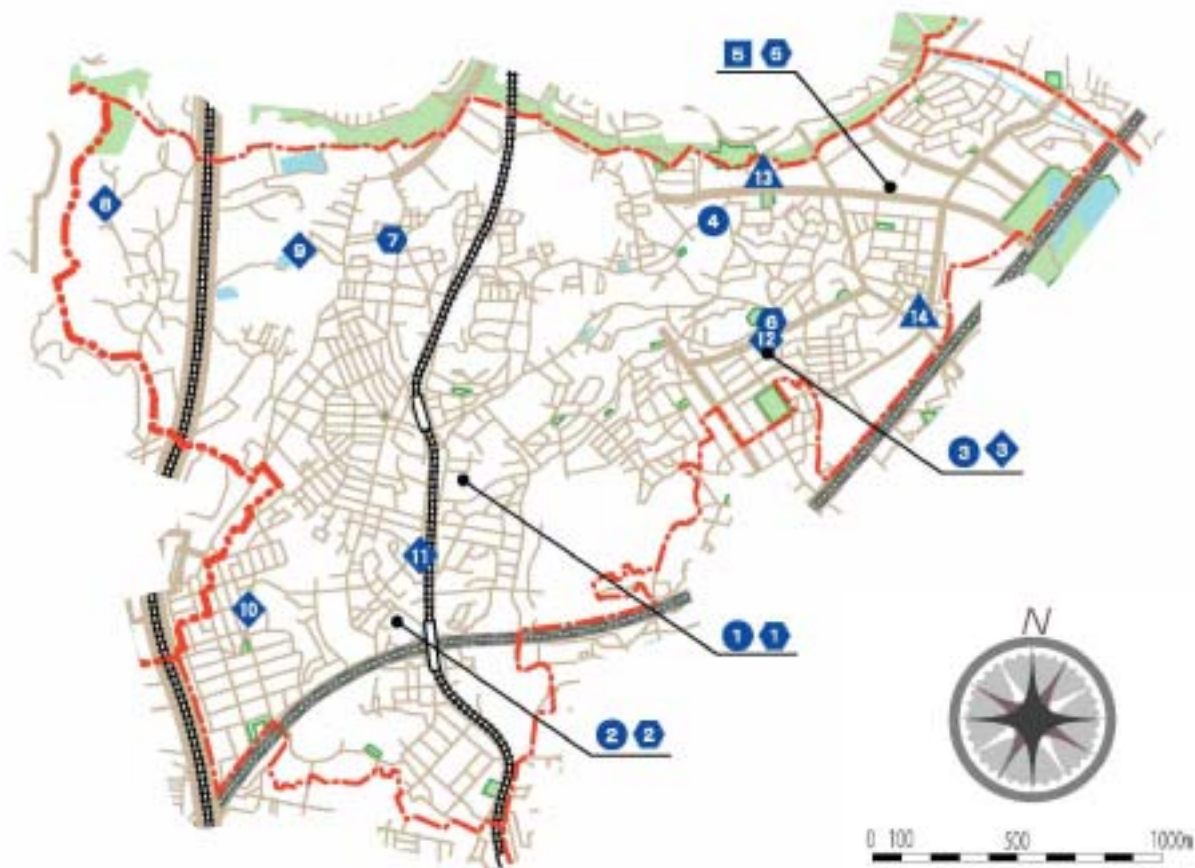
第3節 公共施設等の配置状況

1. 文化集会施設・スポーツ施設



分類	施設名
公民館	1 東佐井寺地区公民館
	2 千里新田地区公民館
	3 佐井寺地区公民館
	4 千二地区公民館
	5 千三地区公民館
図書館・分館・分室	6 千里山・佐井寺図書館
その他のスポーツ施設	7 総合運動場

2. 福祉施設・保健医療施設



分類	施設名
保育所（市立）	1 千里山保育園
	2 千三保育園
保育所（私立）	3 南ヶ丘保育園
	4 佐井寺たんぽぽ保育園
児童会館・児童センター	5 五月が丘児童センター
高齢者 いこいの間等	6 佐井寺地区高齢者いこいの間
	5 東佐井寺地区高齢者いこいの間
	7 千里新田地区高齢者いこいの間
	1 千二地区高齢者いこいの間
	2 千三地区高齢者いこいの間
特別養護 老人ホーム	8 ちくりんの里

分類	施設名
ケアハウス	9 プレーゴ緑地公園
デイサービス センター	10 寿楽荘 千里山西デイサービスセンター
	3 南ヶ丘デイサービスセンター「愛」
	9 プレーゴ緑地公園 デイサービスセンター
	11 千里山東デイサービスセンター
在宅介護 支援センター	12 南ヶ丘在宅介護支援センター「愛」
障害者 福祉施設	13 くすの木障害者作業所
	13 第2くすの木障害者作業所
	14 障害児・者 地域生活支援センター「めい」

第3章 地域ごとの計画

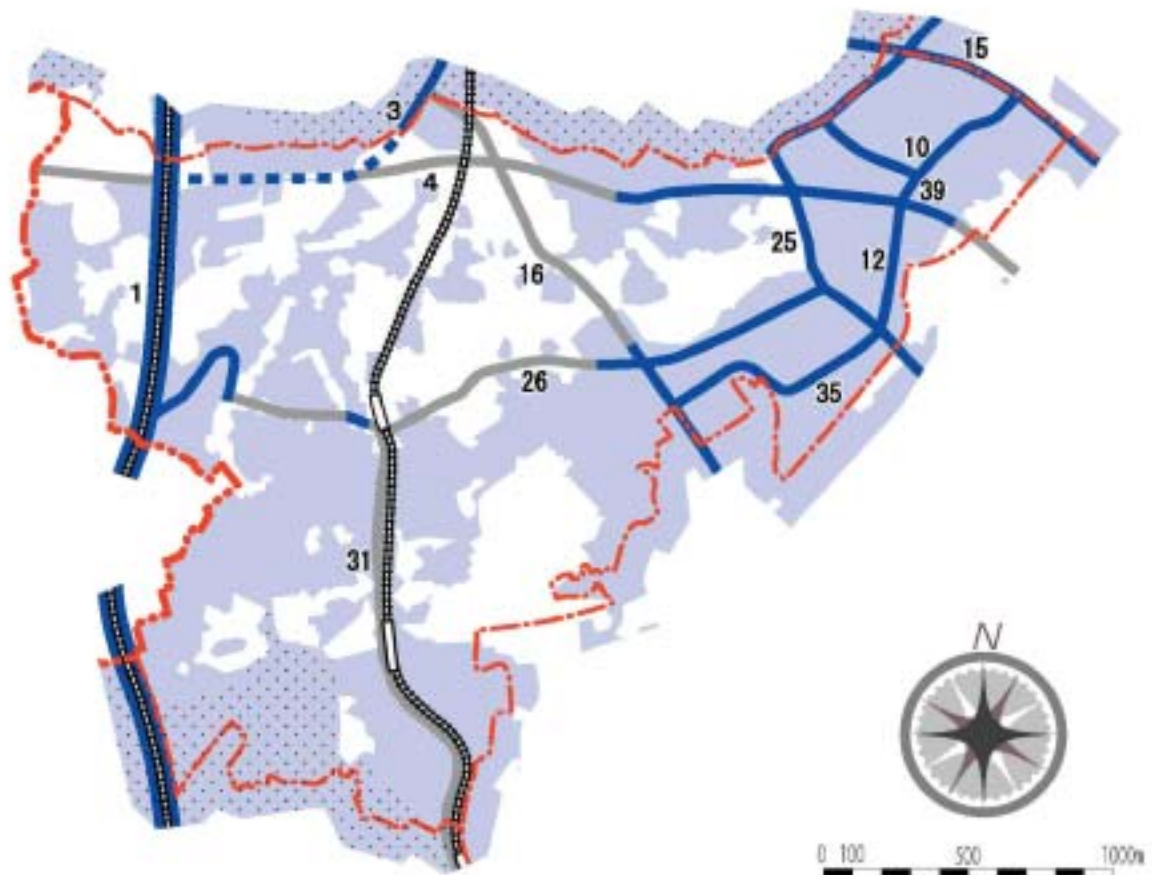
Ⅳ 千里山・佐井寺地域

3. 学校教育施設



分類	施設名
幼稚園（市立）	1 東佐井寺幼稚園
	2 千里新田幼稚園
	3 千里第二幼稚園
幼稚園（私立）	4 千里山ナオミ幼稚園
	5 千里山グレース幼稚園
	6 関西大学幼稚園
小学校（市立）	7 佐井寺小学校
	8 東佐井寺小学校
	9 千里新田小学校
	10 千里第二小学校
	11 千里第三小学校
中学校（市立）	12 佐井寺中学校
	13 片山中学校
	14 第一中学校
中学校（私立）	15 関西大学第一中学校
高校（私立）	16 関西大学第一高等学校
短大・大学（私立）	17 関西大学

4. 都市計画道路・下水道整備状況



凡 例	
都市計画道路 (平成15年度(2003年度)未現在)	
未 整 備	—
事 業 中	■■■■
整 備 済	■
下水道雨水施設整備計画 (平成15年度(2003年度)未現在)	
未 整 備	□
整 備 済	■
能力増強の整備区域	□

種別	番号	名 称
幹線街路	1	御堂筋線
	3	千里中央線
	4	豊中岸部線
	10	佐井寺東1号線
	12	佐井寺東2号線
	15	南千里岸部線
	16	佐井寺片山高浜線
	25	山田佐井寺岸部線
	26	千里山佐井寺線
	31	春日豊津線
特殊街路	35	佐井寺南線
	39	佐井寺東3号線

Ⅴ 山田・千里丘地域

プロフィール

この地域は、市域東部に位置しており、山田川や旧小野原街道沿いに古くから大きな集落が形成されています。集落内には旧家や由緒ある紫雲寺、圓照寺、山田伊射奈岐神社、太鼓みこしや権六踊りなど、有形、無形の歴史的資源が数多く残されています。

山田西・南地区では、民間マンションや住宅団地の建設により急速に市街化が進みましたが、ヒメボタルの保存活動や公民館活動などコミュニティ活動や交流が盛んに行われています。また、千里丘地区では戸建て住宅や企業の厚生施設、毎日放送千里丘放送センターなどの施設が立地していますが、比較的緑の多いこの地域で、企業所有地でのマンション開発などが進んでいます。

阪急山田駅周辺では、地域住民と事業者、行政の三者によるまちづくりが実施され、さらに公共施設の整備により、市域北部の新たな交流拠点が形成されようとしています。



第3章 地域ごとの計画

V 山田・千里丘地域

地域マップ



山田旧集落のまちなみ



圓照寺



山田伊射奈岐神社



千里丘のまちなみ

第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
①のエリア	地域に点在する歴史・文化資源を生かし、歴史・文化のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます	● 山田伊射奈岐神社、紫雲寺、圓照寺など歴史・文化資源を生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。 ● 旧集落に現在も残る歴史的まちなみの面影を生かして、趣のある景観形成を図ります。 ● 旧小野原街道や山田川沿いの道を、歩いて楽しめる道として活用します。 ● 古くから伝わるまつりなどを通じて、幅広い層の地域住民の交流を促進します。
②のエリア	地域内の比較的まとまった緑の保全を図ります。また、住宅開発に伴う若年ファミリー層の流入に対応できるよう、公共施設の適正配置に努めるとともに、良好な住環境の保全と育成に努めます。	● 土地所有者や開発事業者などの協力を得ながら、緑の保全を図ります。 ● 学校をはじめとする公共施設の適正配置や幹線道路の整備に努めます。 ● 大規模な開発に対する住民意見が反映される仕組みづくりを進め、良好な住環境の保全に努めます。 ● 地区計画制度や建築協定制度などの活用や、景観の誘導などにより、良好な住環境の保全と育成を図ります。
この地域全体	これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。 子どもなど、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 道路整備などに努め、生活環境の向上を図ります。	● コミュニティセンターの運営に、より多くの市民の参加を促し、市民の多様な活動の拠点として、また地域福祉の拠点として事業の充実を促進します。 ● 地区集会所や地区公民館を活用した子育て支援をはじめ福祉や教育など、地域のさまざまな活動を支援し、交流を促進します。 ● 千里丘豊津線、箕面山田線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。 ● 雨水施設の未整備地域では、その効率的な整備に努めます。

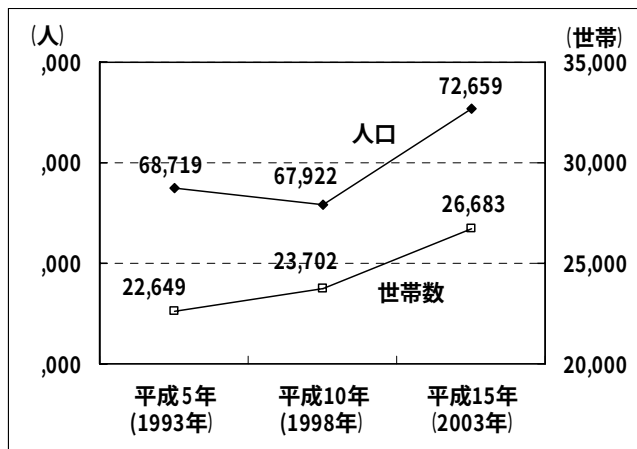
第3章 地域ごとの計画 Ⅴ 山田・千里丘地域

第2節 まちの様子

1. 人口

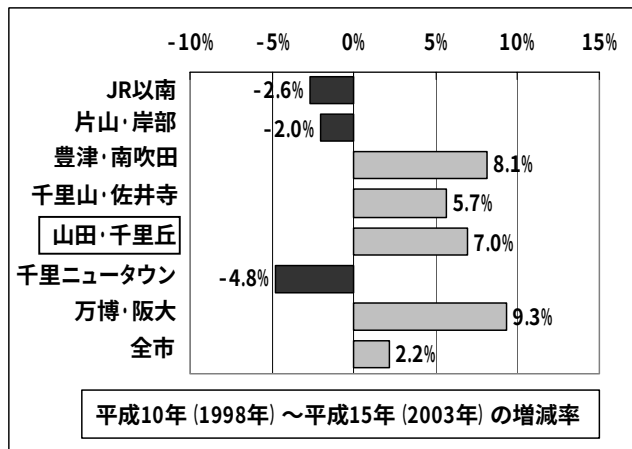
人口増加が続く中で、年少人口の比率が高く、18歳未満の子どものいるファミリー世帯の比率も高くなっています。

① 人口・世帯数の移り変わり



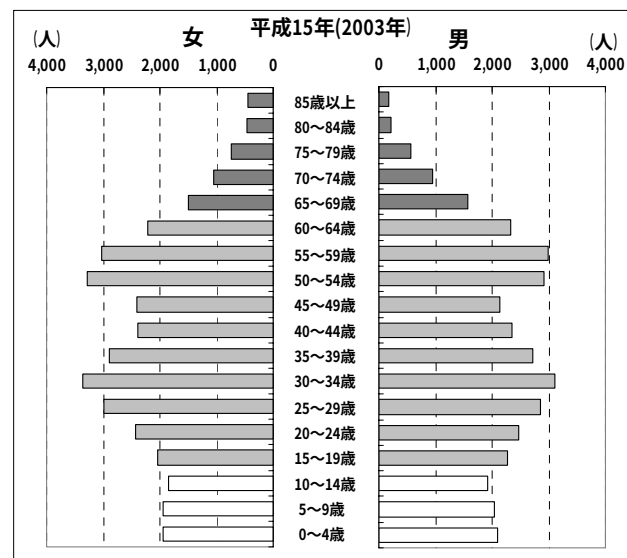
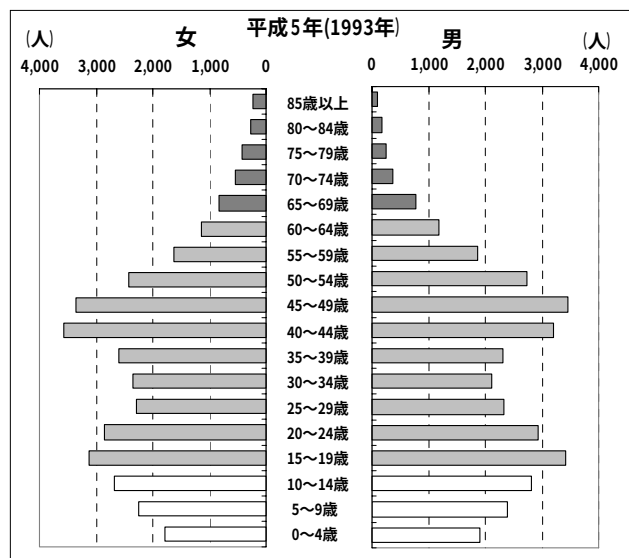
住民基本台帳による

② 人口増減率



住民基本台帳による

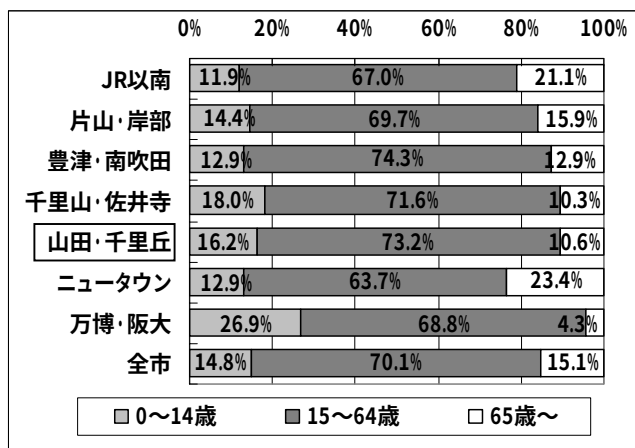
③ 人口ピラミッドの推移



住民基本台帳による

第3章 地域ごとの計画 Ⅴ 山田・千里丘地域

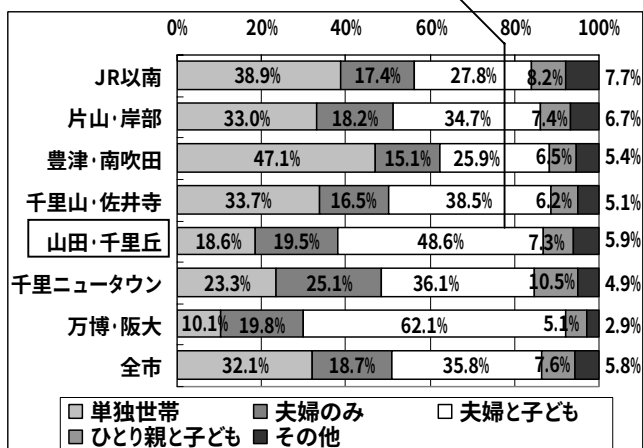
④ 年齢3区分別の人口割合



平成15年（2003年）住民基本台帳による

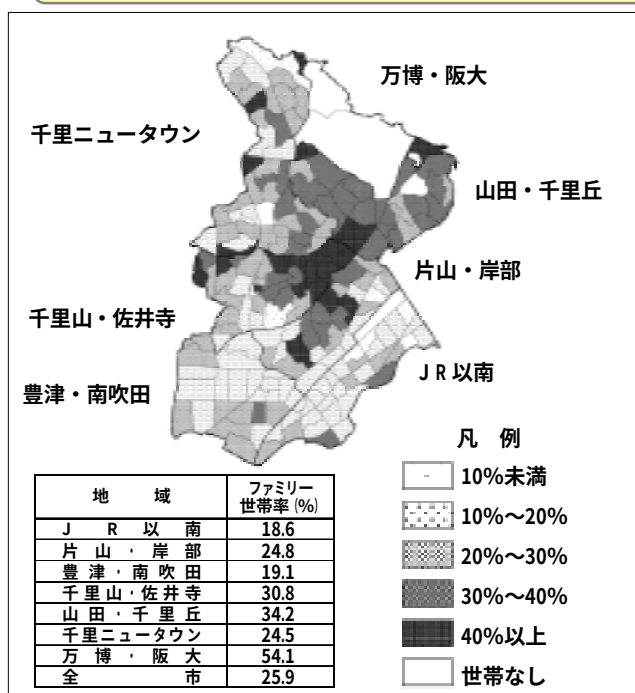
⑤ 世帯の状況（家族類型別）

夫婦と子どもの比率がおよそ5割となっています



平成12年（2000年）国勢調査による

⑥ ファミリー（18歳未満の子どもがいる）世帯率

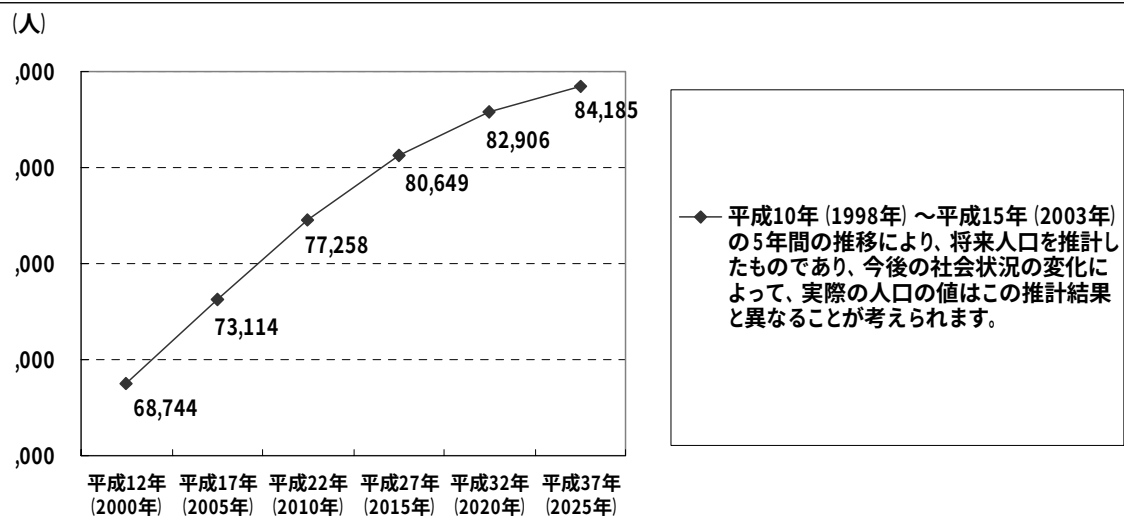


ファミリー（18歳未満の子どもがいる）世帯数の世帯数に占める割合

平成12年（2000年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画
Ⅴ 山田・千里丘地域

⑦ 将来人口の推計

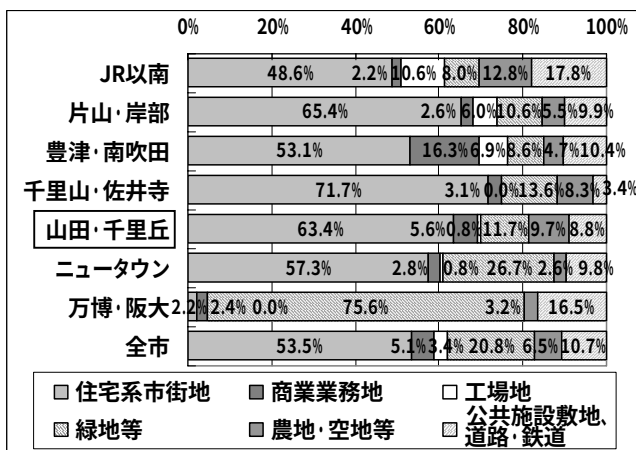


2. 土地利用・住宅

共同住宅6階建以上の比率がおおよそ半数を占め、持ち家の比率が全市の中で最も高くなっています。

住宅地の評価について、「職場への通勤の利便性」に対する満足度が低くなっていますが、「緑の豊かさや自然環境」に対する満足度が高くなっています。

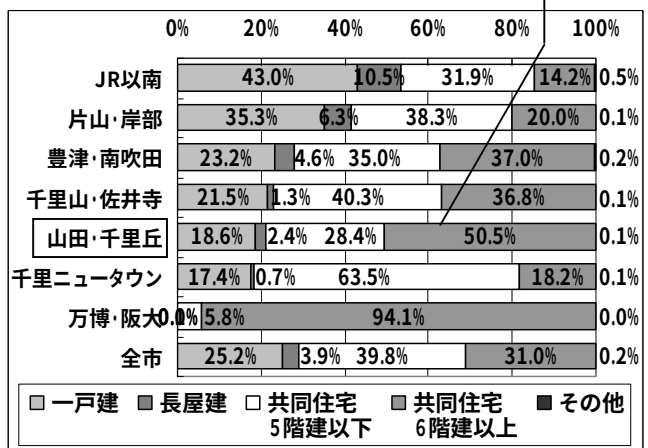
① 土地利用



平成12年(2000年)都市計画基礎調査による

② 建て方別世帯数の割合

共同住宅6階建以上の比率がおおよそ5割となっています



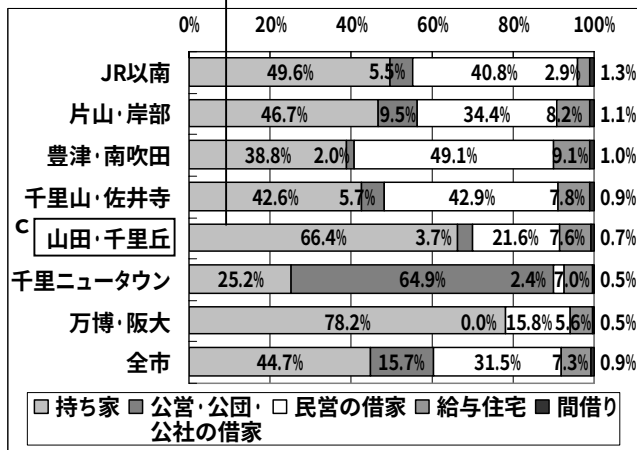
平成12年(2000年)国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

V 山田・千里丘地域

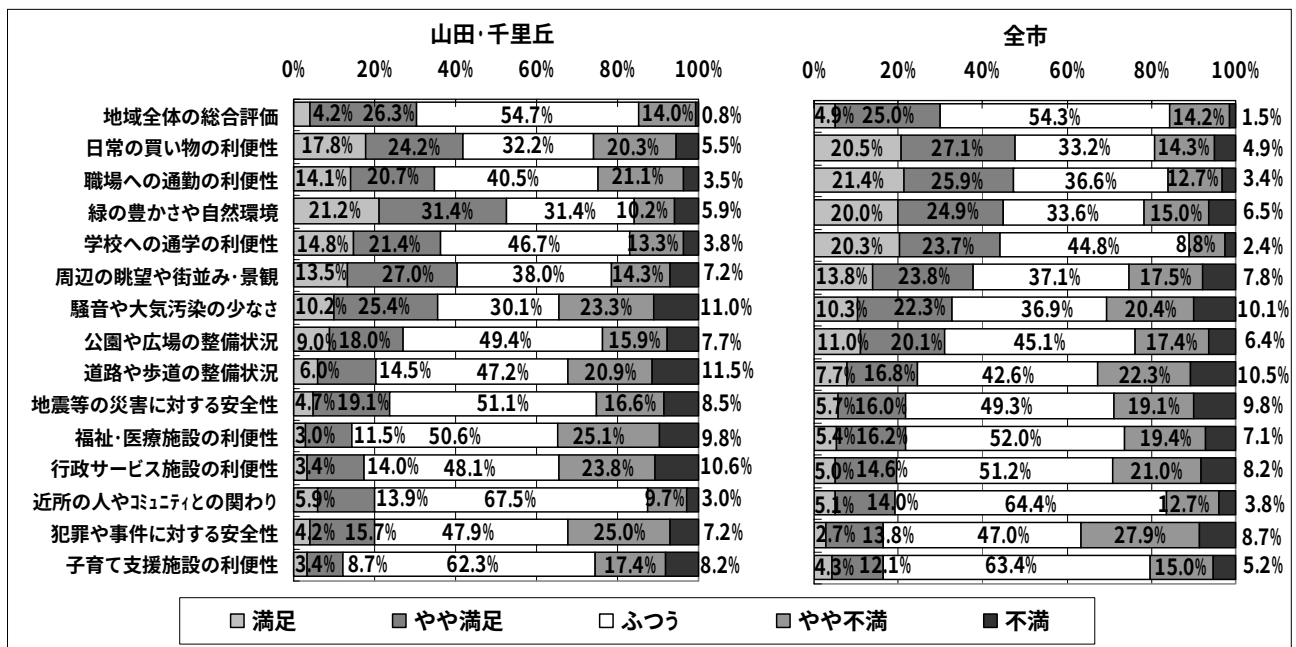
③ 所有関係別世帯数の割合

持ち家の比率が
およそ7割とな
っています



平成12年(2000年)国勢調査による

④ 住宅地の評価



無回答は除外した構成比

万国博記念公園・大阪大学地域を含めた集計

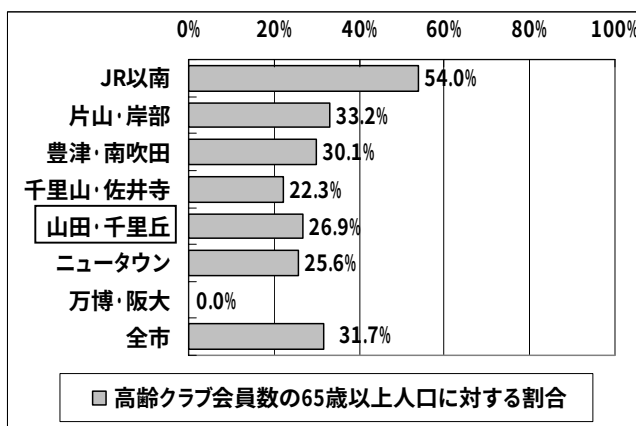
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)報告書による

3. コミュニティ・福祉

平均居住年数が短く、吹田市に対してふるさと意識を持つ市民の割合も低くなっています。その一方で、コミュニティセンターでの協議会活動をはじめ、さまざまなコミュニティ活動が行われています。

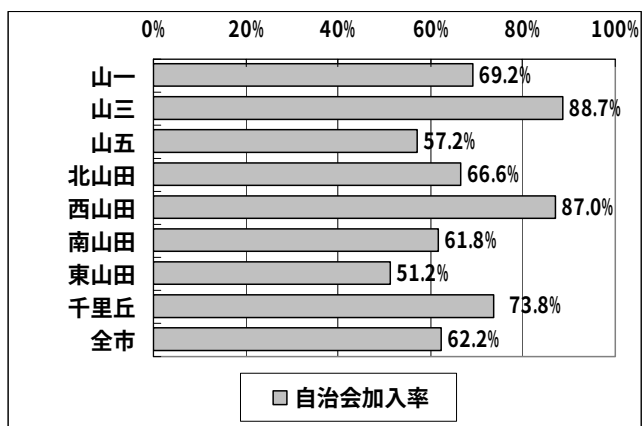
18歳未満の子どものいるファミリー世帯が多い中、保育所入所児童の比率が全市平均と比べ低く、家庭での子育ての比率が比較的高いことが伺えます。

① 高齢クラブ加入率



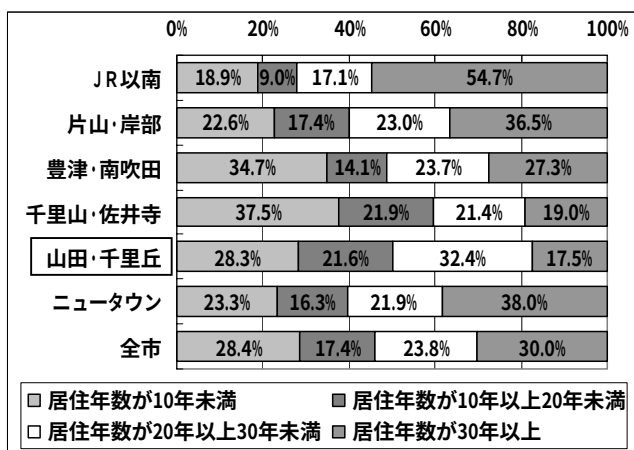
平成16年（2004年）福祉保健部データによる

② 自治会加入率



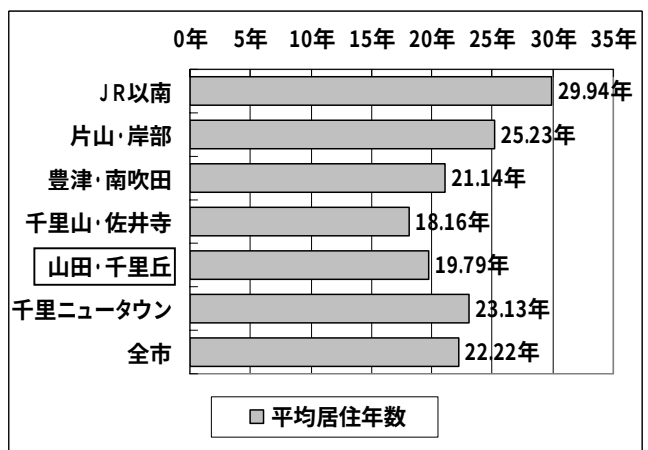
平成16年（2004年）市民文化部データによる

③ 居住年数



平成14年度（2002年度）市民意識調査による

④ 平均居住年数

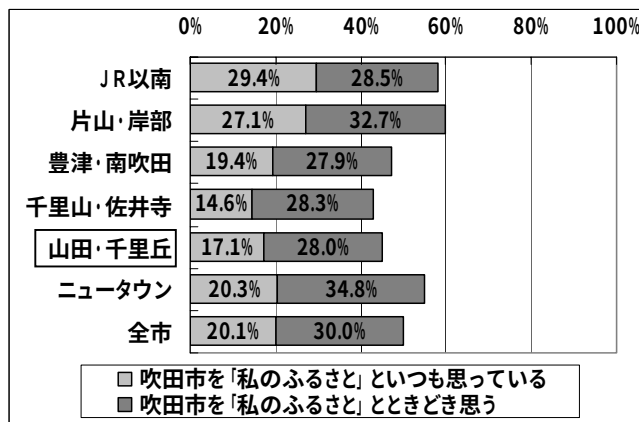


平成14年度（2002年度）市民意識調査による

第3章 地域ごとの計画

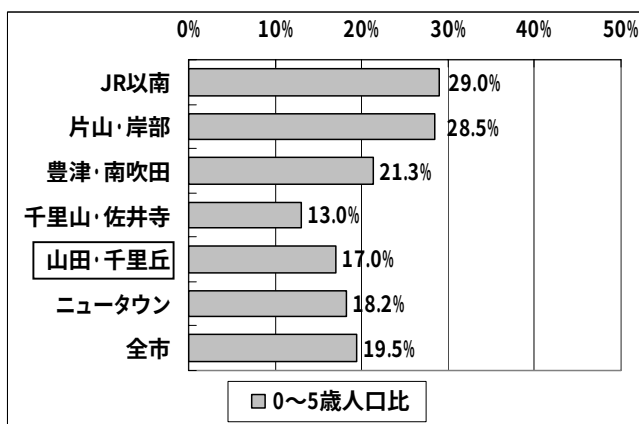
V 山田・千里丘地域

⑤ ふるさと意識



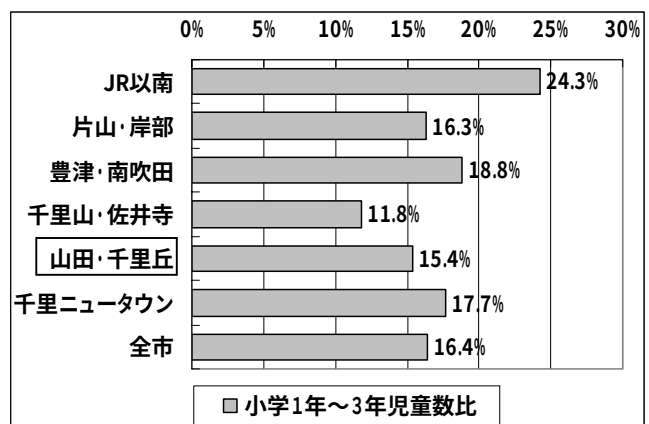
平成14年度（2002年度）市民意識調査による

⑥ 保育所入所児童の比率



平成15年（2003年）児童部データによる

⑦ 留守家庭児童育成室入室児の比率



平成15年（2003年）児童部データによる

4. 主な歴史・文化資源

旧街道・参道

亀岡街道、小野原街道、山田街道

歴史的まちなみが残る地区

山田

神社・寺院

山田伊射奈岐神社、千里丘稻荷神社、
紫雲寺、圓照寺、安養寺、光山寺

歴史的建築・構造物

山田の馬上門

地蔵・道標・碑

山田三ツ辻道標、山田の石仏群、一願地蔵

遺跡・史跡

新芦屋古墳（現在は消滅）、似禅寺山遺跡

その他の文化財

紫雲寺本堂内陣鳥獣図、
圓照寺木造准胝観音立像・木造観音菩薩立
像・絹本著色妙音天像・絹本墨画不動明王
像、新芦屋古墳出土馬具、
山田伊射奈岐神社太鼓御輿、権六おどり

伝統行事・まつり・芸能

山田伊射奈岐神社の太鼓神輿、
権六おどり

第3章 地域ごとの計画
V 山田・千里丘地域

第3節 公共施設等の配置状況

1. 文化集会施設・スポーツ施設



分類	施設名
公民館	1 北山田地区公民館
	2 東山田地区公民館
	3 山一地区公民館
	4 西山田地区公民館
	5 山二地区公民館
	6 山三地区公民館
	7 南山田地区公民館
	8 山五地区公民館
市民センター	9 千里丘市民センター
コミュニティセンター	10 亥の子谷コミュニティセンター
ふれあい文化センター	11 山田ふれあい文化センター
図書館・分館・分室	4 山田図書館
体育館	12 山田市民体育館
その他のスポーツ施設	13 山田スポーツグラウンド
	14 武道館

2. 福祉施設・保健医療施設

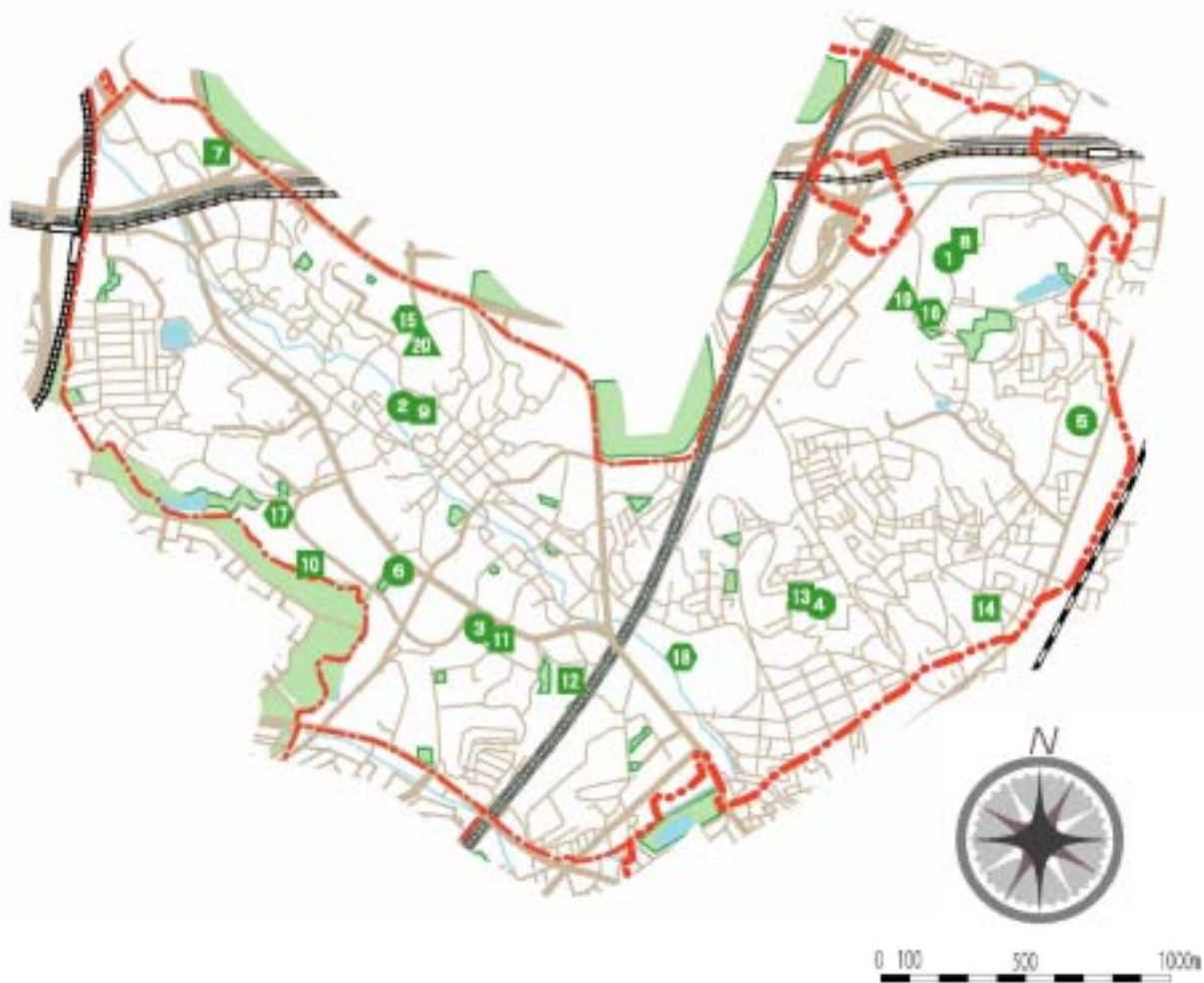


分類	施設名
保育所（市立）	1 西山田保育園
	2 山三保育園
	3 山田保育園
保育所（私立）	4 きりん夜間愛育園
	5 さくら保育園
	4 第二愛育園
	6 千里の丘いあい保育園
児童会館・児童センター	7 千里丘児童会館
	8 山田西児童センター
高齢者 いきいの間等	9 北山田地区高齢者いきいの間
	10 東山田地区高齢者いきいの間
	11 山一地区高齢者いきいの間
	12 西山田地区高齢者いきいの間
	13 山二地区高齢者いきいの間
	14 山三地区高齢者いきいの間
	15 南山田地区高齢者いきいの間
	16 山五地区高齢者いきいの間

分類	施設名
特別養護 老人ホーム	17 いのこの里
グループホーム	18 グループホームたんぼぼ
デイサービス センター	19 亥の子谷デイサービスセンター
	20 南山田デイサービスセンター
	17 いのこの里デイサービスセンター
	21 青葉丘デイセンター
在宅介護 支援センター	22 デイハウスリボン
	23 デイサービス・フレンドハウス山田
	18 デイサービスたんぼぼの広場
	19 亥の子谷地域保健福祉センター
障害者 福祉施設	24 在宅介護支援センターケア21千里丘
	25 第二さつき障害者作業所
その他	26 府立老人総合センター

第3章 地域ごとの計画
Ⅴ 山田・千里丘地域

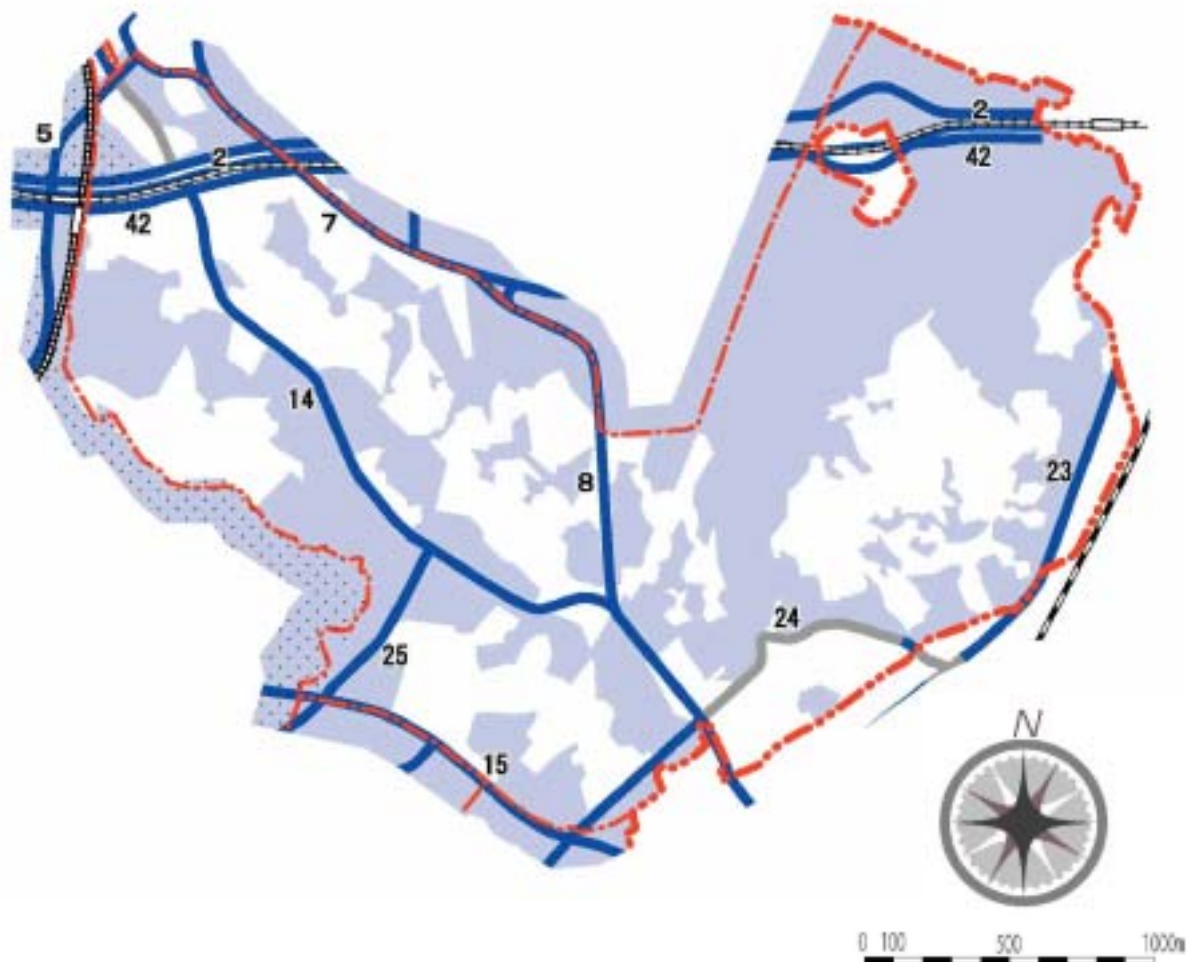
3. 学校教育施設



分類	施設名
幼稚園（市立）	1 東山田幼稚園
	2 山田第一幼稚園
	3 山田第三幼稚園
	4 南山田幼稚園
幼稚園（私立）	5 千里丘学園幼稚園
	6 山田敬愛幼稚園
小学校（市立）	7 北山田小学校
	8 東山田小学校
	9 山田第一小学校
	10 西山田小学校
	11 山田第三小学校
	12 山田第五小学校
	13 南山田小学校
	14 山田第二小学校

分類	施設名
中学校（市立）	15 山田東中学校
	16 千里丘中学校
	17 西山田中学校
	18 山田中学校
高校（公立）	19 府立吹田東高等学校
	20 府立山田高等学校

4. 都市計画道路・下水道整備状況



凡 例	
都市計画道路 (平成15年度(2003年度)末現在)	
未 整 備	
整 備 済	
下水道雨水施設整備計画 (平成15年度(2003年度)末現在)	
未 整 備	
整 備 済	
能力増強の整備区域	

種別	番号	名 称
幹線街路	2	大阪中央環状線
	5	万博公園南千里線
	7	万博公園外周線
	8	山田摂津線
	14	箕面山田線
	15	南千里岸部線
	23	大阪高槻京都線
	24	千里丘豊津線
	25	山田佐井寺岸部線
特殊街路	42	大阪モノレール専用道

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

プロフィール

この地域は、竹林と雑木林の広がる丘陵地でしたが、日本で初めてのニュータウンとして、大規模住宅地の開発事業が昭和30年代から約10年をかけて行われました。地域内には集合住宅と戸建住宅による住宅地、地区センターや近隣センターの商業地をはじめ、公園、道路などの公共空間が計画的に整備され、大阪都心への交通利便性が高い、落ち着いたある住宅地として成熟したまちとなっています。まちびらきから40年ほどが経過した現在では、住宅の老朽化も進み、時代の変化に対応したまちの更新時期を迎えています。

ニュータウン周辺部ではかつての千里丘陵の竹林や雑木林などが残されており、緑豊かな自然景観が保たれています。北部には国立循環器病センターや千里金蘭大学があるほか、青少年野外活動センター、市民体育館、市民プールなどのスポーツ・レクリエーション施設が立地し、南部でも千里救命救急センターなどの医療施設が立地しています。



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

地域マップ



北千里地区のまちなみ



0 100 500 1000m



千里南公園

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
この地域全体	大規模な建替え事業においては、周辺環境と調和した良好な住環境の保全と育成に努め、緑豊かなまちづくりを進めます。また、多様な世帯が住めるまちづくりを促進します。	● 公共賃貸住宅の建替えにおいて、緑地やオープンスペースが確保されるよう、誘導を図ります。 ● 地区計画制度や建築協定制度などの活用や、景観の誘導などにより、良好な住環境の保全と育成を図ります。 ● 公共賃貸住宅の建替えにおいて、多様なデザインの導入を促進します。 ● 高齢者向け住宅や若年世帯が入居できる住宅の供給を促進します。 ● 幹線道路や主要な歩行者専用道の沿道などにおいて、日常生活へのサービス施設を配置するなど、立地条件や必要性に応じた住宅地の複合機能化を促進します。 ● 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。
	地区センターは、多様な商業・業務機能に加えて、市民の文化や学習、交流の拠点として、充実に努めます。また、近隣センターは、日常生活の利便性の高い商業機能の整備とともに、福祉・交流の場としての活用を図るなど、にぎわいと安心のあるまちづくりを進めます。	● 大学との連携により学習・文化機能の充実に努め、商業機能の活性化に結び付けます。 ● 商業者と地域住民によるまちづくりの取組を支援し、活性化を図ります。 ● 空き店舗を活用した大学やNPOなどとの連携による新たな事業を支援します。 ● 地域社会に密着したコミュニティビジネスの振興を図ります。 ● 高齢者福祉や子育て支援にかかるサービス機能の充実に努めます。
	自治会や地域で活動するNPO、ボランティア団体などのさまざまな活動を通じて、ふれあいのあるまちづくりを進めます。 子どもや高齢者など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 特色あふれる「千里文化」の発展に向けて取り組みます。	● 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。 ● 地域福祉の拠点となる地域保健福祉センターや、児童館の整備に努めます。 ● 地域における支え合いのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。 ● 大学等の学術研究機関や文化人・芸術家などが地域で交流する機会を充実し、地域の文化活動の促進を図ります。 ● 留学生との交流などを促進し、身近な地域での国際交流を進めます。

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

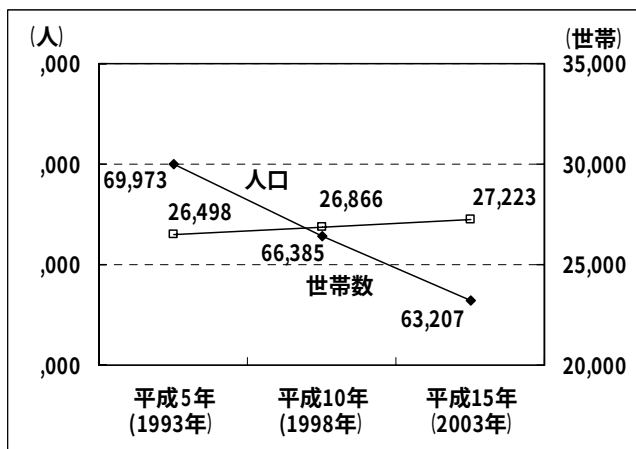
(その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

第2節 まちの様子

1. 人口

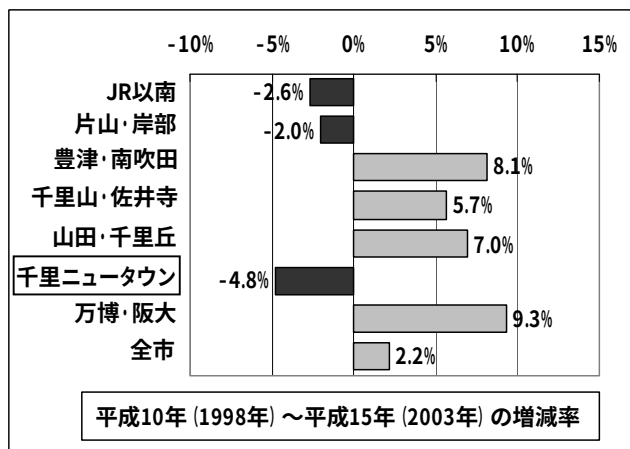
人口減少が著しく、全市の中で最も高齢化が進んでいます。また、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯の比率が非常に高くなっています。

① 人口・世帯数の移り変わり



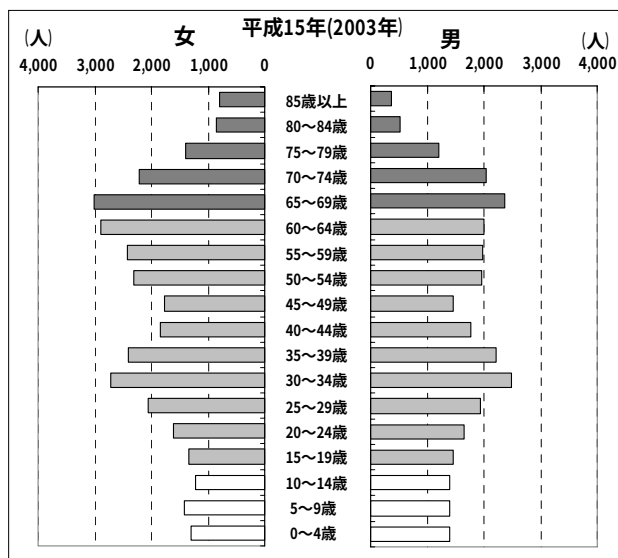
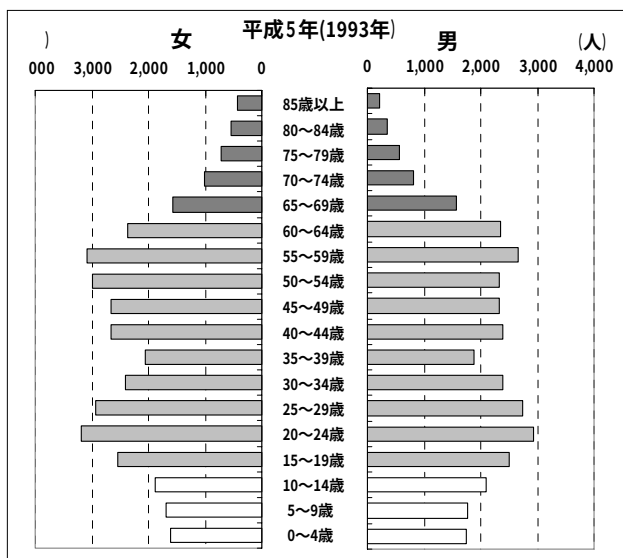
住民基本台帳による

② 人口増減率



住民基本台帳による

③ 人口ピラミッドの推移

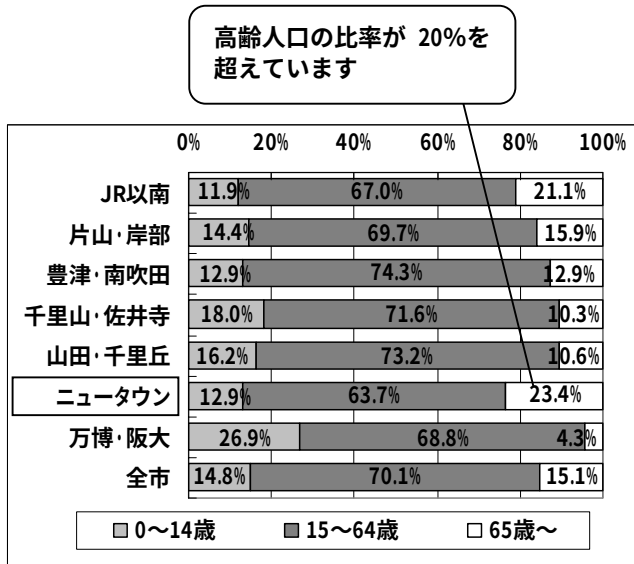


住民基本台帳による

第3章 地域ごとの計画

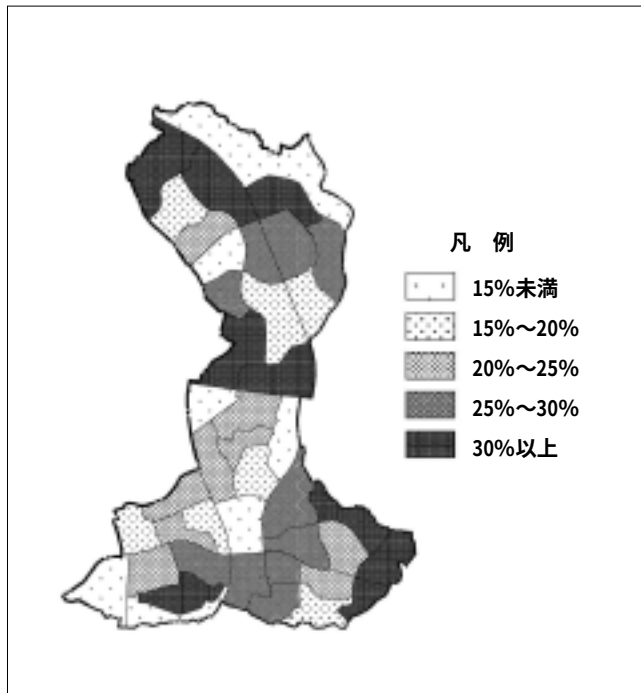
VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

④ 年齢3区分別の人口割合



平成 15 年（2003 年）住民基本台帳による

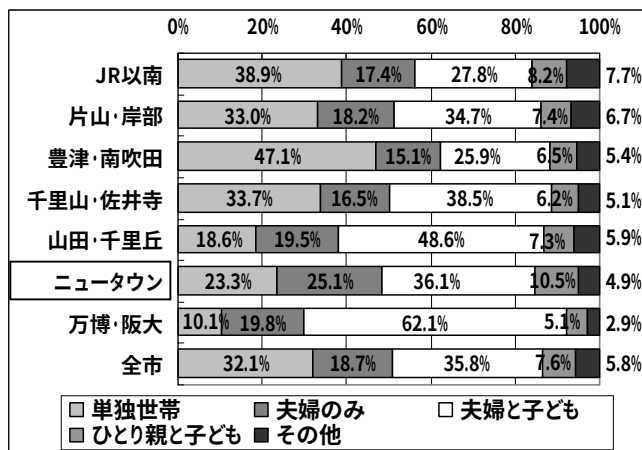
⑤ 高齢化率



高齢者（65 歳以上）人口の総人口に占める割合

平成 15 年（2003 年）住民基本台帳による

⑥ 世帯の状況 (家族類型別)



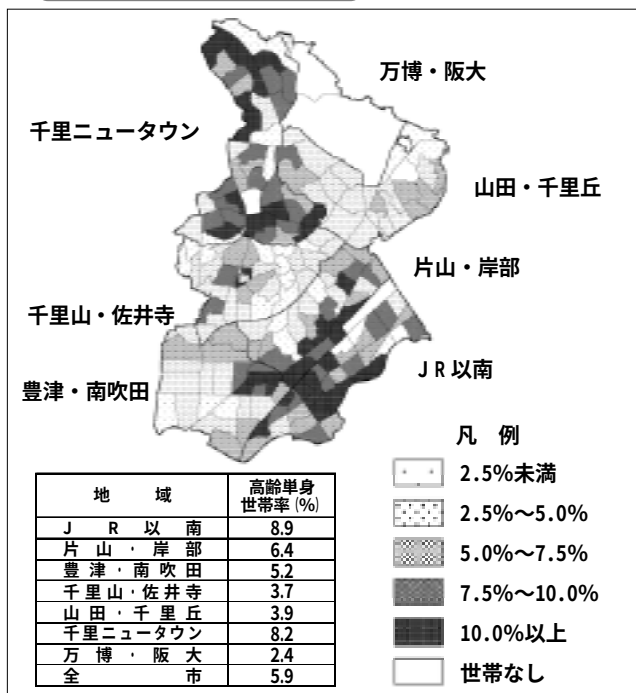
平成 12 年（2000 年）国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

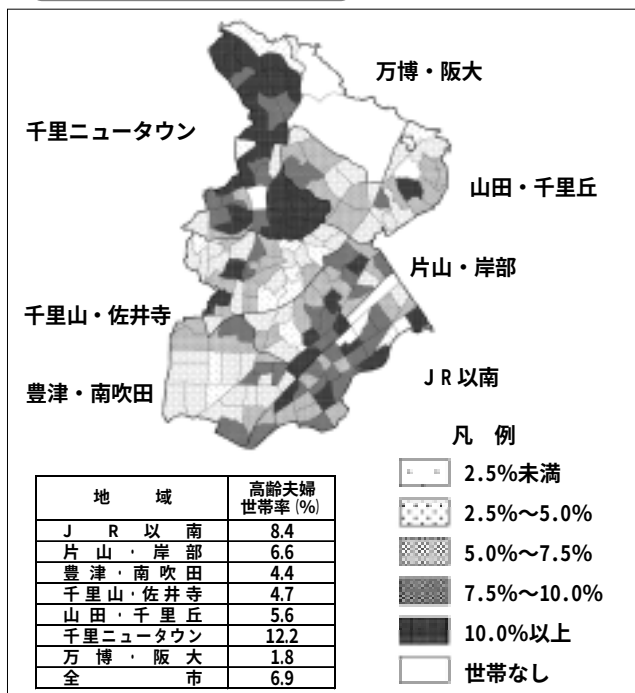
⑦ 高齢単身世帯率



高齢単身世帯数の世帯数に占める割合

平成12年(2000年)国勢調査による

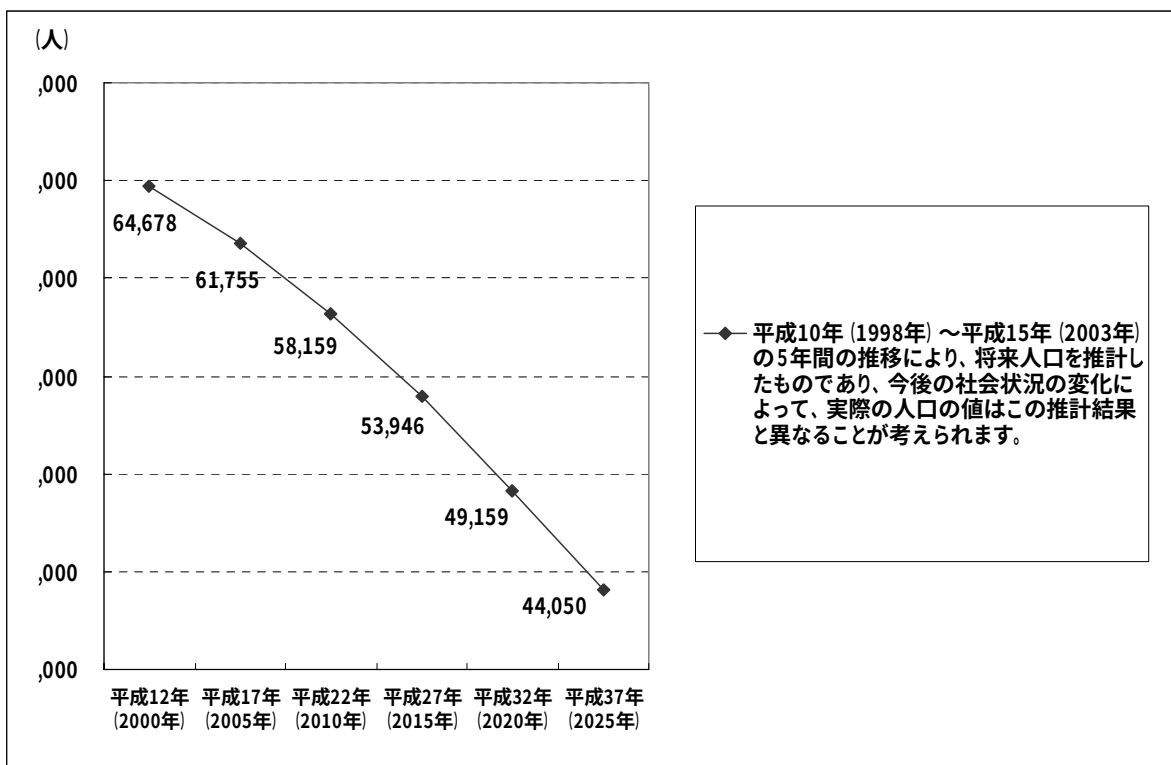
⑧ 高齢夫婦世帯率



高齢夫婦世帯数の世帯数に占める割合

平成12年(2000年)国勢調査による

⑨ 将来人口の推計



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

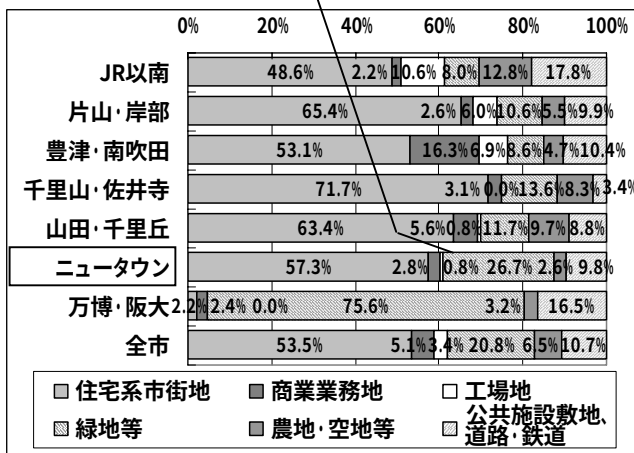
2. 土地利用・住宅

共同住宅5階建以下の比率が約6割を占め、公営・公団・公社の借家の比率が約6割となっています。

住宅地の評価について、「緑の豊かさや自然環境」「周辺の眺望や街並み・景観」に対する満足度が極めて高く、地域の総合評価も高くなっています。

① 土地利用

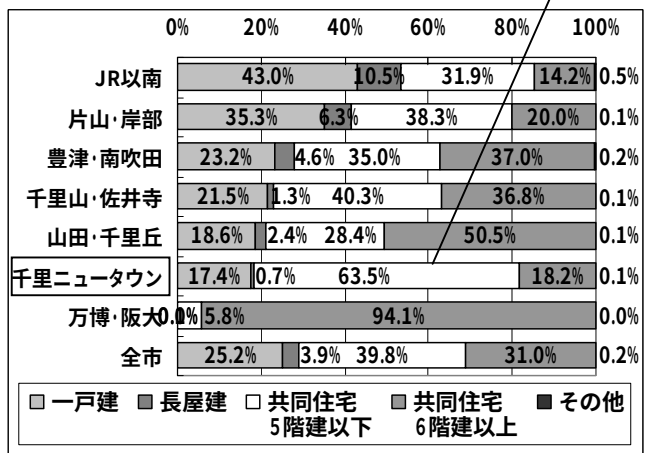
緑地等の比率が高くなっています



平成12年(2000年)都市計画基礎調査による

② 建て方別世帯数の割合

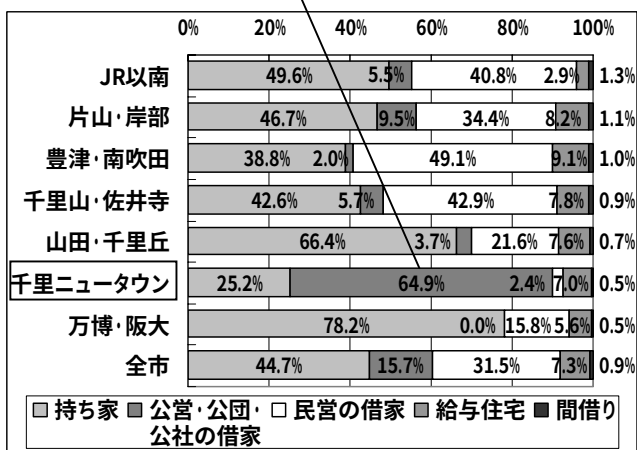
共同住宅5階建以下の比率がおよそ6割となっています



平成12年(2000年)国勢調査による

③ 所有関係別世帯数の割合

公営・公団・公社の借家の比率がおよそ6割となっています



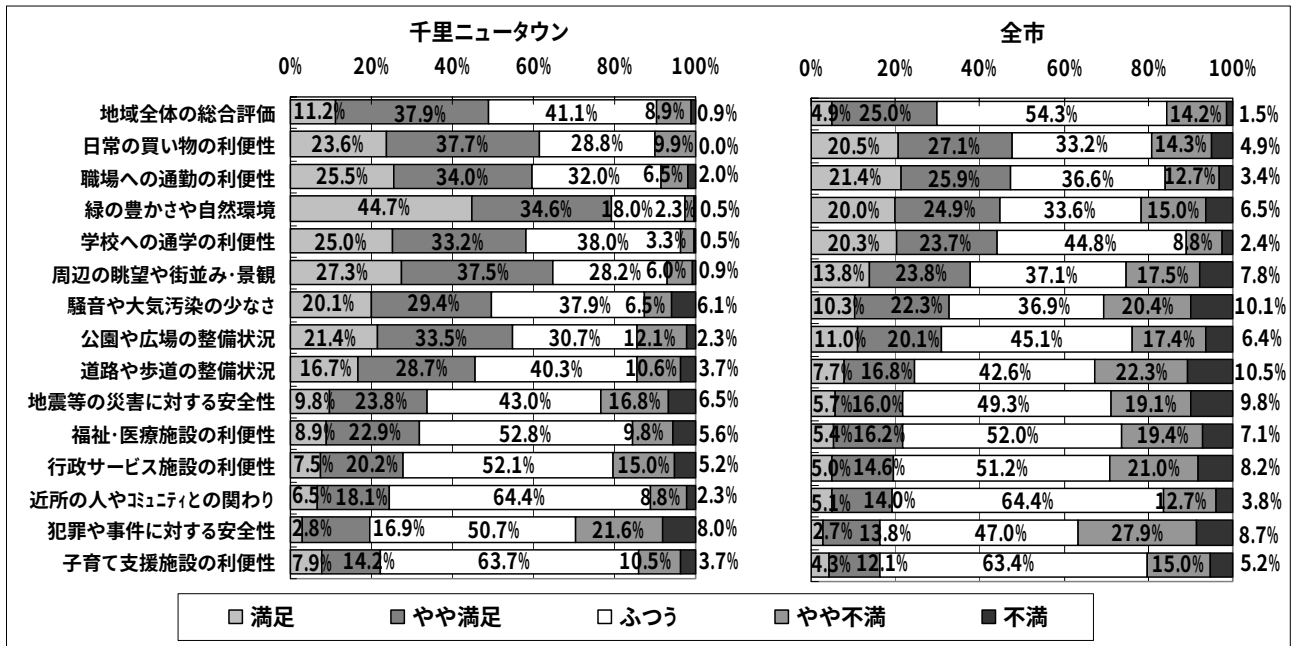
平成12年(2000年)国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

④ 住宅地の評価



無回答は除外した構成比

平成 17 年（2005 年）住宅マスタープラン策定調査(現況調査)報告書による

第3章 地域ごとの計画

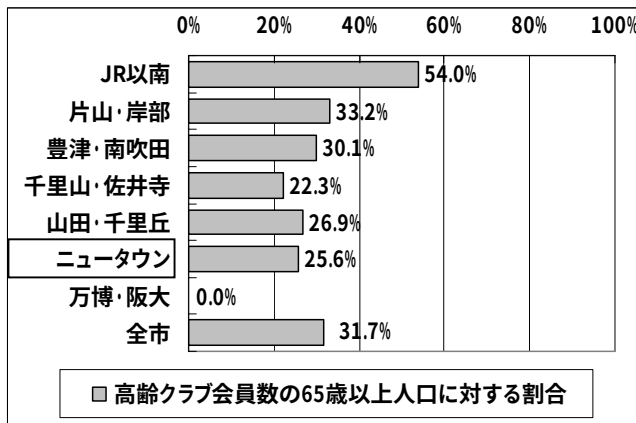
VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

3. コミュニティ・福祉

吹田市に対してふるさと意識を持つ市民の割合は高くなっています。また、自治会加入率は高く、さまざまな行事の開催やコミュニティ活動を通じて、住民の交流が進み、NPO などによる新たな取組も進められています。

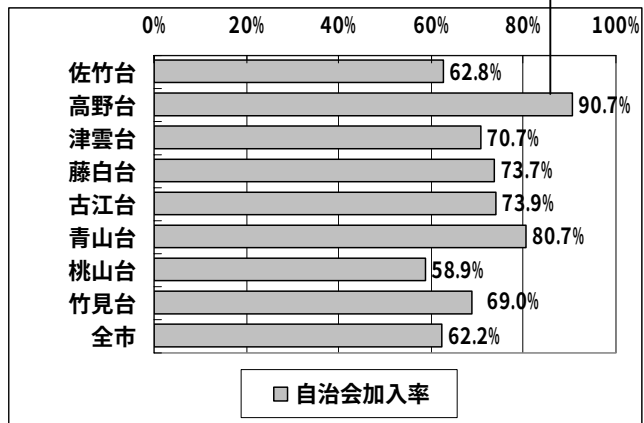
高齢化が進む中、特に高齢単身世帯や高齢夫婦世帯の比率が非常に高く、福祉ニーズが高いことが伺えます。

① 高齢クラブ加入率



平成 16 年（2004 年）福祉保健部データによる

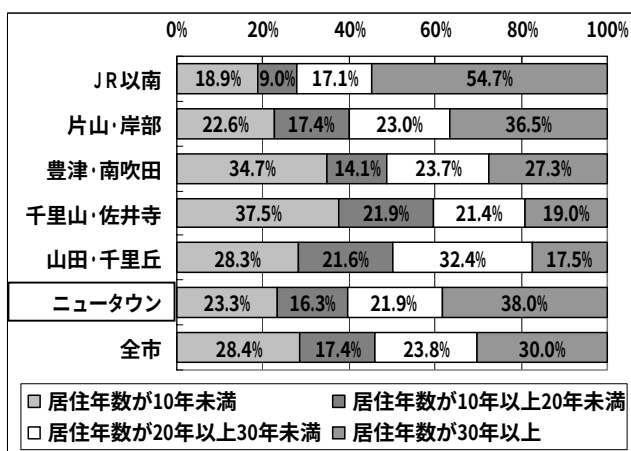
② 自治会加入率



全体的にみて高い加入率にあります

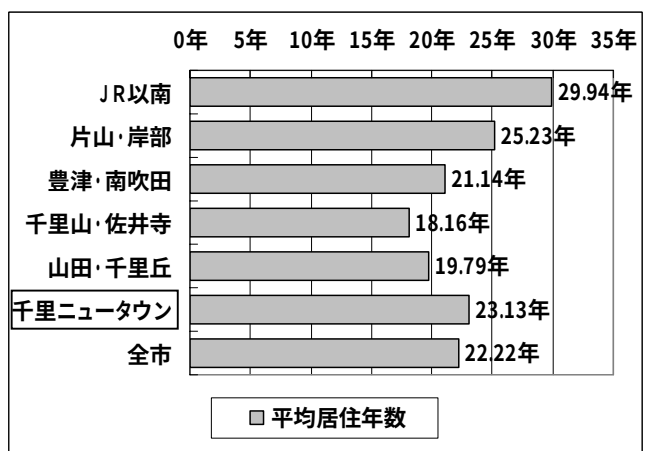
平成 16 年（2004 年）市民文化部データによる

③ 居住年数



平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

④ 平均居住年数



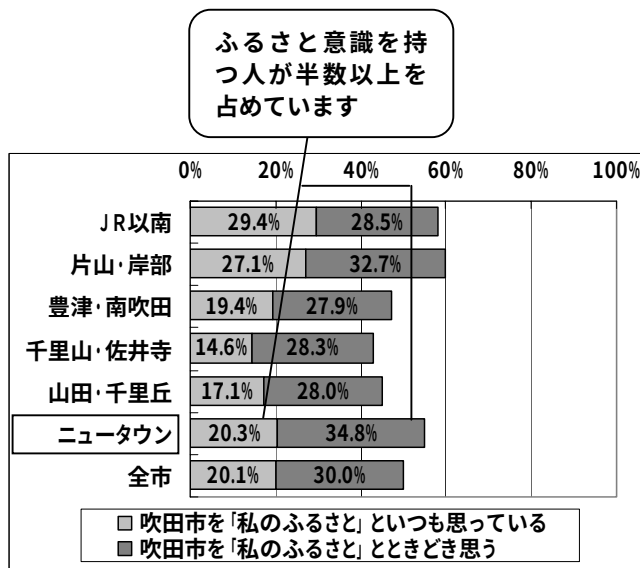
平成 14 年度（2002 年度）市民意識調査による

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

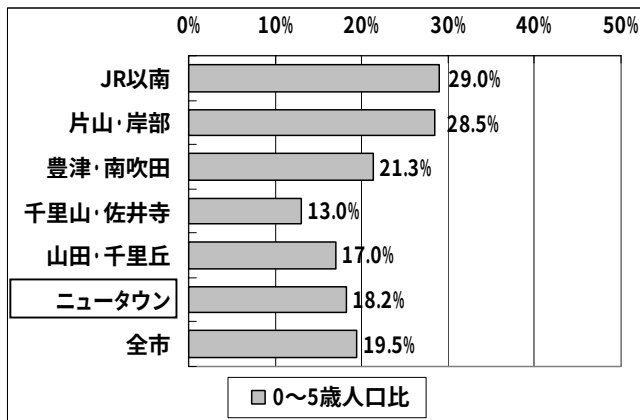
(その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

⑤ ふるさと意識



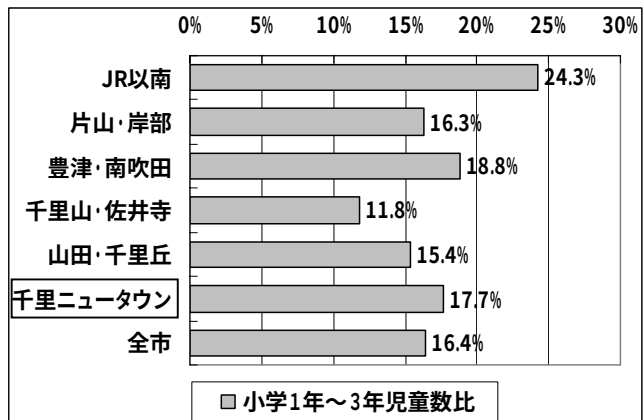
平成14年度(2002年度)市民意識調査による

⑥ 保育所入所児童の比率



平成15年(2003年)児童部データによる

⑦ 留守家庭児童育成室入室児の比率



平成15年(2003年)児童部データによる

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

4. 主な歴史・文化資源

旧街道・参道

小野原街道

神社・寺院

古江稲荷神社

地蔵・道標・碑

竹見地蔵尊

伝統行事・まつり・芸能

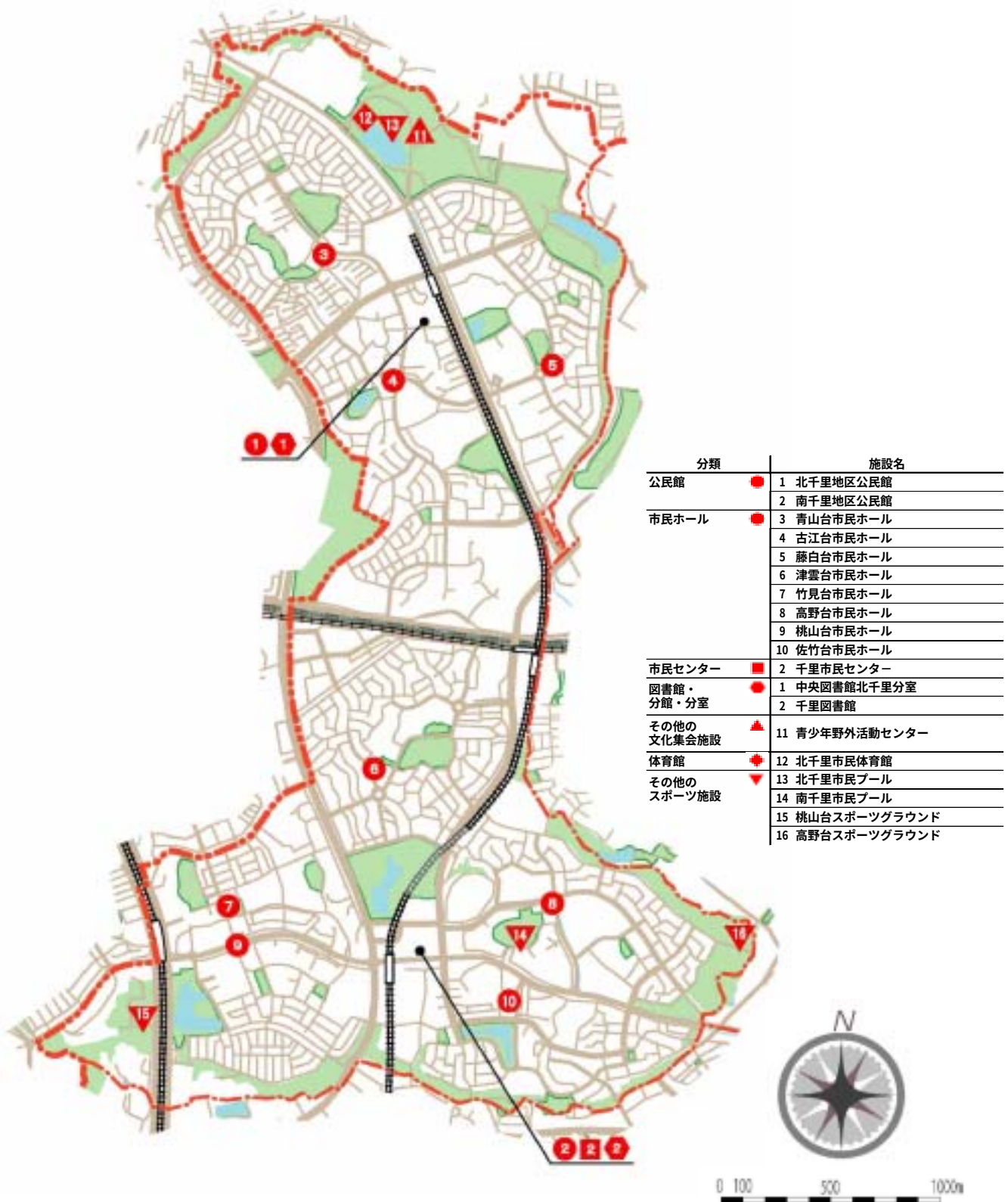
吹田市こども野外カーニバル、
千里こどもカーニバル、吹田まつり

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

第3節 公共施設等の配置状況

1. 文化集会施設・スポーツ施設



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

2. 福祉施設・保健医療施設

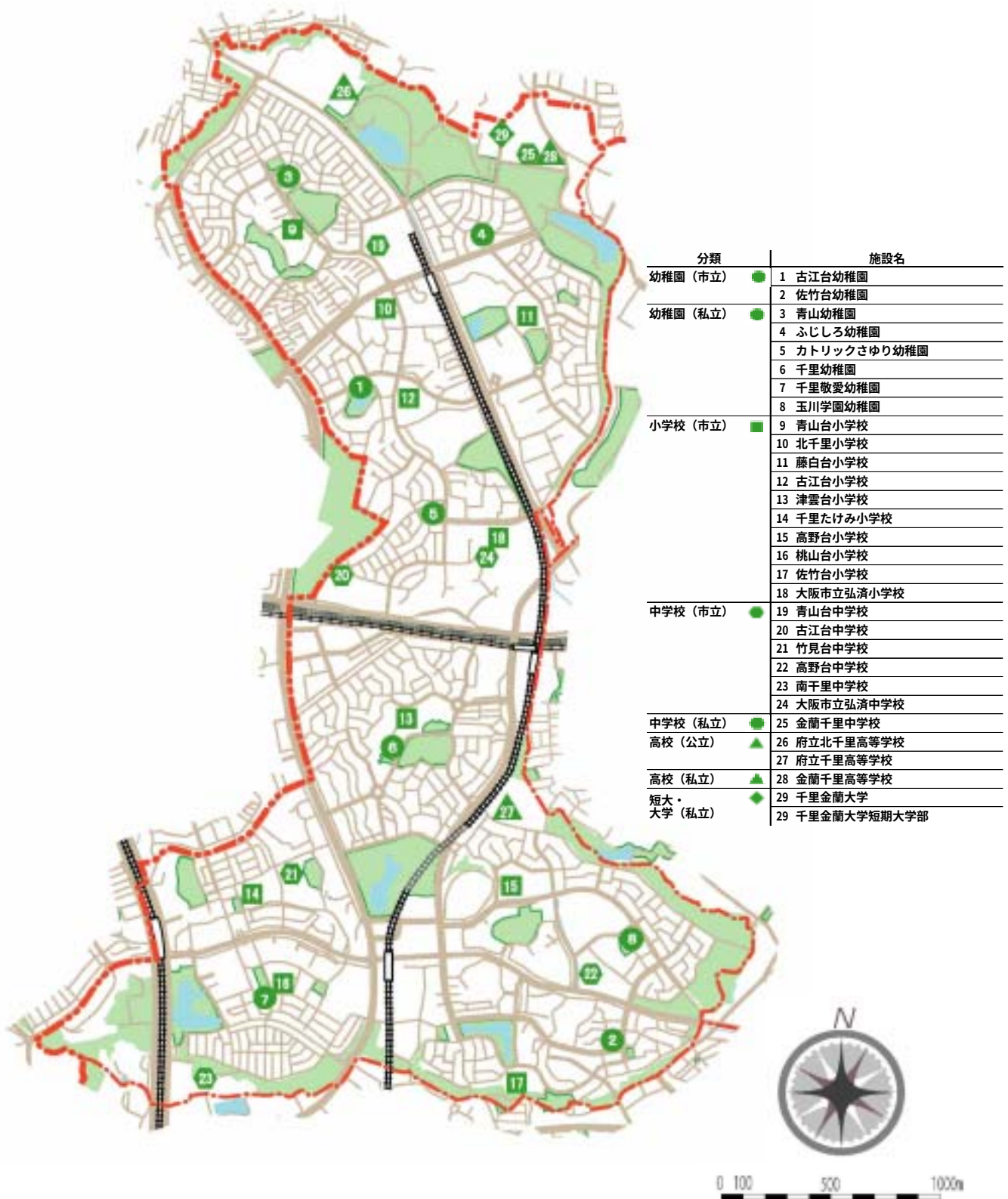


分類	施設名
保育所（市立）	1 藤白台保育園
	2 北千里保育園
	3 南千里保育園
保育所（私立）	4 あやめ保育園
	5 千里聖愛保育センター
	6 千里ニュータウン保育園
児童会館・児童センター	7 竹見台児童センター
	8 大阪YWCAシャロンこども館
高齢者 いこいの間等	9 青山台地区高齢者いこいの間
	10 古江台地区高齢者いこいの間
	11 藤白台地区高齢者いこいの間
	12 津雲台地区高齢者いこいの間
	7 竹見台地区高齢者いこいの間
	13 高野台地区高齢者いこいの間
	14 桃山台地区高齢者いこいの間
	15 佐竹台地区高齢者いこいの間
	16 千里市民センター高齢者ホール
	17 弘済院第一特別養護老人ホーム
特別養護 老人ホーム	18 弘済院第二特別養護老人ホーム
	6 青藍荘
老人保健施設	19 老人保健施設つくも
ケアハウス	8 シャロン千里
	6 青藍荘
グループホーム	20 桃山台グループホーム
デイサービス センター	11 藤白台デイサービスセンター
	20 桃山台デイサービスセンター
	21 桃山台第2デイサービスセンター
	22 桃山台第3デイサービスセンター
	6 青藍荘デイサービスセンター
	23 いきいきサポート
	8 シャロン千里デイサービスセンター
	24 竹見台デイサービスセンター
	25 アローラデイサービス
在宅介護 支援センター	8 シャロン千里在宅介護支援センター
	19 つくも在宅介護支援センター
	6 在宅介護支援センター青藍荘
	22 桃山台高津在宅介護支援センター
障害者 福祉施設	6 青藍荘 (身体障害者デイサービスセンター)
	26 大阪市立千里作業指導所
	27 千里みおつしの杜かしのみ寮
	27 千里みおつしの杜くりのみ寮
保健施設	28 保健センター南千里分館
医療施設	28 休日急病診療所
	29 国立循環器病センター
	30 大阪市立弘済院附属病院
	28 府立千里救命救急センター
	31 大阪府済生会千里病院

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

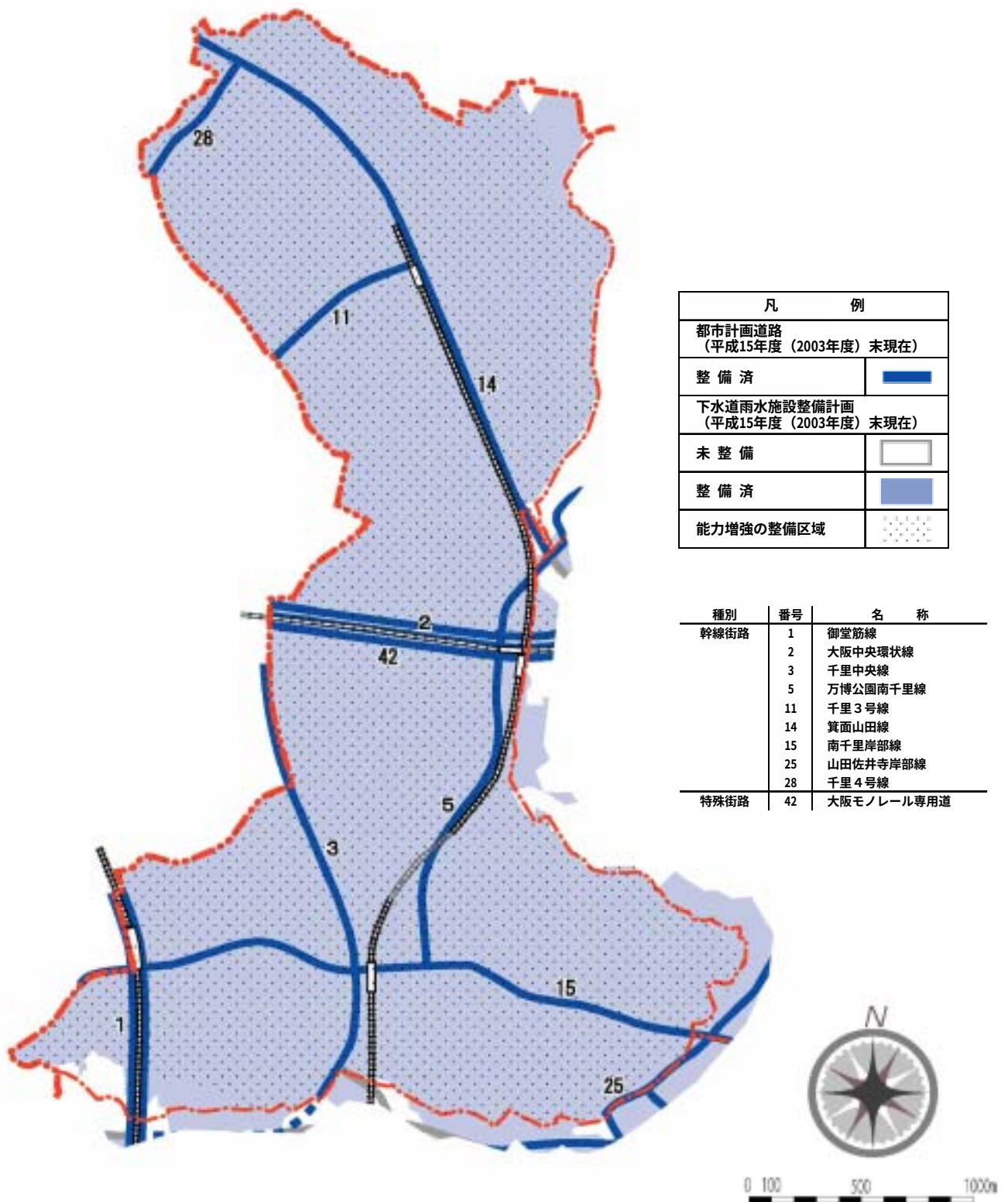
3. 学校教育施設



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

4. 都市計画道路・下水道整備状況



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

プロフィール

この地域は、竹林と雑木林の広がる丘陵地でしたが、昭和36年(1961年)から大阪大学の移転計画が進められる一方、昭和45年(1970年)には万国博覧会が開催され、現在では万博記念公園と大阪大学キャンパスが地域の大部分を占めています。

万博記念公園内には国立民族学博物館、府立国際児童文学館、日本民芸館、自然文化園、日本庭園、エキスポランド、万国博記念競技場などがあり、多くの人々に親しまれています。

万博記念公園東側に資源リサイクルセンターが立地しており、市民のリサイクル活動拠点となっています。また、北西部の大阪大学には多数の教育研究機関や医療機関が立地しており、これらの集積を背景にした「文化・学術・研究の拠点」としての充実が図られています。



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

地域マップ



大阪大学医学部
附属病院



国立民族学博物館



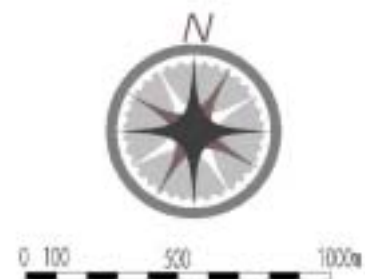
資源リサイクルセンター
(くるくるプラザ)



自然文化園



太陽の塔



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
この地域全体	大阪大学や国立民族学博物館などが立地した高度な文化・学術・研究環境を生かし、住み、学び、働く、訪れる人でにぎわう、学びと文化創造のまちづくりを進めます。	● 文化・学術・研究施設の集積を活用し、市民、大学、事業者や行政が連携しながら、人材の育成と交流、教育文化環境の充実を進めます。
	万博記念公園の広大な敷地と豊かな緑は、多くの市民の誇りとなっており、レクリエーションと憩いの拠点として、訪れる人の顔が輝く交流広場づくりを進めます。	● 日本万国博覧会機構と連携しながら、広大な敷地にある豊かな自然を保全・活用し、多くの人びとが訪れ、自然に親しみ、遊び、交流できる環境整備に努めます。

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

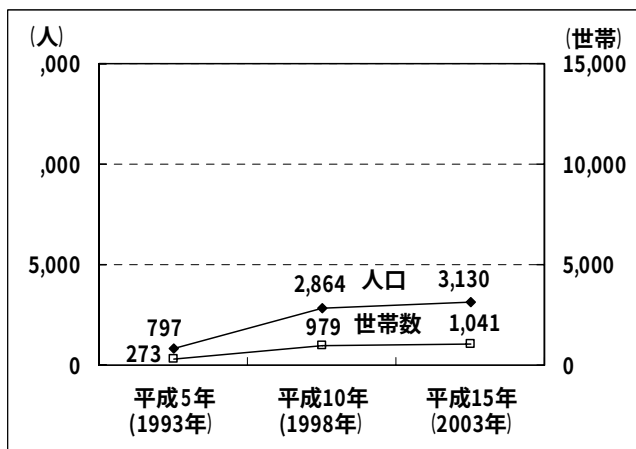
(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

第2節 まちの様子

1. 人口

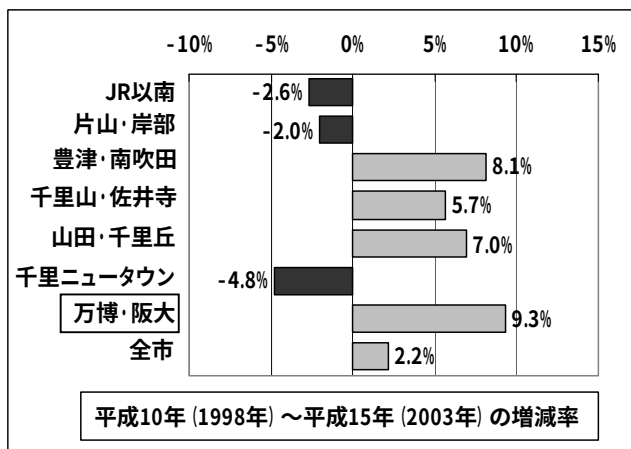
上山田での住宅開発に伴い、18歳未満の子どものいるファミリー世帯を中心に、人口が増加しました。

① 人口・世帯数の移り変わり



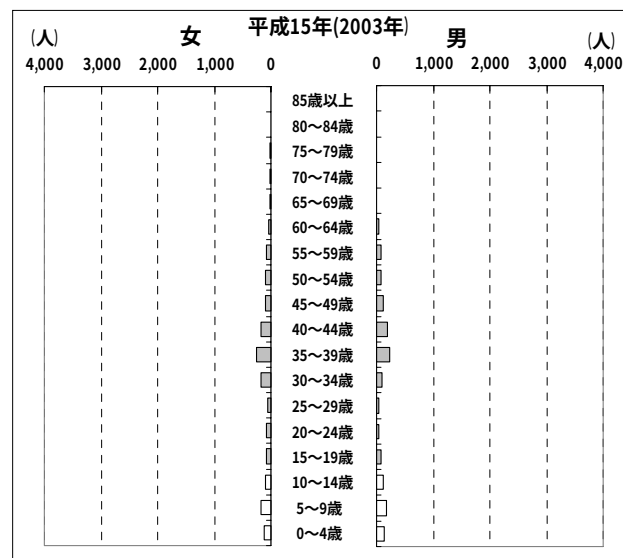
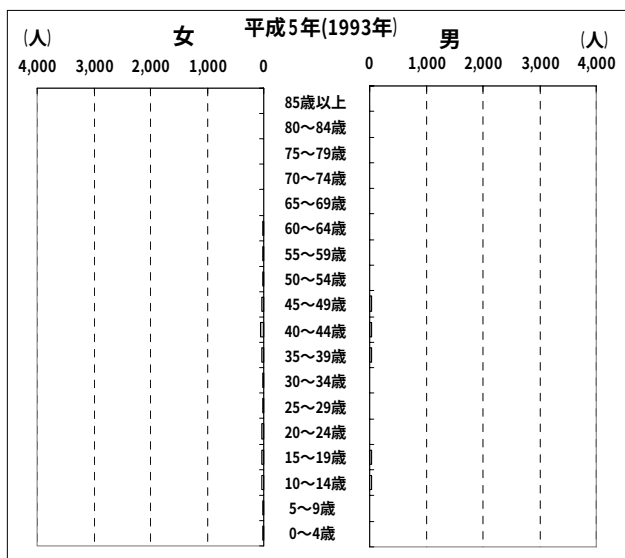
住民基本台帳による

② 人口増減率



住民基本台帳による

③ 人口ピラミッドの推移



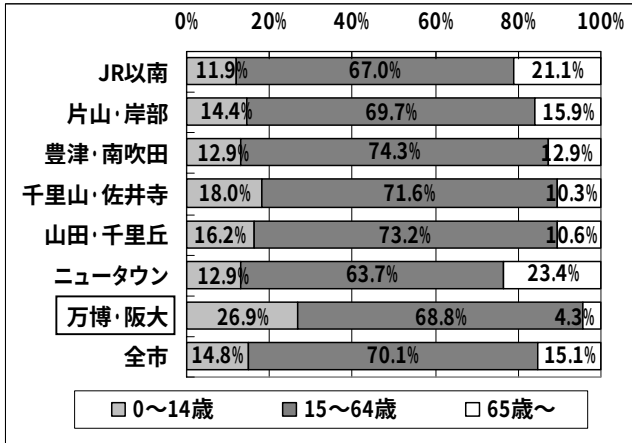
住民基本台帳による

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

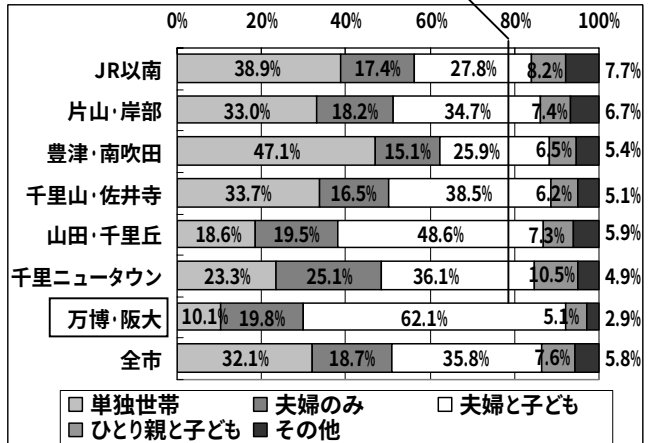
④ 年齢3区分別の人口割合



平成15年(2003年)住民基本台帳による

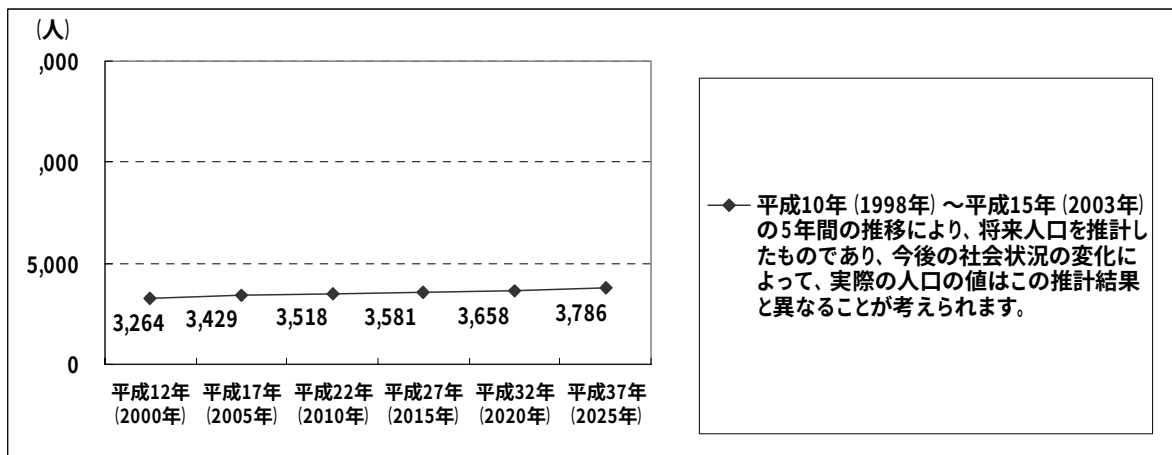
⑤ 世帯の状況(家族類型別)

夫婦と子どもの比率が
およそ6割となっています



平成12年(2000年)国勢調査による

⑥ 将来人口の推計



第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

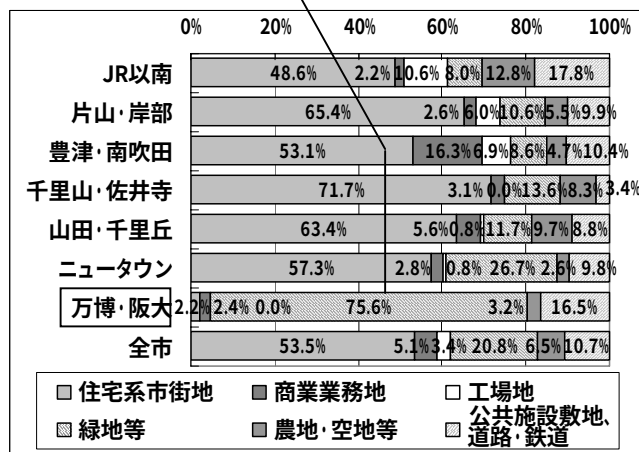
2. 土地利用・住宅

緑地等の比率が約8割を占めています。

住宅が立地しているところは限られた部分であり、共同住宅6階建以上の比率が9割以上を占め、持ち家の比率が約8割となっています。

① 土地利用

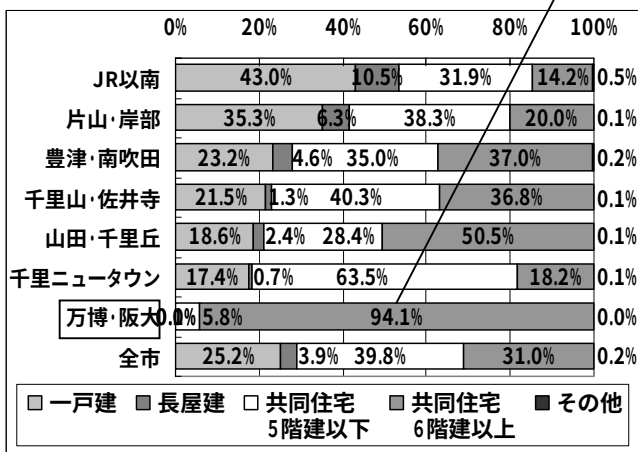
緑地等の比率がおよそ8割となっています



平成12年(2000年)都市計画基礎調査による

② 建て方別世帯数の割合

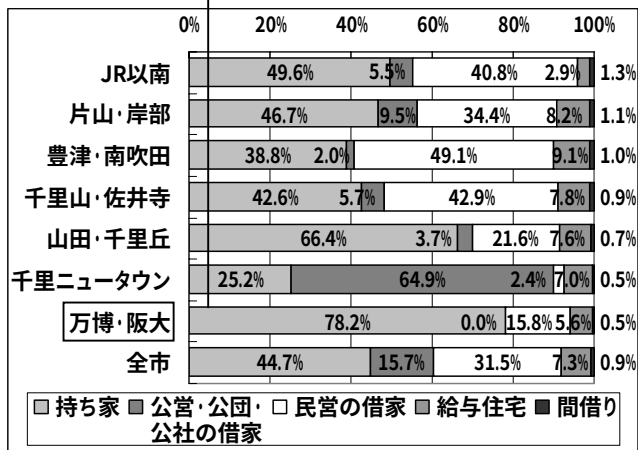
共同住宅6階建以上の比率がおよそ9割となっています



平成12年(2000年)国勢調査による

③ 所有関係別世帯数の割合

持ち家の比率が全ブロックの中で最も高くなっています



平成12年(2000年)国勢調査による

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

3. 主な歴史・文化資源

旧街道・参道

小野原街道

歴史的建築・構造物

太陽の塔

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

第3節 公共施設等の配置状況

1. 文化集会施設・スポーツ施設



分類	施設名
その他の文化集会施設 ▲	1 国立民族学博物館
	2 府立国際児童文学館
その他のスポーツ施設 ▼	3 球技場(万博)
	4 運動場(万博)
	5 少年球技場(万博)
	6 少年野球場(万博)
	7 弓道場(万博)
	8 小運動場(万博)
	9 野球場(万博)
	10 テニスコート(万博)
	11 フットサルコート(万博)
	12 スポーツ広場(万博)
	13 万博記念競技場
	14 総合スポーツ広場(万博)

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

2. 福祉施設・保健医療施設



分類	施設名
デイサービスセンター	1 友一友デイサービスセンター
障害者福祉施設	2 障害者支援交流センター
医療施設	3 大阪大学医学部附属病院
	4 大阪大学歯学部附属病院

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

3. 学校教育施設



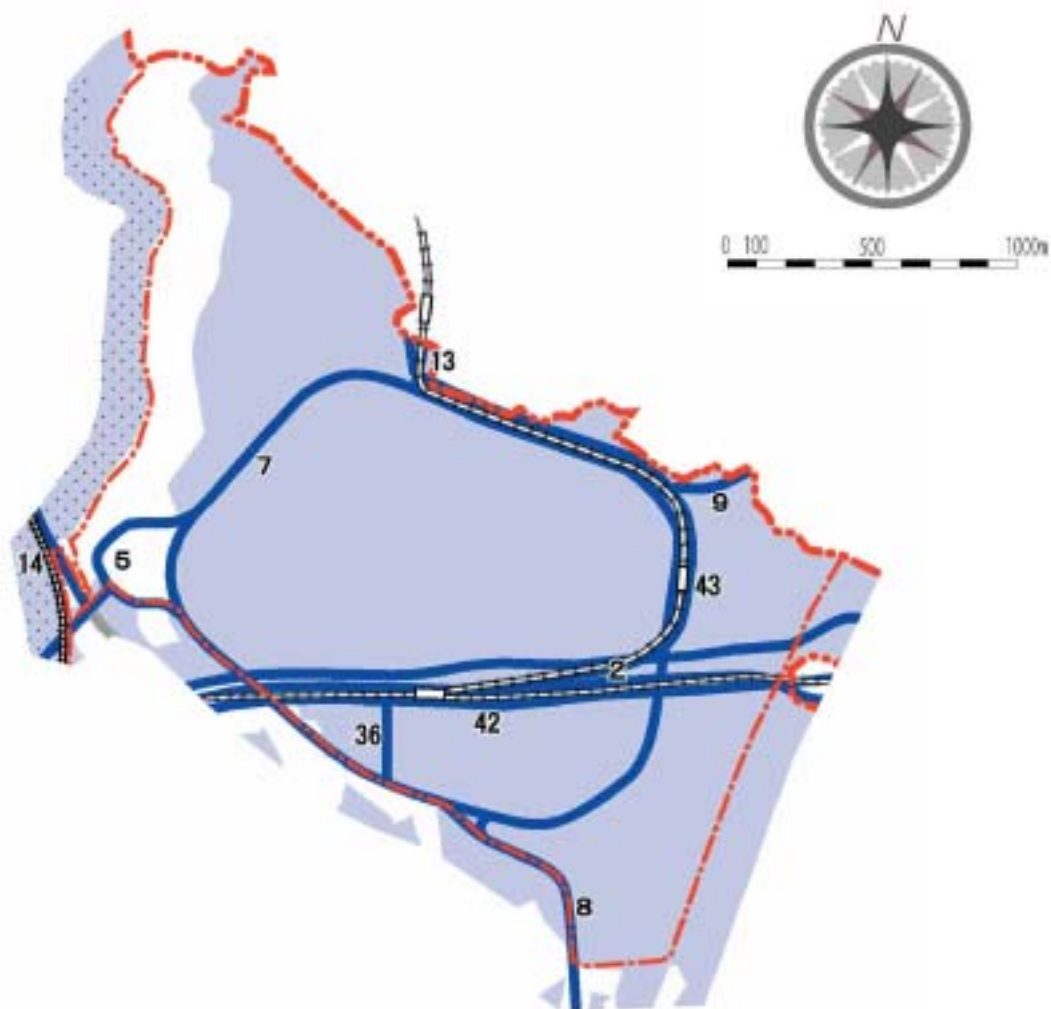
分類	施設名
短大・大学（公立）	1 大阪大学

第3章 地域ごとの計画

VI (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域

(その2) 万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

4. 都市計画道路・下水道整備状況



凡 例	
都市計画道路 (平成15年度(2003年度)末現在)	
整備済	
下水道雨水施設整備計画 (平成15年度(2003年度)末現在)	
未整備	
整備済	
能力増強の整備区域	

種別	番号	名 称
幹線街路	2	大阪中央環状線
	5	万博公園南千里線
	7	万博公園外周線
	8	山田摂津線
	9	茨木万博公園線
	13	道祖本摂津北線
	14	箕面山田線
特殊街路	36	万博公園駅前線
	42	大阪モノレール専用道
	43	国際文化公園都市モノレール専用道

(巻末資料)

ブロックの区割りの変更

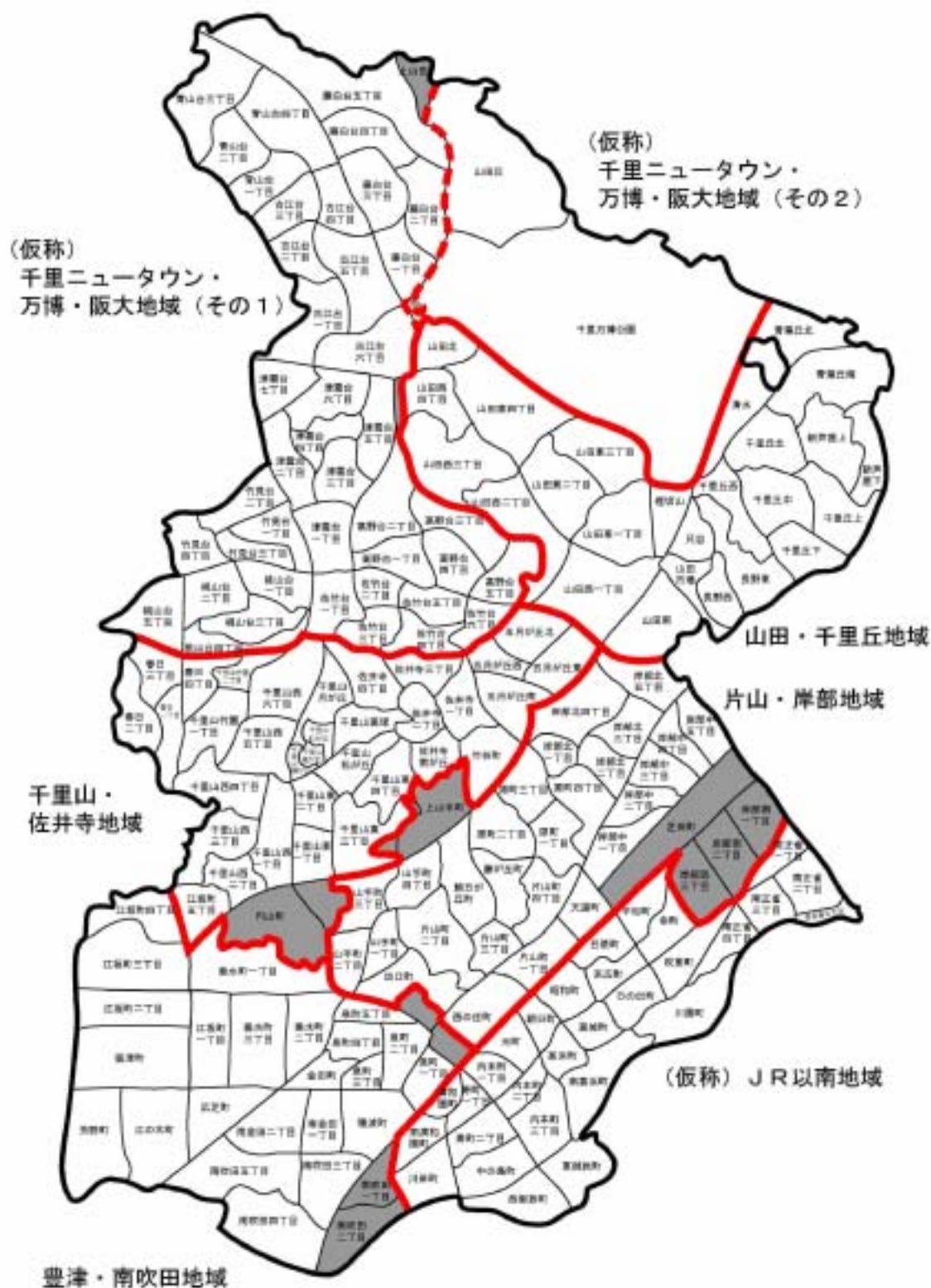
現行のブロックの区割りからの主な変更は以下のとおりです。

岸部南 1 丁目	J R 以南地域 から 片山・岸部地域 へ
岸部南 2 丁目	
岸部南 3 丁目	
芝田町	
南吹田 1 丁目	J R 以南地域 から 豊津・南吹田地域 へ
南吹田 2 丁目	
出口町 6 番～17 番	片山・岸部地域 から 豊津・南吹田地域 へ
西の庄町 2 番～11 番	
山手町 3 丁目 3 番～11 番	片山・岸部地域 から 千里山・佐井寺地域 へ
円山町	豊津・南吹田地域 から 千里山・佐井寺地域 へ
上山手町	千里山・佐井寺地域 から 片山・岸部地域 へ
千里山東 3 丁目 1 番、5 番～7 番	
山田西 4 丁目 1 番	山田・千里丘地域 から (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域(その1) へ
千里万博公園 13 番	万国博記念公園・大阪大学地域 から (仮称)千里ニュータウン・万博・阪大地域(その1) へ
上山田	

ブロックの区域割図(変更前)



ブロックの区域割図 (変更後)



網かけ部分：ブロックの区割りの変更地域